Ⅳ.平成 30 年度（2018 年）

1.研究スタッフ

専任教職員

機構長	吉田　秀典	副学長 (情報・危機管理・特命担当)
危機管理先端教育研究センター	白木　渡	副機構長・センター長・特任教授 副学長 (産官学連携・特命担当)
	松本　秀應	副センター長・特命教授
	萩池　昌信	特命教授
	藤目　浩二	客員教授
	豊島　明日香	技術補佐員
	相原　慎太郎	技術補佐員
	藤澤　修平	技術補佐員
	落合　陽子	技術補佐員
	近藤　あす香	事務補佐員
地域強靱化研究センター	金田　義行	副機構長・センター長・特任教授 学長特別補佐
	藤澤　一仁	副センター長・特命教授
	磯打　千雅子	特命准教授
	高橋　真里	技術補佐員
	藤川　幸子	事務補佐員
企画調整室	藤澤　一仁	室長
	谷　綾	事務補佐員
減災科学(ﾚｼﾞﾘｴﾝｽ･ｻｲｴﾝｽ)研究部門	OZER SOZDINLER CEREN	寄附研究部門教員（准教授相当） 客員准教授
	本山　紘希	寄附研究部門教員（助教相当）
	大西　里奈	技術補佐員
	ザナティ　早苗	事務補佐員

客員教授

乃田　俊信	
Ganga Lal Tuladhar	ネパール国議会議員
Ranjan Kumar Dahal	ネパール国立トリブバン大学 地質学教室准教授
床桜　英二	徳島文理大学総合政策学部教授 地域連携センター 副センター長
馬場　俊孝	徳島大学大学院理工学研究部 社会基盤デザイン系教授
青井　真	防災科学技術研究所 地震津波火山ネットワークセンター長 レジリエント防災減災研究推進センター 研究統括総括主任研究員
野田　利弘	名古屋大学減災連携研究センター教授 副センター長
堀　宗朗	東京大学地震研究所巨大地震津波災害予測研究センター長 理化学研究所計算科学研究機構総合防災・減災研究ユニットリーダー
松尾　裕治	
髙嶋　博視	
平原　和朗	京都大学大学院理学研究科教授
有川　太郎	中央大学　理工学部都市環境学科
HALUK ÖZENER	ボアジチ大学カンデリ地震観測研究所 所長・教授
橋本　雄太郎	杏林大学総合政策学部特任教授
福田　充	日本大学危機管理学部　教授

併任教員

寺尾　徹	教育学部・教授
轟木　靖子	教育学部・教授
村山　聡	教育学部・教授
鹿子嶋　仁	法学部・教授
安井　敏晃	経済学部・教授
黒田　泰弘	医学部・教授
佐々木　睦子	医学部・教授
平尾　智広	医学部・教授
井面　仁志	創造工学部・教授
今井　慈郎	創造工学部・教授
梶谷　義雄	創造工学部・教授
紀伊　雅敦	創造工学部・教授
末永　慶寛	創造工学部・教授
長谷川　修一	創造工学部・教授
林　敏浩	創造工学部・教授
松島　学	創造工学部・教授
山中　稔	創造工学部・教授
吉田　秀典	創造工学部・教授
石塚　正秀	創造工学部・准教授
岡﨑　慎一郎	創造工学部・准教授
野々村　敦子	創造工学部・准教授
宮本　慎宏	創造工学部・准教授
高橋　亨輔	創造工学部・講師
玉置　哲也	創造工学部・講師
中島　美登子	創造工学部・講師
藤井　容子	創造工学部・助教
田村　啓敏	農学部・教授
山田　佳裕	農学部・教授
松村　伸二	農学部・准教授

2.危機管理先端教育研究事業の実施

(1) 地域防災リーダー養成

香川大学では、学部の学生および社会人の方に対して、それぞれ防災に関する知識を習得し防災士の受験資格を取得するための教育プログラムを実施しています。

学部学生に対しては全学部の学生を対象に、前期は防災リテラシー養成講座として災害発生のメカニズムに関する基礎的な内容、後期は防災コンピテンシー養成講座として身近でできる防災対策などに関する実践的な内容の講義を実施しています。また、この２講座を受講し防災士資格を取得した２年生以上の学生を対象に、前期で防災ボランティア講座として災害時の被災地支援や平時の地域防災活動等の防災ボランティア活動に必要な「広範な人文・社会・自然に関する知識」を習得し、後期で防災ボランティア実習として防災ボランティア活動に必要な基本技術を身につけることで、防災ボランティア活動の中心として活動できる人材育成を目指しています。

【学生】

第 1Q：主題C講義型 防災リテラシー養成講座（災害を知る）1

回	月日	講義内容	講師	所属	備考
1	4/12	ガイダンス(防災士を目指そう) 防災士と機能別消防団の役割	磯打　千雅子 高橋　真里	危機管理機構 危機管理機構	
2	4/19	地震・津波のしくみと被害	長谷川　修一	創造工学部・危機管理機構	
3	4/26	近年の自然災害に学ぶ ―災害現場からの教訓―	乃田　俊信	香川大学客員教授	外部招聘講師
4	5/10	火山噴火のしくみと被害	山中　稔	創造工学部・危機管理機構	
5	5/17	風水害と対策	寺尾　徹	教育学部・危機管理機構	
6	5/24	土砂災害と対策	長谷川　修一	創造工学部・危機管理機構	
7	5/31	防災気象情報の知識と活用 －公的機関による予警報－	高松地方気象台職員	高松地方気象台	出前講座
7.5	6/7	火災と防火対策(16:20-17:05)	高松市消防局員	高松市消防局	出前講座
8	6/7	第 1Q 末試験(17:05-17:50)	井面　仁志 野々村　敦子 磯打　千雅子	創造工学部・危機管理機構 創造工学部・危機管理機構 危機管理機構	

第 2Q：主題C講義型 防災リテラシー養成講座（災害を知る）2

回	月日	講義内容	講師	所属	備考
1	6/14	災害と交通インフラ －四国の防災対策－	植松　真二	国土交通省四国地方整備局	出前講座
2	6/21	災害報道―災害情報の入手・発信と流言・風評－	木原　光治	四国新聞社編集局	外部招聘講師
3	6/28	災害とライフライン	松本　秀應	危機管理機構	
4	7/5	地震に関する知見・情報	金田　義行	危機管理機構	
5	7/12	行政の災害対応 －香川県の防災対策－	石原　芳浩	香川県危機管理総局危機管理課	出前講座

第 2Q：主題C講義型 防災リテラシー養成講座（災害を知る）２

回	月日	講義内容	講師	所属	備考
6	7/19	先人の教えに学ぶ ローテク防災術	松尾　裕治	香川大学客員教授	外部招聘講師
7	7/26	都市防災	白木　渡	危機管理機構	
7.5	8/2	まとめと修了式(16:20-17:05)	白木　渡 磯打　千雅子	危機管理機構 危機管理機構	
8	8/2	第 2Q 末試験(17:05-17:50)	井面　仁志 野々村　敦子 磯打　千雅子	創造工学部・危機管理機構 創造工学部・危機管理機構 危機管理機構	
課外	7/4 8/3 10/1	普通救命講習 ＠オリーブスクウェア	高松消防局員	高松市消防局	

２年生 授業の様子

第 2 学期：主題 C 実践型 「防災コンピテンシー養成講座（災害に備える）」

回	月日	講義内容	講師	所属	備考
1	10/4	ガイダンス 被害想定とハザードマップ	野々村　敦子	創造工学部・危機管理機構	
2	10/11	防災訓練−災害イメージ訓練−	梶谷　義雄	創造工学部・危機管理機構	
3	10/18	避難と避難行動	井面　仁志	創造工学部・危機管理機構	
4	10/25	事業継続計画と地域継続計画	磯打　千雅子	危機管理機構	
5	11/8	耐震診断と耐震補強	松島　学	創造工学部・危機管理連構	
6	11/15	身近でできる防災対策	久保　雅和	香川県防災士会	外部招聘講師
7	11/22	災害復旧と支援制度 －高松市の防災対策－	宮脇　一正	高松市総務局危機管理課	出前講座
8	11/29	避難所の運営と仮設住宅の暮らし	中島　美登子	創造工学部・危機管理機構	
9	12/6	緊急救助技術を身につける	久保　雅和 高橋　真里	香川県防災士 危機管理研究機構	外部招聘講師
10	12/13	災害医療	黒田　泰弘	医学部附属病院救命救急センター・危機管理機構	
11	12/20	地域の防災活動	岩崎　正朔	かがわ自主ぼう連絡協議会	外部招聘講師
12	1/10	災害とボランティア活動	藤本　泰成	香川県社会福祉協議会	外部招聘講師
13	1/17	惨事ストレスと心のケア	浅海　明子	香川カウンセリングセンター	外部招聘講師
14	1/24	災害と損害保険	小塚　照夫	日本損害保険協会四国支部	出前講座
15	1/31	災害と危機管理 修了式	白木　渡 磯打　千雅子	危機管理機構 危機管理機構	
16	2/7	期末試験	井面　仁志 野々村　敦子 磯打　千雅子	創造工学部・危機管理機構 創造工学部・危機管理機構 危機管理機構	
	2/16（土）	防災士認定試験（希望者） ＠工学部キャンパス	日本防災士機構	日本防災士機構	

【一般】

社会人向けには、10 月～2 月の 5 ヶ月間に渡り、月 1 回（5 コマの講義）の集中講義形式で、公開講座として同様のプログラムを提供しています。講師陣は、香川大学の教員だけではなく、防災関係機関の第一線でご活躍中の方々にも加わっていただくことで、充実した講義内容となっています。

平成 30 年度も創造工学部、地域連携・生涯学習センターと連携して、防災士養成講座（学生対象講座及び社会人対象）を開講し、学生 84 名、社会人 155 名、合計 239 名の防災士資格試験合格者を輩出しました。防災士養成講座を開始した平成 21 年度から平成 29 年度までの 10 年間で学生 449 名、社会人 1,127 名、合計 1,576 名の合格者を輩出しました。

防災士養成講座 （短期コース）

月日		NO	時限	講 義 内 容	講 師
第1回 10月6日（土）	6201講義室	1	1	ガイダンス 防災士の役割	香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構（以下、危機管理機構） 白木 渡 香川大学危機管理機構 藤澤 一仁
		2	2	災害と危機管理	香川大学危機管理機構 白木 渡
		3	3	近年の自然災害に学ぶ ―災害現場からの教訓―	香川大学危機管理機構 客員教授 乃田 俊信
		4	4	地震・津波のしくみと被害	香川大学創造工学部・危機管理機構 長谷川 修一
		5	5	風水害・土砂災害と対策	香川大学創造工学部・危機管理機構 長谷川 修一
第2回 11月17日（土）	3301講義室	6	1	被害想定・ハザードマップ	香川大学創造工学部・危機管理機構 野々村 敦子
		7	2	先人の教えに学ぶローテク防災術	(株)熊谷組四国支店（前四国防災共同教育センター特命教授） 松尾 裕治
		8	3	クロスロード	香川大学創造工学部・危機管理機構 野々村 敦子
		9	4	災害とライフライン	香川大学危機管理機構 藤澤 一仁
		10	5	地震に関する知見・情報	香川大学危機管理機構 金田 義行
第3回 12月15日（土）	3301講義室	11	1	緊急救助技術を身につける	香川県防災士会 会長 久保 雅和 香川大学危機管理機構 高橋 真里
		12	2	災害医療	香川大学医学部附属病院救命救急センター長・危機管理機構 黒田 泰弘
		13	3	行政の災害対応 －香川県の防災対策－	香川県危機管理総局危機管理課副課長 石原 芳浩
		14	4	行政の災害対応 －高松市の防災対策－	高松市総務局次長危機管理課長 三木 浩史
		15	5	災害とボランティア活動	香川県社会福祉協議会 藤本 泰成

防災士養成講座 （短期コース）

月日		No	時限	講 義 内 容	講 師
第4回 1月26日（土）	3301講義室	16	1	防災気象情報の知識と活用―公的機関による予警報―	香川県防災士会 会長 久保 雅和
		17	2	身近でできる防災対策	香川県防災士会 会長 久保 雅和
		18	3	避難と避難行動	香川大学創造工学部・危機管理機構 井面 仁志
		19	4	災害と保険	日本損害保険協会四国支部課長代理 小塚 照夫
		20	5	耐震診断と耐震補強	香川大学創造工学部・危機管理機構 松島 学
第5回 2月16日（土）	3301講義室	21	1	惨事ストレスと心のケア	香川カウンセリングセンター 所長 浅海 明子
		22	2	地域の防災活動	かがわ自主ぼう連絡協議会 会長 岩崎 正朔
		23	3	事業継続計画と地域の復興	香川大学危機管理機構 白木 渡
			4	修了式	香川大学危機管理機構 白木 渡 香川大学危機管理機構 藤澤 一仁
			5	防災士試験	NPO 法人日本防災士機構

防災士養成講座 短期コース講義風景

(2) 機能別消防団の運営

平成 26 年 7 月 2 日(水)、高松市消防団機能別分団として「香川大学防災サポートチーム」を発足し、高松市消防局 4 階災害対策室において結成式を行いました。

この「香川大学防災サポートチーム」は、平成 24 年度から、本学と高松市との間で準備を進めてきたもので、平成 20 年 2 月 28 日に高松市と締結した「非常災害時における避難所指定に伴う申し合わせ」に基づき、大規模災害発生時に、避難所として指定されている本学経済学部第二体育館及び工学部学生食堂の運営に関する補助（避難所や周辺の状況等の情報把握、備蓄物資や救援物資の配付・管理、並びに負傷者への応急手当など）を行う学生組織です。

「香川大学防災サポートチーム」には、本学の特別教育プログラムである「防災士養成プログラム」の 1 年次の課程を修了し、防災士資格を取得した学生を中心に、現在、防災士の資格取得を目指して勉強している 1 年生を合わせた 75 名の学生が参加しています。この組織の指揮命令は、高松市消防局が行いますが、学生だけに任せるのではなく、大学としてもサポートを行うこととしています。

活動の様子

(3) メンタルヘルスアップリーダー養成

香川大学では平成 22 年度より「メンタルヘルスアップリーダー養成」を行っています。本年度からは、平成 30 年 3 月に香川県が定めた「いのち支える香川県自殺対策計画」の一環として行っており、平成 30 年度は、民生委員児童委員、学校教員を対象とした講習会を実施しました。

① リーダー養成講座

過年度事業で作成した資料集を使用して、過年度養成した指導者により、地区民生委員を対象にリーダー養成講座を開催して「気づく・聴く・つなぐ」ことが理解でき、実践できる人材を養成するリーダー養成講座を開催しました。

・開催回数（受講者数） 2 回（50 名）

② サポーター講座

養成講座を修了したリーダーが地域住民を対象にサポーター講座を開催して、自殺の現状と予防の知識を地域の身近な人へ声をかけること、話が聴けることの演習をしました。

また、リーダーがサポーター講座を開催出来るようにするための支援を行いました。

・開催回数（受講者数）5 回（12～30 名）

③ 交流集会

養成したリーダーと関係機関の連携のための情報交換の場を設け、地域での実践報告、地域で取り組むための課題を討議しました。

・開催回数（受講者数） 1 回（106 名）

④ 若年層対策として、教員等を対象のリーダー養成講座

香川県・高松市教育委員会等の協力を得て、学校教員やスクールカウンセラー、子育て支援に係る行政職員を対象にリーダー養成講座を開催しました。

講演、事例検討、社会資源の紹介

・開催回数（受講者数） 1 回（27 名）

⑤ 香川県自殺対策協議会への参画

(4)「四国防災･危機管理プログラム」実施による防災・危機管理専門家養成

■「四国防災・危機管理プログラム」実施による防災・危機管理専門家の養成

香川大学と徳島大学が連携して実施する「四国防災・危機管理プログラム」は、東日本大震災の教訓を踏まえて、また大規模広域災害やグローバル化する危機に対して、迅速な状況把握のもとに適切な判断・意思決定を行い、減災・復旧・復興・組織再生へ向けて適切に対応できる専門家を養成する取り組みです。この事業のステークホルダーである香川県及び徳島県と連携し、実践力を備えた専門家の養成を目指しています。また、今後四国の国立 5 大学連携事業として展開することを目指しています。

平成 24 年度に開始した本プログラムの修了生は、平成 28 年度までに 103 人を数え、行政、企業、医療、学校の各分野において、職場や地域における防災リーダーとして活躍しています。

近い将来、南海トラフ巨大地震の発生が想定される四国地方においては、防災・危機管理の専門家の養成は必要性かつ緊急性の高い重要な事業です。引き続き、四国における関係機関との連携を深め、地域防災力の向上に繋がる事業として取り組んでいきます。

■平成 30 年度の取り組み

四国防災共同教育センターでは、平成 25 年 4 月より香川大学、徳島大学で、「学校防災・危機管理マネージャー養成」、「行政・企業防災・危機管理マネージャー養成」、「救急救命・災害医療・公衆衛生対応コーディネーター養成」の３コースで人材養成に取り組んできていました。

平成 29 年度からは、「行政・企業」と「救急救命」の２つのコースを「行政・企業・医療」の一つのコースとして受講生を募集することとし、これまでの行政・企業防災・危機管理マネージャー養成科目群と救急救命・災害医療・公衆衛生対応コーディネーター養成科目群の講義内容を組み立てなおし、「行政・企業・医療のリスクマネジメント」、「事業継続計画（BCP・MCP）の策定と実践」として実施する体制としました。

自分でコースを立案しての
避難シミュレーションゲーム

また、平成 30 年度からは授業の質を高める意味から、香川大学と徳島大学の 2 大学で個別に講義を行っていた「行政・企業・医療のリスクマネジメント」、「事業継続計画（BCP・MCP）の策定と実践」について、2 大学の講師が連携して一つのカリキュラムを構成して実施するよう見直しました。

その他の共通基礎科目「リスクコミュニケーション」、「危機管理学」、「災害と健康危機管理・メンタルヘルスケア」、「防災・危機管理実習」の４科目（７単位）、ならびに学校防災・危機管理マネージャー養成科目群の「教育機関のリスクマネジメント」、「教育継続計画（ECP）の策定と実践」に変更はありません。

ＰＦＡ
心理的応急処置研修の様子

引き続き、グループワークや演習を多く取り入れた講義、訓練を中心とする防災・危機管理実習などにより、実践力を身につけられるよう講義内容に留意しました。

■平成 30 年度の受講申込、修了状況

平成 30 年度は、行政・企業・医療コース 25 名（大学院生 11 名、社会人 14 名）、学校防災コース 0 名、合計 25 名の受講申込がありました。

また、平成 31 年 3 月、第 5 期修了生として 27 名が本プログラムを修了し、災害・危機対応マネージャーの資格を付与しました。その内訳は、行政・企業・医療コース 27 名（大学院生 16 名、社会人 11 名）、学校防災コース 0 名です。今期修了生の 27 名を加え、これまでの資格付与者は 155 名となりました。

■防災・危機管理人材養成シンポジウム

「四国防災・危機管理プログラム」最終成果報告及び第 5 期生修了記念として、第 7 回「防災・危機管理人材養成シンポジウム」を平成 31 年 3 月 8 日(金)に香川大学創造工学部において行いました。

静岡県　石垣理事による特別講演

災害・危機対応マネージャーの活動報告として 2 名、第 4 期修了生の成果発表として 3 名の修了生の発表と共に、特別講演として静岡県 危機管理部 理事（防災対策担当）の石垣俊幸様から「南海トラフ巨大地震等大規模災害に備えて　～静岡県の地震・津波対策～」の講演を行い、約 150 名の参加を得ました。

■修了生の活動状況　「女性目線で楽しみながら学べる防災講座を目指しています」

徳島市消防団東富田分団

大宮佐知子　株式会社ファルコン・徳島市消防団東富田分団
平成 28 年度修了　行政・企業防災・危機管理マネージャー

プログラム修了後は、通年では、シビックセンターで年 2 ～ 4 回防災講座を行っています。

単発では、防災士会に依頼があった池田高校辻校の高校生への出前講座を行いました。

池田高校辻校出前講座にて

今後はディケアやシビックセンターの雑学大学で防災講座を予定しています。

(5) 学校防災アドバイザー派遣事業

香川県教育委員会が実施している「学校防災アドバイザー派遣事業」については、平成 30 年度は、6 月 23 日～12 月 20 日まで実施しました。アドバイザーの派遣は、22 校(園)･2 団体の延べ 30 回の派遣となりました。主な助言内容については、様々な想定や地域の防災関係機関と連携した避難訓練、防災マップづくり、災害発生時のボランティア活動（避難所運営訓練等）、防災教育への助言内容等多様な項目についてアドバイスを行いました。各学校おいては、災害環境の把握や防災対策への理解、危機管理マニュアル等の確認と見直しが図られるなど様々な成果が見られました。

昨年に続き、香川県内公立高校生を対象とした香川県教育委員会主催の「高校生を対象とした災害時ボランティアリーダー養成講習会」へ協力しました。平成 30 年度は 10 校から 33 名の参加がありました。香川大学創造工学部キャンパスで講演会、訓練シミュレーターによる地震発生時の避難行動訓練、「地震だ！生き残れた！その次に待っていることは…」をテーマとした実習を行いました。

平成30年度学校防災アドバイザー派遣実施状況

	学校所在の市町名	学校（園）等名	本事業の活用希望理由	今年度の活用希望回数	派遣日時	
					実施予定日	実施予定時間
1	高松市	栗林小学校	地域と連携した防災学習を数年続けており、防災意識の高まりも見られる。発達段階に応じた学習内容を組んでいるが、新校舎が完成し、これまでの学習内容でよいのかと考えている。新たな学習内容を組み込むことが可能であろうと思われる。アドバイスをいただきたい。	1回	6月23日	8:45～12:30
2	坂出市	川津幼稚園	幼稚園が置かれている災害環境を知り、保護者への安全な引き渡し方の工夫や課題（送迎時の通路等）について、地域や隣接の小学校等と連携して考えていくために、園周辺の様子も見ていただきながらご指導いただきたく希望した。	1回	6月26日	14:30～16:00
3	観音寺市	豊浜小学校 豊浜幼稚園	学校の置かれている災害環境や地域の自主防災組織等との連携の仕方が分からないので、第一歩を踏み出すために希望しました。（幼） 幼稚園と合同で効果的な避難訓練のやり方について、職員への研修をお願いしたい。（小）	1回	7月2日	15:00～16:30
4	多度津町	多度津高等学校	実際に行う防災避難訓練に対する助言や実技指導をお願いしたい。防災講話では防災教育を充実させるための助言をお願いしたい。	2回	7月5日	8:50～10:20
5	東かがわ市	本町幼稚園	避難場所である交流プラザまでの安全な避難方法を知りたい	1回	7月18日	13:40～15:40
6	高松市	大町幼稚園	海から近いという園の置かれている災害環境の中、危機管理マニュアルについて専門家によるご指導を頂きたい。	1回	7月20日	13:00～14:00
7	高松市	香川県立 香川中部養護学校	平成29年度に助言をいただいたことで、見直すことができた学校安全マニュアルの確認及び職員の危機管理意識の高揚を図るための研修を行いたく、本事業の活用を希望しました。 １回目は学校安全マニュアルへのアドバイス、２回目は職員を対象とした研修をお願いします。	2回	7月25日	10:00～12:00
8	高松市	屋島小学校	本校は、土砂災害や川の氾濫といった自然災害と常に隣合わせになっています。しかし、学校全体や地域全体として、避難経路や避難場所の共通認識が浸透していないように感じます。避難行動を疑似体験したり、自分たちで地域防災マップを作ったりする活動を通じて、地域防災力高めるための助言をお願い致します。	1回	7月26日	9:00～11:00
9	三木町	ししの子幼稚園	本園の避難訓練に合わせて、事前に本園の避難訓練計画等、防災に関するアドバイスをいただきたい。また、避難訓練当日の助言等もいただきたい。	2回	8月1日	13:30～14:30
10	高松市	香川県立盲学校	危機管理マニュアル改訂に際し、校内の見学と、専門的な観点からご指導いただきたい。防災訓練についての助言。また、巨大地震発生時の校内危険個所の指摘をお願いしたい。１回目は、マニュアル指導、２回目は実際に行う防災避難訓練に対する助言と校内危険個所の指摘をお願いしたい。	2回	8月1日	10:00～12:00
11	坂出市	府中幼稚園	1回目は備蓄用品などの検討、2回目は避難経路についての助言をお願いしたい。	2回	8月27日	13:00～15:00
12	高松市	亀阜小学校	地震が発生した時の児童の安全確保や避難所運営、地域と連携した実効性のある避難訓練等の指導・助言をお願いしたいため、希望します。8月31日に実施される防災訓練の事前研修として、学校の教職員や地域関係者を対象に指導・助言をお願いしたい。	1回	8月28日	14:00～16:00
13	高松市	下笠居小学校	昨年度、学校防災アドバイザーを活用させていただき、地震・津波における子ども園・小・中連携での避難訓練の様子に対して、様々なご指導をいただいた。今年度は、地域にも参加を呼び掛け、避難訓練を実施したいと考えている。そこでの避難訓練計画や避難所開設計画に対するご指導・ご助言を頂きたい。	1回	8月28日	14:00～16:00
14	高松市	香川県立 香川中部養護学校	平成29年度に助言をいただいたことで見直すことができた学校安全マニュアルの確認及び職員の危機管理意識の高揚を図るための研修を行いたく、本事業の活用を希望しました。１回目は学校安全マニュアルへのアドバイス、２回目は職員を対象とした研修をお願いします。	2回	8月29日	14:00～16:40
15	坂出市	府中幼稚園	1回目は備蓄用品などの検討、2回目は避難経路についての助言をお願いしたい。	2回	8月30日	13:00～15:00
16	三豊市	比地小学校	防犯体制を整備し、実効性のある避難訓練の実施により地域との連携を強化する。	2回	8月31日	10:00～12:00
17	三木町	ししの子幼稚園	本園の避難訓練に合わせて、事前に本園の避難訓練計画等、防災に関するアドバイスをいただきたい。また、避難訓練当日の助言等もいただきたい。	2回	9月7日	10:00～11:00
18	多度津町	多度津高等学校	実際に行う防災避難訓練に対する助言や実技指導をお願いしたい。防災講話では防災教育を充実させるための助言をお願いしたい。	2回	9月14日	8:50～9:40
19	三豊市	平石幼稚園	園のすぐ横に山があり、土砂崩れ危険区域にもなっている。火災・地震等の避難訓練は毎月行っているが、津波や土砂崩れ等を想定した避難経路・訓練、計画の見直し等の助言をいただきたい。	1回	9月28日	9:30～11:30
20	丸亀市	香川丸亀養護学校	第２回避難訓練の様子を見学してもらい、講評をいただく。協議会で、登下校時に震災発生の場合、児童生徒の安全確保や確認の方法、災害用伝言ダイヤルの活用など適切なアドバイスをお願いしたい。	1回	10月4日	10:30～12:00
21	高松市	香川県特別支援学校 ＰＴＡ連絡協議会	香川県特別支援学校ＰＴＡ連絡協議会では、今年度の研究テーマを「防災」とし、「障害のある人への災害支援の現状と課題(仮)」と題して「行政」「教育」「医療」「福祉」「保護者」等、様々な立場の方をパネリストとして、パネルディスカッションを行う予定にしています。その際に、パネリストとして講師を派遣していただけたらと思い、本事業を希望しました。	1回	10月17日	10:00～14:00
22	観音寺市	豊浜幼稚園	幼稚園単独で、実際に行う防災避難訓練に対する助言をお願いしたい。	1回	10月19日	10:00～12:00
23	三豊市	比地小学校	防犯体制を整備し、実効性のある避難訓練の実施により地域との連携を強化する。	2回	11月2日	12:00～16:00
24	高松市	香川県立盲学校	危機管理マニュアル改訂に際し、校内の見学と、専門的な観点からご指導いただきたい。防災訓練についての助言。また、巨大地震発生時の校内危険個所の指摘をお願いしたい。１回目は、マニュアル指導、２回目は実際に行う防災避難訓練に対する助言と校内危険個所の指摘をお願いしたい。	2回	11月7日	10:00～14:00
25	高松市	中国･四国地区肢体不自由特別支援ＰＴＡ連合会	中国･四国地区の肢体不自由教育特別支援学校の保護者、教員が会し、小･中･高の３つのグループにわかれて、肢体不自由児･者の防災や被災時の対応について、障害児･者と共に暮らす者ならではの悩みや不安、各地域での先取的な取組みや経験など、様々な情報交換し話し合う機会を設け、参加者の実際の災害に備える意識や実践力を高める契機としたいと考えています。専門的見地からの助言をお願いできたらと考えています。	1回	11月15日	13:30～16:00
26	高松市	中央小学校	本校防災学習時に、本校教員が行う防災をテーマとした公開授業へのアドバイザーや講師として、指導・助言をお願いしたい。	1回	11月18日	8:30～11:30
27	観音寺市	観音寺総合高等学校	今まで、防災アドバイザーを利用した経験はありません。これを機会に本校の防災訓練を見直したいと思いますのでよろしくお願いします。できましたら１２月初旬の冬の防災訓練のご指導をお願いしたいと思います。	1回	12月7日	11:35～12:20
28	丸亀市	城辰幼稚園	危機管理マニュアルを作成しているが、実際に課題に感じるポイントもあるため、専門的な視点でのご指導ご助言をいただきたいため。	1回	12月11日	14:30～16:30
29	丸亀市	飯山高等学校	校内の第２回防災訓練に、昨年度ご来校頂いた香川県防災士会の久保雅和会長、または近藤一夫様にご講演いただきたい。	1回	12月19日	12:10～13:00
30	三豊市	高瀬高等学校	この訓練は避難所運営マニュアルの初動の動きを確認します。様子をみていただき、感想やご意見、改善点などをお聞きしたいです。	1回	12月20日	12:00～14:00

(6) 想定外災害再現・教育訓練実施

四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構では、「適切な状況判断」「素早い意思決定」「速やかな行動」ができる、実践力（コンピテンシー）を備えた人材の育成を目的に、「災害状況再現・対応能力訓練システム」を開発し運用しています。平成 30 年度は、30 回研修を実施しました。受講者および見学者は 516 名、そのうち教員役の体験者は 59 名です。平成 30 年度の利用状況の内訳を表 1 に示します。

また、これまでの訓練実施の活動が評価され、本訓練システムの開発や運用に取り組む、四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構の白木渡特任教授、創造工学部の井面仁志教授、髙橋亨輔講師が平成３０年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞（科学技術振興部門）を受賞しました。受賞業績名は「危機管理教育における災害対応力訓練シミュレータ技術の振興」です。従来の防災教育は、知識や技術の習得を目的とするものが多く、習得した知識や技術の活用を目的とした教育はほとんど実施されていませんでしたが、本活動は、災害時の危機的な状況下で、訓練体験者が適切な状況判断と意思決定を行い、その結果を行動に移すという、災害時の一連の行動を体感可能な訓練シミュレータを開発したこと、また、それらを用いた災害時対応訓練を広く受講可能なように一般公開し、定期的に訓練を実施することで、防災コンピテンシーの高い人材を育成し、学校や地域の災害対応力を向上させることに寄与していることが評価されました。

表 1　平成 30 年度利用状況の主な内訳

分類	詳細
学校関係	香川中部養護学校、坂出市内保育所教頭会、高校生を対象とした災害時ボランティアリーダー養成講習会（香川県）、高松市保育研究会、香川県教育センター、教員免許状講習、穴吹医療大校、大阪高等学校
地域組織	愛媛県西条市婦人会、大町コミュニティセンター、庵治地区福祉・保健委員
企業	株式会社北岡組
大学／研究機関	名古屋工業大学（渡辺研）
国際関係	香大インターナショナルオフィス、高松市国際交流協会、さくらサイエンス
実習	四国防災特別プログラム（事業継続計画（ＢＣＰ）の策定と実践），ネクストプログラム防災ボランティア実習

3.地域強靭化研究・地域貢献事業の実施

(1) 香川地域継続検討協議会、香川地域継続首長会議の運営

平成 30 年度、第 23 回協議会は設立 6 周年記念シンポジウムと同日に開催しました。アクション項目の中の「重要拠点機能」について、各組織における重要拠点の明確化、南海トラフ地震時における発災後の時系列活動目標の共有、南海トラフ地震臨時情報の半割れ(大規模地震)、被害甚大ケースにおける対応の検討について、情報を共有しました。各組織における重要拠点については、事前に構成員への照会（アンケート）も実施しました。

第 24 回協議会は、「応援・受援機能」、南海トラフ地震臨時情報をテーマに、検討しました。香川県危機管理課より、県及び市町が連携した応援職員の応援・受援体制の整備について、情報提供がありました。香川県土木部からは、被災建築物応急危険度判定及び被災宅地危険度判定に関する受援体制の強化について、詳しくご説明いただきました。

香川大学からは、南海トラフ地震に関連する情報(臨時)への各機関の対応について、情報を提供しました。情報に対して質問も多く寄せられ、有意義な会となりました。

図 1 重要拠点機能に関するアクション項目

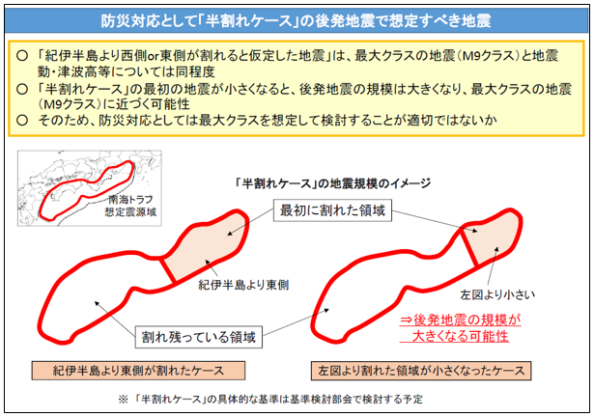


図 2 南海トラフ地震臨時情報「半割れケース」

●香川地域継続検討協議会勉強会

回数	開催日	参加人数	講師名	所属･役職･『テーマ』
第28回	5月9日（水）	43名	金田　義行　氏	香川大学四国危機管理教育･研究･地域連携推進機構 地域強靭化研究センター長　特任教授 『南海トラフ地震に関する臨時情報への対応について』
			白木　　渡　氏	香川大学四国危機管理教育･研究･地域連携推進機構 危機管理先端教育研究センター長　特任教授 『香川DCPにおける南海トラフ臨時情報への対応』

●香川地域継続検討協議会

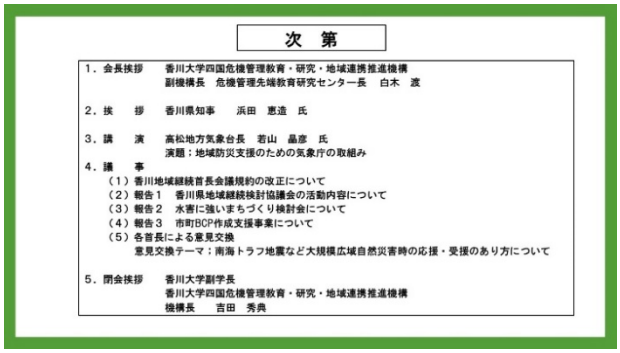
回数	開催日	参加人数	議事内容
第23回	11月19日（月）	24名	①重要拠点機能について　②南海トラフ地震臨時情報について ＊設立6周年記念シンポジウムと同時開催
第24回	3月19日（火）	28名	①応援･受援機能について ②南海トラフ地震臨時情報について

●香川地域継続検討協議会設立6周年記念シンポジウム

開催日	参加人数	講師名	所属･役職･『テーマ』
11月19日（月）	58名	白木　　渡　氏	【活動報告】 香川大学四国危機管理教育･研究･地域連携推進機構 危機管理先端教育研究センター長　特任教授 1.『四国の地域継続力向上を目指して ～香川地域継続検討協議会の活動報告～』
		加藤 孝明　氏	【パネルディスカッション】 話題提供：『復興準備の必要性と"build back better"』 東京大学生産技術研究所 准教授

平成 30 年度 5 月 28 日に「第 1 回香川地域継続首長会議」をマリンパレスさぬきにて開催しました。県・市・町の首長をはじめとする約 32 名の方々に、会議にご参加いただきました。会議では、香川地域継続検討協議会、水害に強いまちづくり検討会、市町ＢＣＰ作成支援事業の進捗や活動状況についての報告をしました。

更に、各首長による意見交換も行いました。想定されるマグニチュード 9 クラスの南海トラフ巨大地震が発生した場合、香川県は広域応援部隊の十分な投入が望めない可能性があり、少ない応援であっても早期の復旧復興が行えるよう、各自治体の応援体制について一層の整備・強化を図る必要があります。そこで、南海トラフ地震など大規模自然災害時の、①職員派遣などの人材資源の応援・受援、②行政区域を超える広域避難への応援・受援のあり方にについて各首長のご意見を伺いました。県外の自治体からの職員派遣等、人材派遣の受け入れ体制の整備・強化の必要性や、広域避難体制に入る為の準備、広域避難を促す情報を発表する為の仕組みの検討も必要ではないか、といったご意見をいただきました。


次　第

1．会長挨拶　香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
副機構長　危機管理先端教育研究センター長　白木　渡

2．挨　拶　香川県知事　浜田　恵造　氏

3．講　演　高松地方気象台長　若山　晶彦　氏
演題：地域防災支援のための気象庁の取組み

4．議　事
（1）香川地域継続首長会議規約の改正について
（2）報告1　香川県地域継続検討協議会の活動内容について
（3）報告2　水害に強いまちづくり検討会について
（4）報告3　市町BCP作成支援事業について
（5）各首長による意見交換
意見交換テーマ：南海トラフ地震など大規模広域自然災害時の応援・受援のあり方について

5．閉会挨拶　香川大学副学長
香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
機構長　吉田　秀典

図 1 香川地域継続首長会議 次第

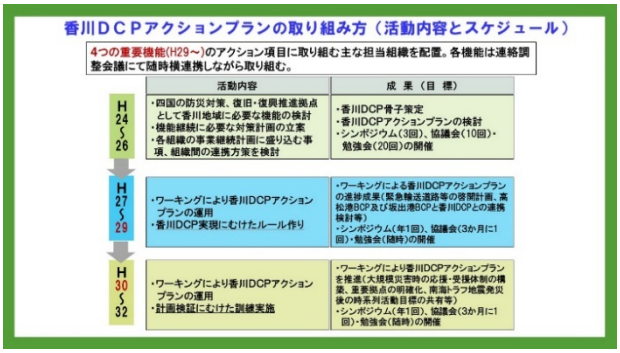


図 2 香川ＤＣＰアクションプランの取り組み方

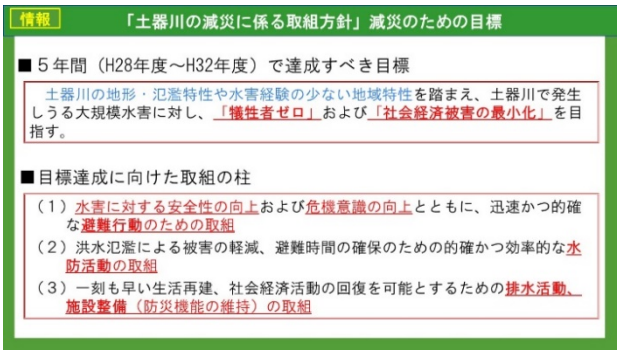


図 3「土器川の減災に係る取組方針」減災の為の目標

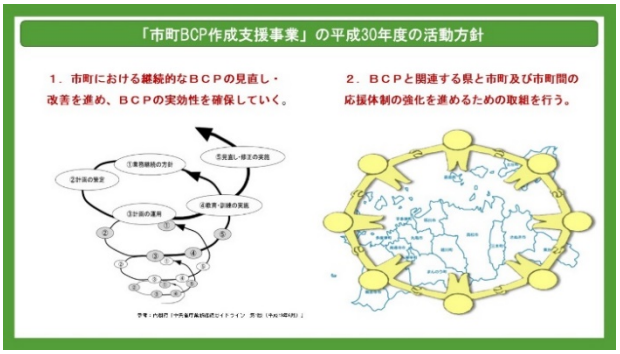


図 4「市町 BCP 作成支援事業」の平成 30 年度の活動方針

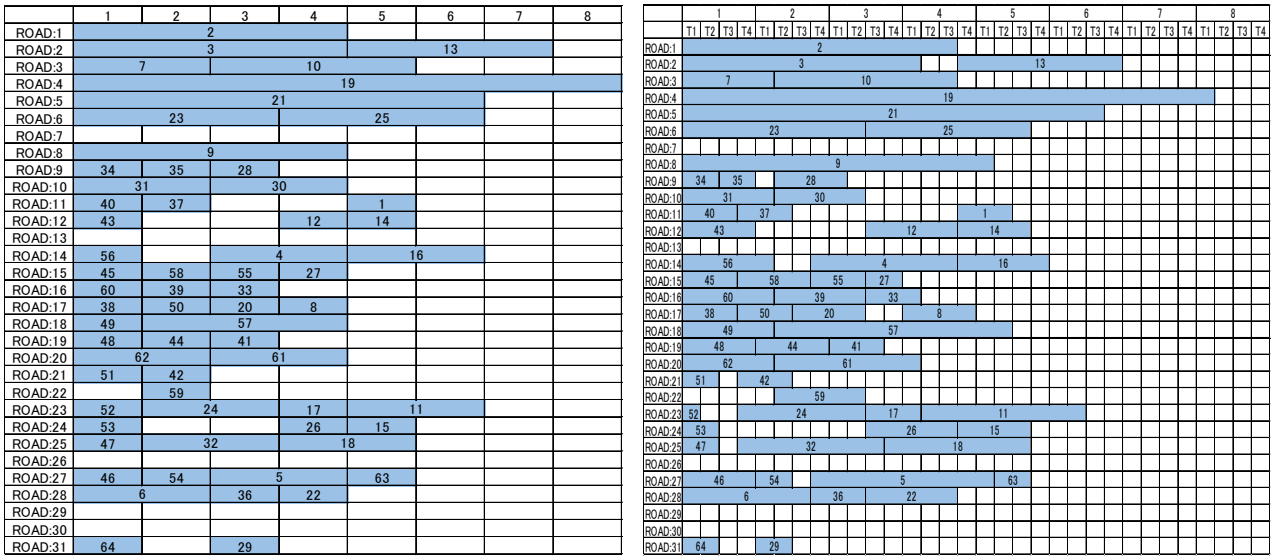
香川地域継続首長会議の様子

香川地域継続首長会議 意見交換

(2) 地域影響分析（DIA）支援システムの開発・運用

本年度は、DIA 支援システムの復旧シミュレーションの改良を実施しました。従来、DIA 支援システムでは、復旧計画表の単位を日単位で策定しています。しかし、既往の復旧計画は 3 日以内、1 週間以内を目標としたものも多く、より詳細な分析を行うために時間単位で復旧シミュレーションを実施できるように改良が必要となります。現在の道路復旧作業モデルでは、数時間で完了する作業でも、1 日分の作業とすることから、時間単位で作業を実施した場合の計画への影響調査を実施しました。

復旧計画の策定結果を図 1 に示します。図 1 a)に従来モデルである日単位の復旧計画表、図 1 b)に時間単位に変更した復旧計画表をそれぞれ示します。図 1 b)は、1 日を 4 分割（T1 から T4）しています。本復旧シミュレーションでは、1 日を 12 時間としているため、単位時間は 3 時間ごととなります。図 1 a)と図 1 b)より、いずれの復旧計画も 8 日間で完了しており、作業が完了するまでの日程や、作業の割り当てに大きな変化はありません。道路復旧 11 班を例に復旧計画表を確認すると、日単位の復旧計画表は、1 日目に 40 番の被害箇所、2 日目に 37 番の被害箇所を担当することになっています。一方、時間単位の計画表では、道路復旧 11 班は 1 日目の T1 から T3 の間は 40 番の被害箇所を担当していますが、作業を完了し同日より 37 番の被害箇所の復旧を開始しています。特に、道路復旧 2 班では、13 番の被害箇所の担当が前倒しされ、当初 7 日で完了していた計画が 6 日で完了となり、1 日短縮されていることが確認できます。以上より、時間単位の復旧計画表を策定することで、短期間の復旧計画を確認する場合の有用性を検証できました。



a) 復旧計画（日単位）　　b) 復旧計画（時間単位）

図 1　日単位と時間単位の復旧計画表

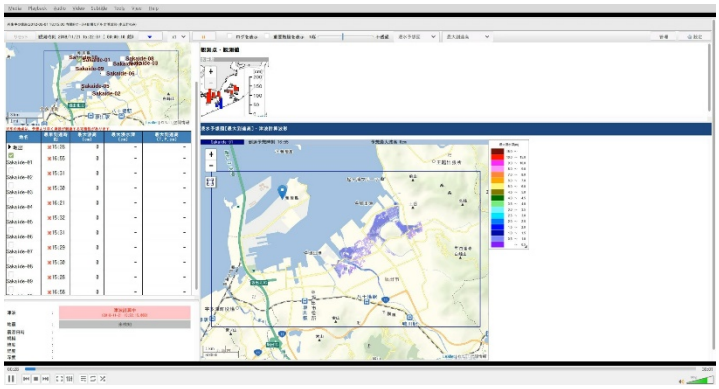
日単位の作業モデルと時間単位の作業モデルの比較結果より、日単位ではなく、時間単位とすることで、復旧計画をより詳細に検討できることが明らかとなりました。それ以外にも、香川県緊急輸送路図と平成 29 年度香川県道路啓開計画の差異を検討しています。その結果、全体の復旧日数はいずれの計画も大きな差ないものの、復旧作業 1 日目では、香川県の緊急輸送路図の方が、より多くの道路復旧班が作業を開始できることが確認できました。また、道路の被害量の削減効果、道路復旧班の能力値の増減、重要施設の優先度変更などの対策を実施した場合の復旧計画の影響を検討しています。その結果、復旧条件の設定による計画の影響を示しました。

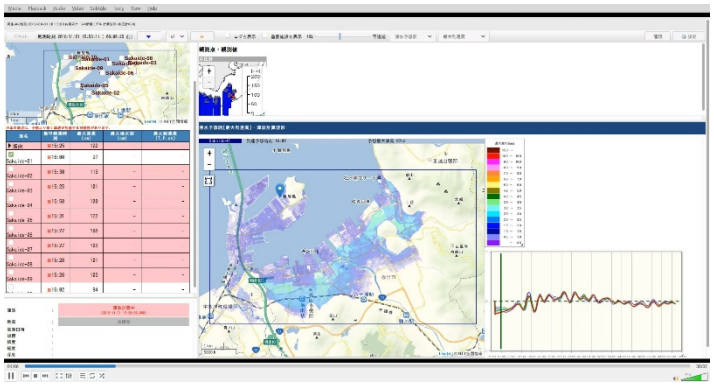
(3) 地震・津波観測監視システム（DONET）情報の利活用

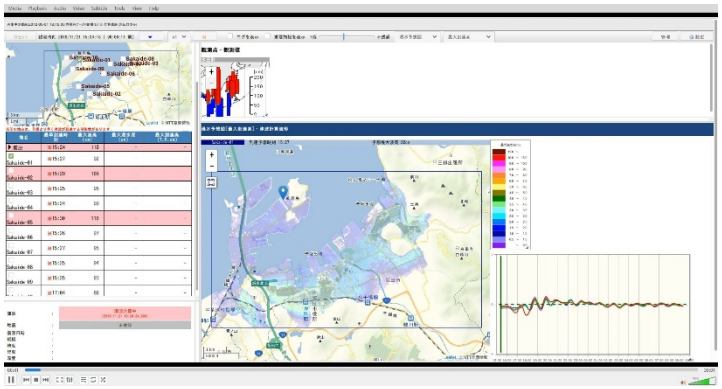
平成 30 年度は 10 月 25 日に坂出市消防局と DONET 情報の利活用訓練を行いました。

訓練は、当機構の磯打千雅子特命准教授ならびに創造工学部の野々村敦子准教授と学生の皆さんの協力の下で実施しました。訓練内容はあらかじめ香川大学側で策定した災害時の救急シナリオに基づき、消防局の皆さんがリアルタイム津波浸水シミュレーションを活用した消防対応指示と現場対応を行うものです。結果として、リアルタイム情報の有効性が確認されたことや時間情報の表示の改善の必要性などが議論されました。

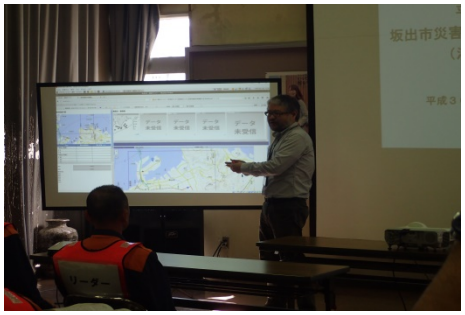
坂出市のリアルタイム津波浸水予測のスナップショット







坂出市消防局 訓練



(4) まちなかカフェ開催による地域防災力向上

【減災カフェ開催の目的】

減災カフェは以下の目的で実施しています。

1．地域の災害リスクを知る、日本の地震リスクを知る、世界の災害リスクを知る。

2．南海トラフ巨大地震への備えの意識向上

3．理学、工学、医療ならびに社会科学を統合して減災、地域復興・強靭化を目指す減災科学の推進

減災カフェでは地域住民の皆さんや小中学校生を対象に行っており、自然災害の知識や災害イメージならびに視点を変えることで潜在リスクの気づきなどについて説明し、コミュニケーションを図っています。これらの減災カフェの活動を通じて人材育成の推進が期待されています。

開催日	会議（カフェ）等名称	講演題目・活動内容など	開催地
2018/9/1	ぼうさいまちカフェ 高松市市民防災フォーラム	南海 トラフ巨大地震に備えてあなたできる事！	高松市合同庁舎
2018/10/10	第四回高校生高知減災エンス塾	寺田寅彦先生の地球科学観に学ぶ －減災科学研究の推進－	寺田寅彦記念館 （高知市）
2018/12/4	高松高校サイエンスアゴラ	地球科学の勧め～先端巨大科学で探る地球～	高松高校
2019/3/16	香西防災士予備校（香西小学校4～6年、勝賀中学校生）	テーマ：自分を守る　家族を守る　助けられる側から助ける側へ 内容：これまで・・・と　これから！	高松市香西コミュニティセンター
2019/3/18	観音寺第一高等学校SSHサイエンスレクチャー	減災エンス活動に関する講演	観音寺第一高等学校

高知減災エンス塾

観音寺第一高等学校 SSH サイエンスレクチャー

【高松市ぼうさいまちカフェ】

平成 30 年度より、高松市が開催する「ぼうさいまちカフェ」に機構教職員を講師として派遣しています。各講師の専門分野から、防災・減災についての話題提供を行い、一般市民と自由に語り合う場を目指しています。

開催日	講 師	タイトル
8 月 7 日(火)	白木　渡	そもそも【危機管理】できていますか？
9 月 1 日(土)	金田　義行	南海トラフ巨大地震に備えてあなたにできる事！
9 月 27 日(木)	Ozer Sozdinler Ceren	(1)津波ハザードアセスメント&減災戦略 ～ヨーロッパと日本の例～
10 月 3 日(水)	野々村　敦子	防災マップを見てみませんか？
11 月 30 日(金)	石塚　正秀	豪雨・河川災害を考える
12 月 19 日(水)	長谷川　修一	大地の成り立ちが分かれば、地域を見る目が変わる ～なぜ鬼無は世界に誇る盆栽の里になったのか？～
1 月 22 日(火)	寺尾　徹	気象変動と極端現象～人と災害の合間を考える
2 月 21 日(木)	本山　紘希	地震の揺れの基礎知識
3 月 8 日(金)	佐々木　睦子	災害時の妊婦さんを守るためにできること

ぼうさいまちカフェの様子

4.四国国立５大学連携による 危機管理教育研究推進と拠点形成

(1) 四国５大学連携防災・減災教育研究協議会の開催

平成 30 年度は、高知大学 原教授を議長とし、「四国 5 大学連携防災・減災教育研究協議会」を 1 回、開催しました。活動としては、「四国防災・危機管理プログラム」の共同管理・運営を行っています。このプログラムは香川大学と徳島大学で運営・管理の「四国防災共同教育センター」によって、香川県と徳島県の協力の下、開設されています。平成 29 年度からは愛媛大学も試行的に参画しています。今後も連携の在り方について、引き続き検討いたします。

防災・減災・危機管理推進拠点の形成にあたり、平成 29 年度から香川大学が主管となり協議してきた、四国４県の「実行力」と国立５大学の「知（地）」とを融合した新たな「官学連携」事業について平成 30 年度は、四国 4 県の防災危機管理担当課長と 5 大学連携防災・減災教育研究協議会委員との打ち合わせ会を 3 回、開催しました。10 月には新組織名称「四国官学連携防災・減災協議会」として発足し、四国地域の防災・減災への課題の共有化や施策の研究検討等、他地域にない取り組みを開始しました。今後も、四国の 4 県及び国立 5 大学が相互に連携し、四国の地域強靭化に貢献していきたいと考えています。

四国4県・5大学　官学連携の共通課題と取組み
1．四国の減災科学（レジリエンスサイエンス）について
①四国の各大学の強みを生かすための減災セミナー講座の設置（減災科学の考え方を学ぶ）
②理工学、医療、社会科学の分野での減災、強靭化人材の育成プログラムの実施
③行政分野の各施策、大学の各講義に減災・強靭化の考え方の反映
④人材育成、減災対策、産業の活性化などに関する四国の未来像を考える検討会の設置
2．人材育成・リーダー養成について
①大学による防災･危機管理の専門家養成のための「四国防災･危機管理特別プログラム」の拡充･強化と行政による連携運用
②大学による小･中･高、成人を対象とした、副読本、防災教材、啓発冊子の作成及び防災教育システムの開発、並びに行政･教育機関によるその活用
③大学による県・市町村職員を対象とした防災教育の実施
④大学による広域災害対応力訓練システムの開発
⑤行政・学校・医療・企業・避難所を対象とした訓練システムの標準化とその共同運用
3．四国のレジリエンス施策・検討について
①基礎自治体のＢＣＰの策定・更新支援と情報の共有化
②ＤＣＰ(District Continuity Plan：地域継続計画)の策定支援と情報の共有化
③各県の地域強靭化計画に関する情報の共有化と運用に関する連携
④四国の地域創生に資する各県の産業構造、就業動向等に関する情報共有と今後のあり方について
4．リアルタイム災害情報について
①県域を越えたリアルタイム防災情報基盤システムの開発
②ＡＩを活用したリアルタイム災害予測情報等の新技術開発
③ＮＡＶＩシステムを活用した避難情報提供システムの開発
④災害時の送り手／受け手の温度差を踏まえた情報発信のあり方の検討

(2) 九州・中国・四国大学防災関連研究センター連携協議会との連携

平成 30 年度は 11 月 10～11 日に、第 6 回「九州・中国・四国地域防災情報交換会」が山口大学にて開催されました。11 月 10 日の第 1 部では、西日本豪雨災害における調査研究報告が山口大学の長井先生を始め 5 名の関係大学から行われました。

11 月 11 日の第 2 部では、防災・減災に関する研究センターの 9 大学の担当教員より活動報告があり、意見交換が行われました。

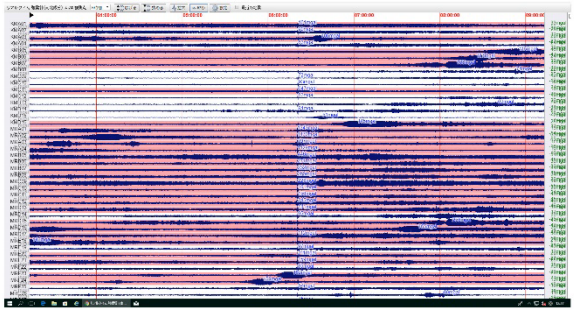
四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構では、この協議会をとおして「四国防災・危機管理プログラム」の九州・中国の国立大学への展開を推進しています。

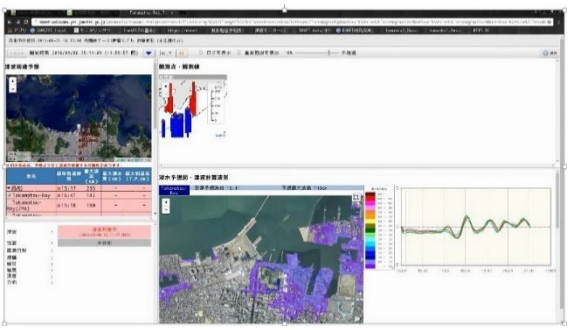
5.危機管理分野の国際学術連携推進と拠点形成

(1) 国内拠点機能の強化

国内拠点機能強化の一環として研究連携協定を締結した　国立研究開発法人海洋研究開発機構との共同研究として、DONET のリアルタイム情報表示システムを導入しました。

DONET リアルタイム情報





DONET 表示システムを当機構内の１室に設置。
DONET はリアルタイムで紀伊半島沖を中心とした南海トラフ巨大地震震源域の地殻活動をモニタリングするシステムです。
今後は地震津波の早期検知やリアルタイム津波浸水予測シミュレーションの高度化が期待されています。

また、四国４県５大学の連携を図るための議論を継続して実施しています。

<四国4県防災危機管理担当課長と5大学連携防災･減災教育研究協議会委員との打ち合わせ会>
第６回（H30.5.23）　第７回（H30.7.20）　第８回（H30.10.22）

さらに前年度に引き続き、シンポジウムや本機構の客員教授による研究セミナー等を実施し、本機構を拠点とした情報発信を行っています。

<シンポジウ・セミナーなど>

開催日	タイトル	講師等	
4月5日	第1回平原和朗地震学講座「研究経歴」	香川大学　客員教授　平原 和朗	主催
4月26日	第2回平原和朗地震学講座「地震学の基礎」	香川大学　客員教授　平原 和朗	主催
5月10日	第3回平原和朗地震学講座「日本の地震活動、被害地震」	香川大学　客員教授　平原 和朗	主催
5月24日	香川大学四国危機管理教育･研究･地域連携推進機構セミナー	杏林大学 総合政策学部 教授　橋本 雄太郎 太陽工業株式会社　寺村　浩一	主催
6月8日	第4回平原和朗地震学講座「長周期地震動、ゆっくり地震」	香川大学　客員教授　平原 和朗	主催
6月13日	香川大学四国危機管理教育･研究･地域連携推進機構セミナー	名古屋大学大学院 環境学研究科付属地震火山研究センター研究員 三井 能麻	主催
6月14日	第5回平原和朗地震学講座「地震予測研究」	香川大学　客員教授　平原 和朗	主催
6月28日	第6回平原和朗地震学講座「今後の地震研究」	香川大学　客員教授　平原 和朗	主催
7月19日	県民防災週間2018シンポジウム　～大規模災害から命を守るために～	京都大学 防災研究所 巨大災害研究センター 教授　矢守 克也　他	共催
8月31日	香川大学四国危機管理教育･研究･地域連携推進機構セミナー	中央大学理工学部 都市環境学科 教授　有川 太郎	主催
9月18日	香川大学四国危機管理教育･研究･地域連携推進機構セミナー	名古屋大学 減災連携研究センター 副センター長　野田 利弘	主催
10月5日	香川大学四国危機管理教育･研究･地域連携推進機構セミナー	博海堂株式会社 代表 香川大学　客員教授　高嶋 博視	主催
11月2日	香川大学四国危機管理教育･研究･地域連携推進機構セミナー	防災科学技術研究所 地震津波火山ﾈｯﾄﾜｰｸｾﾝﾀｰ長　青井　真	主催
11月19日	香川地域継続検討協議会　設立6周年記念シンポジウム 「災害に負けない持続可能な地域を目指して」	話題提供：東京大学 生産技術研究所 准教授　加藤孝明　他	主催
12月3日	平成30年度 香川大学危機管理シンポジウム災害から命を守るために	福岡県東峰村　村長　澁谷 博昭　他	主催

(2) 国際拠点機能の強化

平成 29 年度に引き続き国際拠点機能強化の一環として、国際シンポジウムである減災科学コンソーシアム CoDMiS（Consortium of Disaster Mitigation Science）シンポジウムを 11 月 29 日に香川大学幸町キャンパスで開催しました。参加国はインドネシア、台湾、トルコ、ロシア、ネパール、ペルーならびに日本です。

国際シンポジウムの翌日に CoDMiS ミーティングを開催し、各国の防災・減災の取り組み等について意見交換を行いました。

本年度は、CoDMiS の一環として地域強靭化研究センターの金田特任教授が国立中正大学で講演や活断層巡検、バンドン工科大学で講演や活断層地域における防災訓練の視察・アドバイスを行い、減災科学に関する連携を一層強化しました。

さらに、8 月にバンドン工科大学地球科学技術学部（インドネシア)と MOA、11 月にモスクワ大学物理学部地球物理学科（ロシア）と MOU を締結し、研究連携強化を図っています。

また、金田特任教授が 3 月にペルーの INDECI（国家防災庁）を訪問した際、MOU 締結についての提案があり、今後両機関で締結に向けて前向きに検討することになりました。

同じく 3 月に危機管理先端教育研究センターの白木特任教授および地域強靭化研究センターの藤澤特命教授がネパールのトリブバン大学付属 ICMS を訪問し、MOU 締結に関する協議を行いました。

10 月に実施された JST さくらサイエンスプラン（日本・アジア青少年サイエンス交流事業）にてインドネシアのバンドン工科大学、台湾の国立中正大学及びネパールのトリブバン大学の学生・若手研究者らを受け入れ、防災・減災科学教育、文化交流を実施しました。

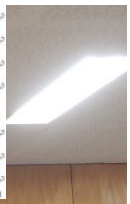
CoDMiS（コドミス）ミーティング

バンドン工科大学との MOA 締結式@バンドン工科大学

モスクワ大学との MOU 締結式@香川大学

さくらサイエンスプラン

	プログラム
1 日目	入国，移動
	オリエンテーション
2 日目	防災教訓の継承を目的とした普及施設の見学（人と防災未来センター 神戸）
	高松市へ移動／レセプション
3 日目	レジリエンスサイエンス（全体のスコープ設定）
	地盤環境コースガイダンス，GIS による地形解析／レジリエンスサイエンス講義
4 日目	GIS による地形解析 （DEM を活用した中央構造線沿いの斜面の解析／地震・津波シミュレーション研修）
	GIS による地形解析 （DEM を活用した中央構造線沿いの斜面の解析／リスクマネジメント研修）
5 日目	香川大学の学生防災士との研究交流
	地形観光/徳島県の中央構造線の現地調査
6 日目	文化体験
7 日目	土質試験研修／防災教育研修
	土質試験研修／VR災害状況再現対応能力向上訓練システム体験研修
8 日目	成果のとりまとめ，発表会 神戸市三宮へ移動（高速バス）
9 日目	災害教訓継承施設・防災教育（兵庫県立大学）
	兵庫県庁災害対策本部室 研修（兵庫県庁）
10 日目	出国



(3) 減災に関する研究の推進（減災科学研究部門）

減災科学研究部門では、防災・減災の対策に、様々なシナリオを想定した被害推定の高度化がキーポイントであると考え、詳細な数値シミュレーションを用いて、高松市を対象に津波および地震時の被害評価を進めています。

津波による被害推定として、南海地震を対象に、津波の発生～伝播、陸地への遡上の数値シミュレーションを実施し、高松市の津波による浸水を計算しました。図 1 に示すように詳細な浸水域が明らかになるとともに、浸水域の時間変化も明らかになっています。今後、地震発生後の避難を踏まえた検討を加える予定です。本研究について、国際学会等を通じて発表を行っています※。

地震については、高松市の約 47 万棟の建物のモデル化を行い、並列計算機を活用することで全建物の地震応答の計算を実施しました。2018 年度は、一様な地震動の入力による試計算を実施しました。図 2 は全解析対象エリアおよびその一部（香川大学周辺）エリアの地震応答アニメーションのスクリーンショットです。今後、南海地震を対象にした検討を行っていきます。

減災科学研究部門では、上記の検討などを踏まえ、機構の主催するシンポジウムなどでも情報提供を行っています。

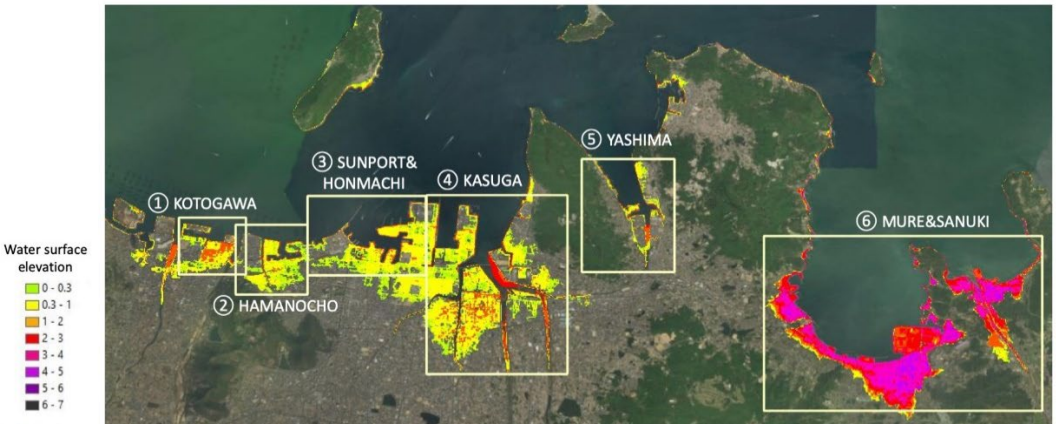


図 1　津波の浸水域の評価

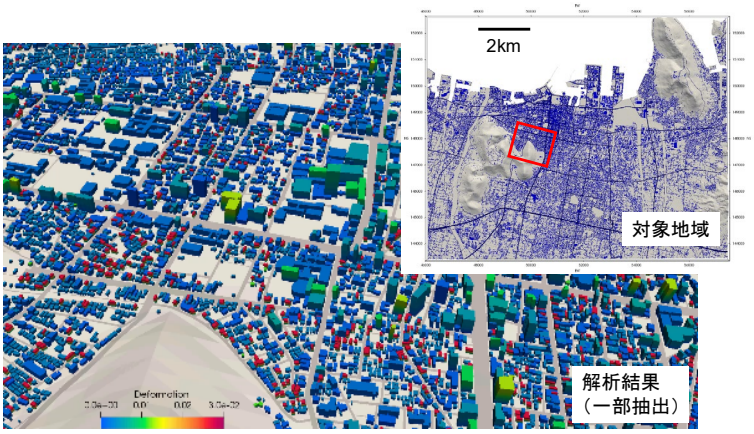


図 2　建物の地震被害推定の適用例

※参考文献
C. Ozer Sozdinler et al.: TSUNAMI HAZARD ASSESSMENT FOR TAKAMATSU CITY IN THE FRAME OF DISASTER RESILIENCE ACTIONS IF NANKAI TROUGH QUAKE HITS JAPAN, *Abstracts of 27th IUGG General Assembly*, 2019.

6.シンポジウム、セミナー等の開催

(1) 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構セミナー
～地域住民による避難所立ち上げプロジェクト事例の紹介他～

平成 30 年 5 月 24 日、避難所運営の重要性に関するセミナーを開催致しました。熊本地震から、早 2 年が過ぎましたが、被災地域では復興への努力が続けられています。熊本地震では、震度 7 の強い揺れに 2 度襲われたこともあり、多くの方が避難を余儀なくされ、避難所の開設や運営等の課題が指摘されました。

避難所運営の重要性を考え、今回の講演会を企画いたしました。講演会では、まず杏林大学総合政策学部の橋本雄太郎特任教授から、地域住民による避難所立ち上げプロジェクトの事例紹介をしていただきました。更に、太陽工業㈱の寺村浩一氏から防災・避難関連製品開発についての取組みも紹介していただきました。セミナー参加者は 45 名で、熱心に聴講されていました。

橋本特任教授の講演

寺村氏の講演

エアシェルター

セミナーの様子

（2）四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構セミナー
こころで備える地震学　～災害時のストレス軽減のために～

名古屋大学大学院環境学研究科附属地震火山研究センター 研究員 光井能麻先生をお招きし、『こころで備える地震学～災害時のストレス軽減のために～』をテーマにご講演いただきました。

当日は、地域の方をはじめ、行政、企業、教職員２５名が、こころの減災という内容で、地震に関する必要最低限の知識を得て、納得することで、恐怖を軽減し､自ら行う災害時のストレス軽減方法や今を大切に生きるためには、どうしたらいいのかなどについて、聴講しました。

会場からはたくさんの質問や意見が出され、大変､盛況な会となりました。

光井氏の講演

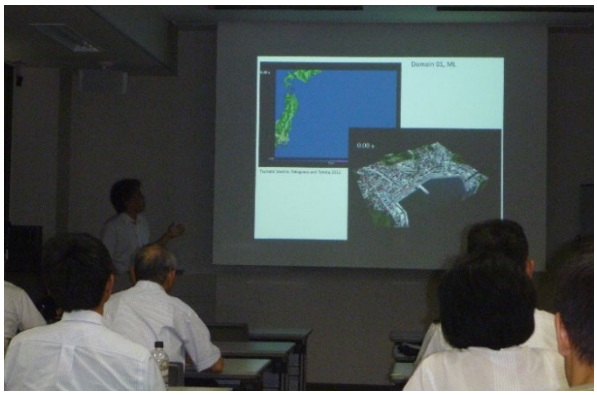
セミナーの様子

(3) 四国危機管理教育･研究･地域連携推進機構セミナー ～津波避難計画のためのマルチエージェントシステムを用いたマルチフィジックス統合シミュレータの開発～

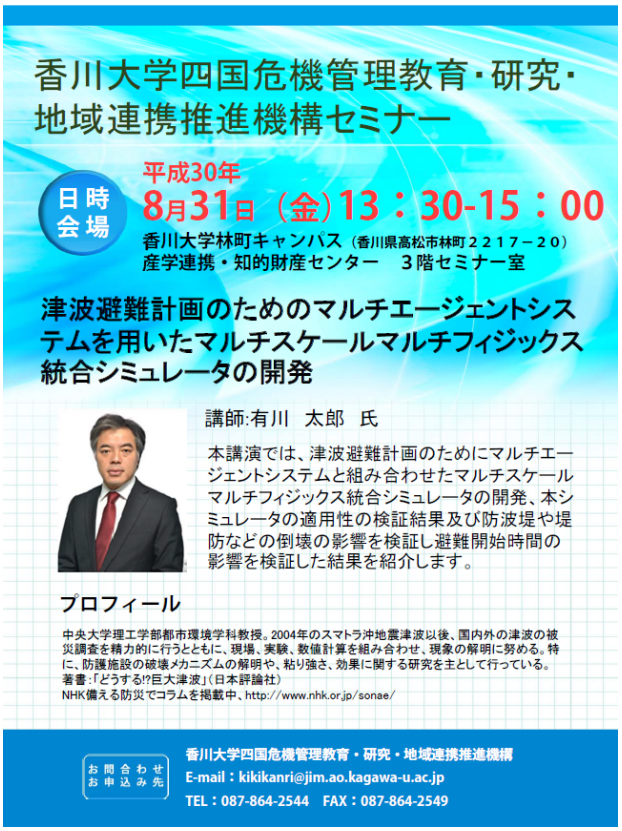
四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構主催 セミナーとして、中央大学理工学部都市環境学科 教授 有川太郎先生に『津波避難計画のためのマルチエージェントシステムを用いたマルチスケールマルチフィジックス統合シミュレータの開発』をご講演いただきました。

当日は、地域の方をはじめ、企業、学生、教職員２６名が聴講しました。講演では、津波避難計画を立てる補助ができるようなツールの開発について、シミュレーションの紹介や、検証結果の説明がありました。会場からは南海トラフについてのシミュレーションはどのようにされているか、シミュレーションに漂流物の動きを反映させられるか、地震や津波などの予報が当たらず、死者がでた場合の責任問題に関する法整備の必要性など、たくさんの質問や意見をいただきました。

有川教授の講演



セミナーの様子



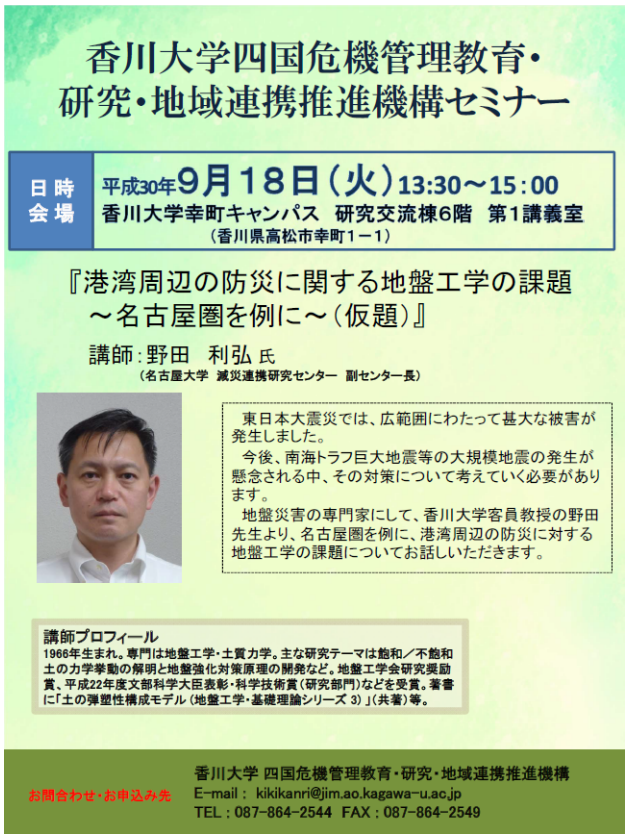
(4) 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構セミナー
～港湾周辺の防災に関する地盤工学の課題～

四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構主催 セミナーとして、名古屋大学 減災連携研究センター 副センター長 野田利弘先生に『港湾周辺の防災に関する地盤工学の課題～名古屋圏を例に～』をご講演いただきました。当日は、地域の方をはじめ、企業、学生、教職員３６名が聴講しました。

講演では、名古屋圏の実例を元に、名古屋港の埋め立て地や、地盤沈下についてなど、現状と、現状を維持するための対策などの説明がありました。また、伊勢湾台風の当時の映像が流され、当時は、避難所などなく、被災しても、浸水で悪臭の漂う中、自分の家で生活しなければならなかった様子を見ることが出来ました。流れ込むたくさんの水流をせき止め、水が引くまでには、40日もかかったなど、興味深い話を聴くことが出来、盛況な会となりました。

野田教授の講演

セミナーの様子



香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構セミナー

日時 平成30年9月18日（火）13:30～15:00
会場 香川大学幸町キャンパス 研究交流棟6階 第1講義室
（香川県高松市幸町1－1）

『港湾周辺の防災に関する地盤工学の課題
～名古屋圏を例に～（仮題）』

講師：野田 利弘 氏
（名古屋大学 減災連携研究センター 副センター長）

東日本大震災では、広範囲にわたって甚大な被害が発生しました。
今後、南海トラフ巨大地震等の大規模地震の発生が懸念される中、その対策について考えていく必要があります。
地盤災害の専門家にして、香川大学客員教授の野田先生より、名古屋圏を例に、港湾周辺の防災に対する地盤工学の課題についてお話しいただきます。

講師プロフィール
1966年生まれ。専門は地盤工学・土質力学。主な研究テーマは飽和／不飽和土の力学挙動の解明と地盤強化対策原理の開発など。地盤工学会研究奨励賞、平成22年度文部科学大臣表彰・科学技術賞（研究部門）などを受賞。著書に「土の弾塑性構成モデル（地盤工学・基礎理論シリーズ 3）」（共著）等。

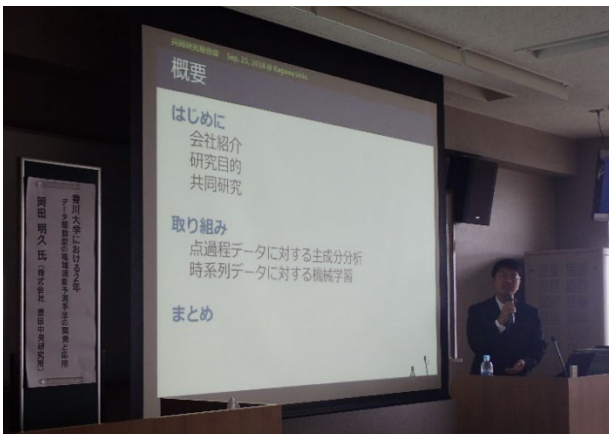
お問合わせ・お申込み先
香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
E-mail： kikikanri@jim.ao.kagawa-u.ac.jp
TEL：087-864-2544 FAX：087-864-2549

(5) 共同研究報告会

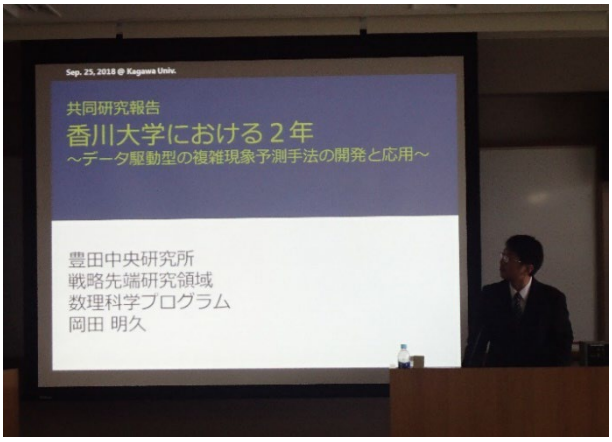
平成 30 年 9 月 25 日、香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構と株式会社豊田中央研究所の共同研究報告会を実施いたしました。

講師の岡田明久氏は、2016 年 10 月から 2 年間、地域強靭化研究センターの金田特任教授の指導の下、観測データを活用した地震活動の状態推定に関する共同研究（「データ駆動型アプローチによる複雑系現象数理モデルに関する共同研究」）に取り組んでこられました。

報告会では、「香川大学における 2 年－データ駆動型の複雑現象予測手法の開発と応用－」をテーマに、主成分分析や機械学習を用いた研究について、報告していただきました。



岡田氏の講演



セミナーの様子

(6) 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構セミナー　～危機管理の要訣～

四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構主催 セミナーとして、博海堂株式会社代表 高嶋博視氏に『危機管理の要訣』というテーマで、ご講演いただきました。当日は、地域の方をはじめ、企業、学生、教職員３３名が聴講しました。

講演では、なぜ日本軍は負けたか、軍事作戦における思考過程、作戦計画の作成、実例（東日本大震災における真水作戦）について詳しくご説明いただきました。聴講者からは多数の質問があり、盛況な会となりました。

高嶋氏の講演

セミナーの様子

(7) 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構セミナー MOWLAS による地震津波火山観測 ～原理から利活用まで～

香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構主催 セミナーとして、防災科学技術研究所地震津波火山ネットワークセンター長 青井真氏に『MOWLAS による地震津波火山観測～原理から利活用まで～』をご講演いただきました。

当日は、地域の方をはじめ、企業、学生、教職員、２９名が聴講しました。講演では、MOWLAS について詳しくご説明いただきました。防災科学技術研究所が運用する、陸海を網羅する地震津波火山観測網 MOWLAS (Monitoring of Waves on Land and Seafloor, モウラス）は、７つの観測網の総称で、東日本大震災、阪神淡路大震災、この２つの大震災を機に開発されました。MOWLAS の観測網では、より緻密なデータを得るため、全国各地に、たくさんの地震計、傾斜計を設置しています。香川大学の近くでは、扇町公園に観測点があります。簡易な振り子の地震計（大工さんが柱が垂直であるかを計る道具）を用いて、地震計の仕組みを説明されました。香川県は日常的に地震を経験する地域ではありませんが、断層があり、大きな地震が起こる可能性があることもふまえた話を聴くことができました。

青井氏の講演

セミナーの様子

香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構セミナー

日時 平成30年11月2日（金）13:30～15:00
会場 香川大学幸町キャンパス（香川県高松市幸町1－1）
研究交流棟5階 研究者交流スペース

『MOWLASによる地震津波火山観測
～原理から利活用まで～』

講師：青井 真 氏
（防災科学技術研究所地震津波火山ネットワークセンター長）

防災科学技術研究所が運用する、陸海を網羅する地震津波火山観測網MOWLAS (Monitoring of Waves on Land and Seafloor, モウラス）は、2つの大震災をもたらした1995年兵庫県南部地震と2011年東北地方太平洋沖地震を契機として整備されてきました。MOWLASは世界にも類のない大量で高品質データは学術的な研究成果の創出にも大きく貢献しており、また気象庁が発表する緊急地震速報、津波警報、震度情報や震源位置決定に使用されるほか、鉄道事業者の新幹線制御にも活用されるなど広く使われています。本セミナーでは、現在の観測に関して、その原理から利活用の状況、南海トラフを含む今後の展望を概説します。

講師プロフィール
防災科学技術研究所地震津波火山ネットワークセンター長。専門は地震観測、強震動地震学、数値シミュレーション、即時予測。地震調査研究推進本部地震調査委員会委員、気象庁緊急地震速報評価・改善検討会技術部会部会長などを務める。

お問合わせ・お申込み先
香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
E-mail： kikikanri@jim.ao.kagawa-u.ac.jp
TEL：087-864-2544 FAX：087-864-2549

(8) 香川地域継続検討協議会設立６周年記念シンポジウム

平成３０年１１月１９日、高松サンポート合同庁舎南館１０１大会議室にて香川地域継続検討協議会設立６周年記念シンポジウムを開催いたしました。

南海トラフの巨大地震災害の発生により、被害は個々の組織に止まらず四国地域全体に及ぶ恐れがあり、四国が機能不全に陥る恐れが予想されます。このような事態に対応するため「香川地域継続検討協議会」では、連携を前提とした戦略的な取り組みとして地域継続計画（District Continuity Plan：DCP）を策定推進してきました。本取り組みは「四国地震防災基本戦略」に位置付けられています。

このような観点から香川大学では、これまで協議会の事務局機能を担ってきた危機管理研究センターを再編整備し、全学体制でこの計画を推進できるよう新たな組織として「四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構」を平成 28 年に設置し、２年間活動を実施してきました。本シンポジウムでは、香川地域の重要機能を担う組織が集う「香川地域継続検討協議会」の活動報告とあわせて、この取り組みが四国全体の地域継続力向上に寄与するための方策を考える場とするため、防災分野での対策推進に先進的に取り組まれている講師をお招きし、パネルディスカッションを行いました。

第１部では活動報告として、白木渡特任教授が「四国の地域継続力向上を目指して～香川地域継続検討協議会の活動報告～」について報告を行いました。

第２部では、東京大学生産技術研究所 准教授 加藤孝明先生に「復興準備の必要性と“build back better”」について話題提供いただきました。防災まちづくりの基本は、防災’も’含めたまちづくり、地域づくりを考えていく必要があります。予め準備して、災害に迎え撃つ考えではなく、復興できる準備として考え、あらゆる状況を想定し適切な手法を検討するなどについてご講演いただきました。加藤先生の話題提供を受け、パネラーの方々には、行政での取り組み内容や大学、地域の活動をご紹介いただき、復興準備のために必要な地域との連携ついて様々なご意見をいただきました。

会場の様子

加藤准教授の講演

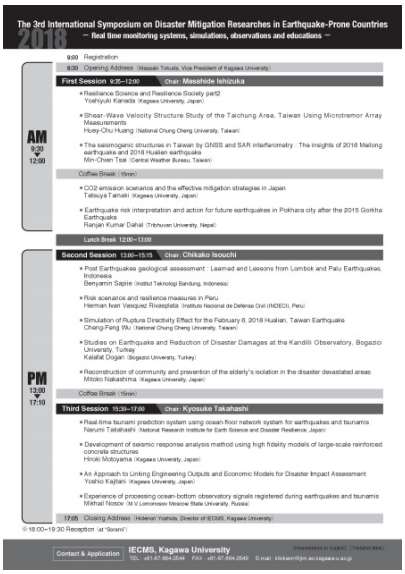
パネルディスカッション

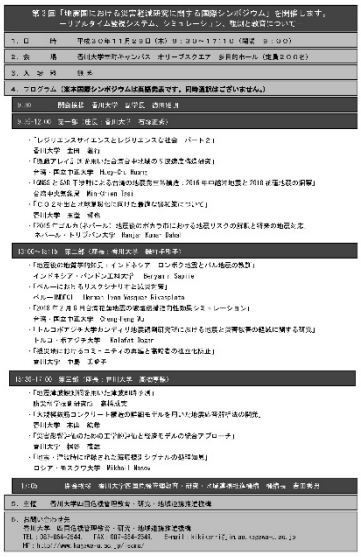
(9) 第３回地震国における災害軽減研究に関する国際シンポジウム

平成 29 年度に引き続き国際拠点機能強化の一環として、国際シンポジウムである CoDMiS（Consortium of Disaster Mitigation Science） シンポジウムを 11 月 29 日に香川大学幸町キャンパスで開催しました。

参加機関（国）はバンドン工科大学（インドネシア）、台湾中央気象局、国立中正大学（台湾）、ボアジチ大学（トルコ）、モスクワ大学（ロシア）、トリブバン大学（ネパール）、INDECI(国家防災庁)（ペルー）および香川大学、防災科学技術研究所（日本）です。

国際シンポジウムのチラシ





国際シンポジウム&視察

(10) 平成 30 年度香川大学危機管理シンポジウム　～災害から命を守るために～

香川大学では、危機管理機構の活動成果を地域に還元し、地域の安全・安心に寄与することを目的として、12 月 3 日にサンポートホール高松にて「危機管理シンポジウム」を開催しました。

主催者及び来賓挨拶の後、金田地域強靭化研究センター長が、機構の重点実施項目に沿って活動状況を報告しました。

全体の様子

＜H30 年度重点実施事項＞

① 文理融合型の 7 部門研究事業の強化充実、西日本 7 月豪雨災害への対応

② 遠隔講義とオンサイト教育の組合せによる「オールハザード・アプローチに基づく教育プログラム」の開発

③ DONET 情報を活用した津波避難支援情報の在り方や救急救助活動支援情報としての利活用について、坂出市をはじめ高松市やさぬき市等をモデル地域として重点実施

④ 四国 4 県・5 大学連携の更なる促進

⑤ 8 月 7 日バンドン工科大学（インドネシア）、11 月 28 日モスクワ大学（ロシア）との学術国際交流協定締結

金田センター長の報告

次に基調講演では、講師として福岡県東峰村 村長 澁谷（しぶや） 博昭氏をお招きし、「平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害を経験して」をテーマに、今回の災害を通して学んだ事として

・住民の防災意識を高めるためには、日頃の防災訓練の大切さ

・災害は必ずまた発生するので、次の世代への伝承の大切さ

・被災後は女性の視点や活躍が重要なため、日頃から女性リーダーの育成の大切さ等についてご講演いただきました。

澁谷村長の基調講演

最後にパネルディスカッションでは、「被災者の命と健康を守る」をテーマに、避難所の衛生・環境管理の取組みと課題や中長期的な視点から見た避難所の在り方などについて、被災地での経験豊富な専門家から様々な意見や、アドバイスをいただきました。

〇コーディネーター

平尾　智弘　　香川大学　医学部　教授（機構併任）

〇パネリスト

中瀬　克己 氏　吉備国際大学　保健医療福祉学部　教授

小早川（こはやがわ） 義貴 氏　国立病院機構災害医療センター　災害医療部 福島復興支援室　室長補佐

吉井由美子 氏　高松市健康福祉局　保健所保健センター主幹

井手　文雄 氏　熊本県上益城郡山都町教育委員会　教育長（元　益城町立広安西小学校　校長）

パネルディスカッションの様子

(11) 香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構セミナー
～危機管理学におけるリスクコミュニケーション～

香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構主催 セミナーとして、日本大学危機管理学部教授 福田充氏に『危機管理学におけるリスクコミュニケーション～オールハザード・アプローチの観点から』をテーマに、ご講演いただきました。

当日は、地域の方をはじめ、企業、教職員３９名が聴講しました。講演では、自然災害だけでなく、原発やテロなど様々な危機に対し、命を守るための情報伝達や避難行動のあり方を解説していただきました。危機管理学の階層は自助から始まり、互助、共助、公助と続く。自治体は初動で機能しないため、地域との関係、地域での危機管理体制を構築する必要性などをお話しいただきました。会場からも様々な質問や意見が出され、大変、盛況な会となりました。

福田教授の講演

セミナーの様子

(12) 大災害時代を生きる女性のための防災対策　～ランチョンセミナー①～

日時：12 月 22 日（土）１２時３０分～１４時３０分
講師：食生活：川村　章子（野菜ソムリエ）
医療：佐藤　みどり（獣医師）
金融：小林　美香（金融機関勤務）
介護：西川　佳子（介護福祉士）
ボランティア：高橋　真里（香川大学）
経済：大西　里奈（香川大学）
福祉：金井　純子（徳島大学）
インフラ：磯打　千雅子（香川大学）
ファシリテーター：高橋　史

セミナーでは、女性の生活に欠かせない分野の専門家から、自身の仕事紹介と防災対策のアイデアについて講話をいただきました。

川村先生からは、備蓄品を用いて水を使わない非常食レシピ、佐藤先生からは、ペットの応急救護の仕組み、小林先生からは、社会をめぐる金融の仕組み、西川先生からは、養護施設における防災対策の取り組み、高橋先生からは、100 均グッズやもらいものでできる非常持ち出し品、大西先生からは、水害で浸水した場合の重要資料の応急処置、金井先生からは、徳島大学での取り組み、磯打からは、女性のライフステージを問わない防災グッズや対策について提案があり、活発な意見交換が行われました。

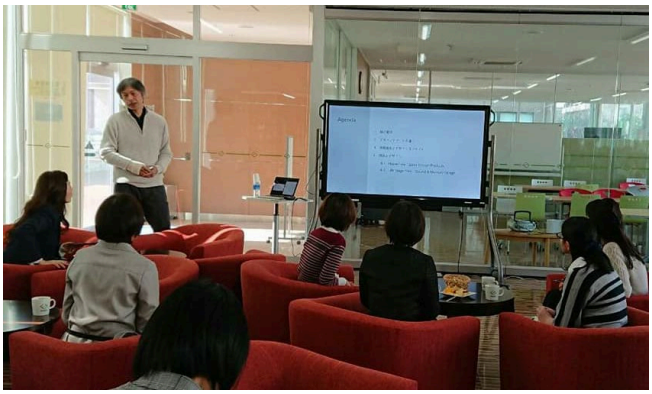
その後、セミナーではワークショップ形式で災害発生後の四国地域を想像することを予定していましたが、非常に重要なテーマであり本研究の要となるため、本セミナーではワークショップの意義や進行方法について確認し、講師それぞれが次回までに意見をまとめて、2 回目のセミナーで時間をかけて実施することとしました。

(13) 大災害時代を生きる女性のための防災対策　～ランチョンセミナー②～

日時：２月２日（土）１２時３０分～１５時３０分
内容：大災害時代を生きる女性のための防災対策～ランチョンセミナー～
講師：第１部：大場　晴夫（創造工学部 教授）
第２部：食生活：川村　章子（野菜ソムリエ）
医療：佐藤　みどり（獣医師）
金融：小林　美香（金融機関勤務）
介護：西川　佳子（介護福祉士）
ボランティア：高橋　真里（香川大学）
経済：大西　里奈（香川大学）
福祉：金井　純子（徳島大学）
インフラ：磯打　千雅子（香川大学）
ファシリテーター：高橋　史

概要：＜第１部＞

第１部では、「デザインのチカラ」として大場先生に講義をいただきました。デザインの分野では様々な目的に応じたデザイン様式があり、特に防災分野に活用できそうな様式として「アフォーダンスデザイン」や、「スペラティブデザイン」などがあげられました。当研究のメインテーマである「フェーズフリーからライフステージフリーへ」について、非常に示唆にとんだ内容でした。



＜第２部＞

第２部は講師と参加者を交えて、グループワーク形式でフューチャーセッションを行いました。テーマは、「南海地震で社会が変わる！　未来のビジネスアイデア」として、１.社会でどんな良い変化が生まれるか、２.こんなアクションが起こせる、について意見交換を行いました。

今後においては、ワークショップの結果をふまえて本研究の骨子を固め、次年度以降の研究方針、設定していきたいと考えています。

(14) 防災のための地域防災リーダーの条件について

人材教育部門では、防災のための人材教育と育成のためのプログラムの高度化と普及に向けて必要な取り組みについて検討することを目的として、他機関が実施する防災のための人材教育や育成を学ぶため、地域の防災力向上を目指した先進的な活動を続けている香川県丸亀町川西地区自主防災会の会長であり、かがわ自主ぼう連絡協議会会長でもある岩崎 正朔氏を招いて、防災への地域防災リーダーの条件について講演をしていただきました。2 月 18 日 香川大学創造工学部にて開催し、学生 64 人と一般の方 32 人の計 96 人が聴講しました。

丸亀市川西地区は、かつて土器川の氾濫で大きな被害を受けました。岩崎氏は、この川西地区で 1995 年（平成 7 年）にまちづくり活性化を目的に川西地区地域づくり推進協議会（川西コミュニティ）を設立されるとともに、川西地区自主防災会を設立されました。

岩崎氏は、これまでの防災活動への取り組みを通じて、次の 7 つ事項を防災活動への取り組みにおける重要なポイントとして挙げました。

（1）. 心くばり（気くばり）として、 1）聞く事を優先する（言い負かさない）、 2）徐々に自分の方向に持ってくる（時間をかける）、3）食事の面倒をみる、4）難しい事もすべて前向きに面倒をみる、 5）相手に不愉快なことが発生したと感じたら、その当日に回復の手立てを行う、ということ。

（2）. 実行力（実践力）として、 1）どんな状況になってもやり通す（人手不足、資金不足、連帯不足等）、2）出る杭は打たれる、足は引っ張られることがあったとしても、ここで絶対に負けたらダメであること、 3）目標、約束は必ず達成させる（信用を確保する）ということ。

（3）. 地域内「企業」「福祉団体」との連携として、 1）核となる企業等に対しては幅広くお世話する、例えばお客様トラブルの仲介、地域トラブルの仲介、そして定期的に訪問する（問題点のひろいだし）、2）企業と企業のパイプ役を買ってでる、3）営業支援も行う、4）企業イベントに動員も行うということ。

（4）. 地元の小・中学校を積極的に支援する。具体的には、 1）通学路のブロック塀の点検と危険表示、 2）通学路の防犯灯の設置（本年度約 40 灯）、 3）10 年以上防災教育の実践、 4）生徒の相応しくない行動を学校へ情報提供をする、ということ。

（5）. すべて前向きに対応する（率先垂範）として、 1）防災・税務署・社会福祉協議会・人権問題・自治会加入、神社・寺院・市長後援会・地域コミュニティ・単位自治会運営、市の連合会、その他含め頭の中で多くのことが回っていてもタフに解決する、 2）皆が嫌がる作業には自らが立ち向かう（河川のドブ掃除、鍋洗い、大量ゴミ放棄の収集など） 3）常に改革、改善を考えた取り組みを継続する、ということ。

（6）. 集金能力として、 1）防災の整備資金、 2）共同募金や日本赤十字社資募集（毎年右肩上がり）、 3）神社、自治会館の整備資金、ということ。

（7）. 内助の功として、特にご自身の奥様の関わり方に大変感謝しているということを指摘され、1）女性メンバーの取りまとめ、2）雰囲気づくり、3）炊出し全般の段取りを行う、ということ。

今回の講演の目的は、防災のための地域防災リーダーの条件について、丸亀市川西自主防災会での取り組みから学ぶということでしたが、岩崎氏が丸亀市川西地区自主防災会での防災活動で継続的に取り組むためにはどのような点を心がけているかについても多くを学ぶことが出来ました。

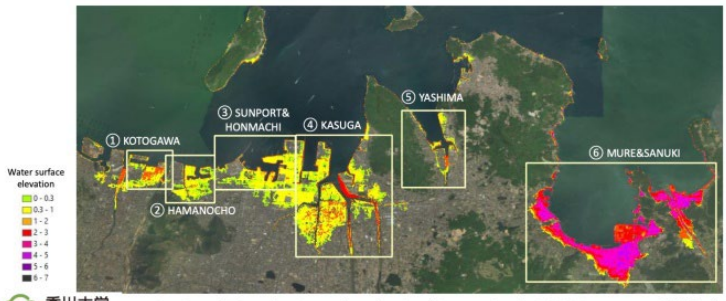
(15) レジリエンスサイエンスシンポジウム

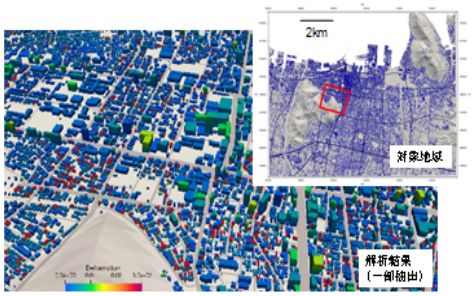
本シンポジウムでは、「減災科学（レジリエンス・サイエンス）研究部門」の研究発表も兼ねて、今後重要性が高まる減災科学の最先端の取組みについて講演を行いました。本シンポジウムでは、高松市に特化した地震動応答解析ならびに津波浸水シミュレーション結果を示しました。

2018年度

- 3次元地図データ(ZENRIN)から高松市内対象地域の建物約47万棟をモデル化して地震応答解析を実施
- 今後：建物種別に応じたより詳細な解析＋各地点の地盤増幅の計算

TAKAMATSU SUB-REGIONS FOR DYNAMIC INPUT ANALYSES (DSM DATA, COASTLINE, DIKE LINE, SUBSIDENCE AND MAXIMUM TIDE LEVEL (1.2m) INCLUDED)





香川大学 KAGAWA UNIVERSITY　Institute of Education, Research and regional Cooperation for Crisis Management Shikoku (IECMS)

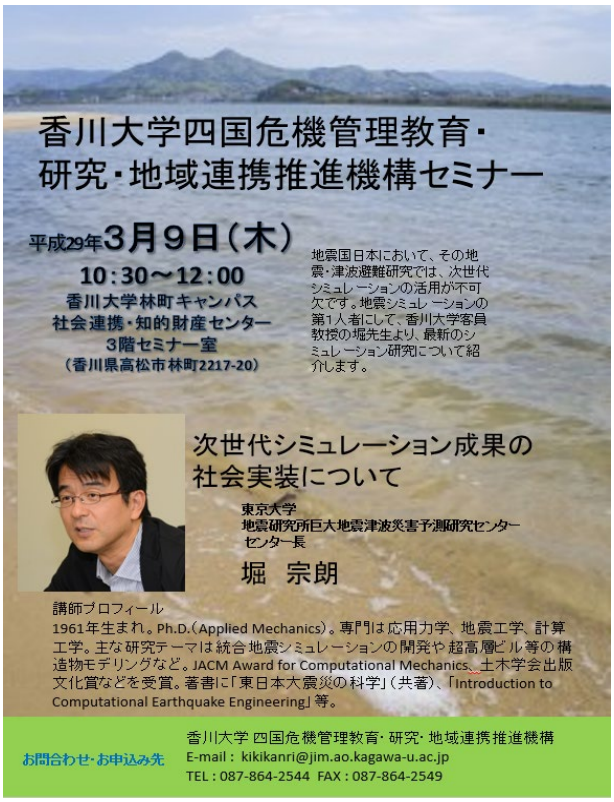
(16) 四国危機管理教育･研究･地域連携推進機構セミナー
～国家研究開発プロジェクト SIP での防災･減災の取組と成果～

四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構主催 セミナーとして、東京大学地震研究所巨大地震津波災害研究センター センター長 堀宗朗氏に『ＳＩＰでの防災・減災の取組と成果』を、ご講演いただきました。当日は、地域の方をはじめ、企業、教職員、学生５２名が聴講しました。

講演では、戦略的イノベーション創造プログラム（通称 SIP）での防災・減災の取組と成果の概要を、効果的な防災・減災を実現する先端技術を研究開発する重要性の観点からお話をいただきました。また、社会全体に広く役立つような、先端技術の必要性や世界展開の可能性についてもお話がありました。ご参加の方より多数の質問が寄せられました。

堀教授の講演

セミナーの様子



■ V.巻末資料(平成 28 年～30 年)

1. 研究員実績（社会貢献活動、講演・講義、研究・解説・論文）

社会貢献活動(平成28年度) ①

（氏名五十音順）

	氏　名	内　容
1	石塚正秀	リバーカウンセラー（土器川）国土交通省四国地方整備局
2	石塚正秀	総合評価地域小委員会　委員　国土交通省四国地方整備局
3	石塚正秀	わがかがわの川懇談会　委員　香川県土木部河川砂防課
4	石塚正秀	香川県環境保健研究センター研究テーマ外部評価委員会　委員　香川県環境森林部
5	石塚正秀	四国管内路面下空洞調査業務　委員　国土交通省四国地方整備局
6	石塚正秀	河川・渓流環境アドバイザー会議　アドバイザー　国土交通省四国整備局香川河川国道事務所
7	石塚正秀	河川環境保全モニター会議　アドバイザー　国土交通省四国整備局香川河川国道事務所
8	石塚正秀	土器川総合土砂管理技術会議 オブザーバ　国土交通省四国整備局香川河川国道事務所
9	石塚正秀	水文観測品質管理検討会　委員　国土交通省四国地方整備局
10	石塚正秀	土木学会四国支部インターネット活用委員会　委員
11	石塚正秀	土木学会四国支部地域貢献事業運営委員会　委員
12	石塚正秀	土木学会四国支部香川地区　幹事長
13	石塚正秀	土木学会四国支部　運営幹事
14	石塚正秀	土木学会四国支部　幹事
15	石塚正秀	土木学会水工学委員会　幹事
16	石塚正秀	土木学会水工学委員会水工学論文編集小委員会　委員
17	石塚正秀	水文水資源学会第14期研究調整委員会　委員
18	石塚正秀	土木学会論文集　論文編集小委員会（B部門）委員
19	石塚正秀	土木学会水工学委員会　環境水理部会 地球温暖化適用WG　メンバー
20	石塚正秀	水文水資源学会第15期研究調整委員会　委員
21	磯打千雅子	香川県防災会議委員
22	磯打千雅子	国土交通省四国地方整備局　四国建設業BCP等審査会　審査部会員
23	磯打千雅子	香川県　建設業ＢＣＰ審査会委員
24	磯打千雅子	内閣府地区防災計画有識者会議委員
25	磯打千雅子	(公社)地震予知総合研究振興会　地域地震防災基準に関する基本問題研究委員会委員
26	磯打千雅子	内閣官房　国土強靭化民間の取組事例集審査委員会　委員
27	磯打千雅子	災害情報学会企画委員
28	磯打千雅子	地区防災計画学会理事
29	岩原廣彦	高知県南海トラフ地震対策取組優良事所認定審査会委員長
30	岩原廣彦	香川県建設業ＢＣＰ審査会委員
31	岩原廣彦	土器川における水害に強いまちづくり検討会 会長代理(国土交通省四国地方整備局香川河川国道事務所)
32	岩原廣彦	(公社)土木学会安全問題研究員会　委員
33	岩原廣彦	(公社)土木学会四国支部幹事
34	岩原廣彦	(公社)日本材料学会四国支部常議員
35	岩原廣彦	(公社)土木学会四国支部「四国ブロック南海地震研究委員会」幹事
36	岩原廣彦	(公社)日本材料学会地盤改良部門委員会委員
37	岩原廣彦	(一財)四国産業･技術振興センター「四国地域イノベーション創出協議会」イノベーションコーディネーター
38	金田義行	国内基礎調査実施検討委員会委員　経済産業省資源エネルギー庁
39	金田義行	南海トラフ地震対策推進本部アドバイザー　高知県
40	金田義行	大陸棚審査助言会議構成員　内閣府（海洋政策本部）
41	金田義行	石油基地等地震・津波対策検討会アドバイザー　高知県
42	金田義行	三重県地震・津波対策アドバイザー
43	金田義行	課題④情報共有・利活用運営委員会委員　内閣府
44	金田義行	徳島県国土強靭化地域計画及び徳島県南海トラフ・活断層地震対策行動計画推進委員会委員　徳島県
45	金田義行	中央構造線・ 活断層地震に係る被害想定検討委員会委員　徳島県
46	金田義行	情報科学技術委員会委員　文科省
47	金田義行	SIP⑤運営委員会委員　内閣府
48	金田義行	″海域観測に関する検討ﾜｰｷﾝｸﾞｸﾞﾙｰﾌﾟ地震調査研究推進本部専門委員″ 文科省研究開発局 地震･防災研究課
49	金田義行	″Preparatory Commission for the Comprehensive Nuclear-Test-Ban Treaty Organization(CTBTO)のS&T運営委員就任(包括的核実験禁止条約機関準備委員会)″
50	金田義行	Tsunami Resilience and Mitigation in Developing Countries through Engineering(TEMPER)ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ
51	紀伊雅敦	交通工学研究会ミニシンポジウム、交通工学 研究会　講師
52	紀伊雅敦	高松市 MICE 振興戦略策定懇談会　委員
53	紀伊雅敦	走りやすく賑わう高松中央通りを目指す委員会　委員
54	紀伊雅敦	高松市都市計画審議会　委員
55	紀伊雅敦	香川県 本町踏切渋滞等対策検討委員会　委員長
56	紀伊雅敦	高松市入札監視委員会　委員
57	紀伊雅敦	高松広域都市圏都市交通マスタープランフォローアップ委員会　委員長
58	紀伊雅敦	綾川町都市計画審議会委員
59	紀伊雅敦	香川県大規模小売店舗立地審査会委員
60	紀伊雅敦	中讃地域道路整備効果検討業務アドバイザー

社会貢献活動(平成28年度) ②

（氏名五十音順）

	氏　名	内　容
61	紀伊雅敦	高松市生活道路整備審議会　委員長
62	紀伊雅敦	四国地方整備局事業評価監視委員会　委員
63	紀伊雅敦	香川県渋滞対策協議会　委員
64	紀伊雅敦	高松市総合都市交通計画推進協議会　委員
65	紀伊雅敦	高松市総合都市交通推進協議会委員
66	紀伊雅敦	四国地方整備局道路協力団体指定委員会　委員
67	黒田泰弘	日本災害医学会　評議員
68	肥塚肇雄	「自動運転の法的課題について」一般社団法人日本損害保険協会ニューリスクPTメンバー
69	肥塚肇雄	香川県自転車条例に係る協議研究会・会長代理
70	肥塚肇雄	公益財団法人交通事故紛争処理センター高松支部審査委員
71	肥塚肇雄	そんぽADRセンター近畿紛争解決委員
72	肥塚肇雄	香川県消費生活審議会会長
73	肥塚肇雄	日本保険学会評議員
74	肥塚肇雄	日本保険学会九州部会委員
75	肥塚肇雄	日本賠償科学会評議員
76	白木　渡	香川県都市計画審議会　会長
77	白木　渡	香川県防災会議　委員
78	白木　渡	香川県市町防災・減災対策連絡協議会　常任アドバイザー
79	白木　渡	香川県海岸保全基本計画変更検討委員会　委員長
80	白木　渡	香川県国土強靱化地域計画策定有識者会議　座長
81	白木　渡	高松市防災会議　委員
82	白木　渡	高松市国民保護協議会　委員
83	白木　渡	四国南海トラフ地震対策戦略会議　委員
84	白木　渡	四国の港湾における地震・津波対策検討会議　委員
85	白木　渡	防災教育推進委員会　委員長
86	白木　渡	土木学会　安全問題研究委員会　委員長
87	白木　渡	日本材料学会　信頼性工学部門委員会　委員長
88	末永慶寛	まんのう町　満濃池周辺地域整備計画検討委員会　委員長
89	末永慶寛	国土交通省四国地方整備局　入札監視委員会 委員長
90	末永慶寛	一般財団法人漁港漁場漁村総合研究所　中讃瀬戸内海域沖波推算検討委員会　委員
91	末永慶寛	日本水産工学会評議会，評議委員
92	末永慶寛	日本沿岸域学会，論文編集委員会委員
93	末永慶寛	Member of the Editorial Committee on RAMST, PACON International
94	田村啓敏	香川県オリーブオイル品質評価基準検討委員会　委員長
95	田村啓敏	かがわ機能性食品等開発研究会　会長
96	田村啓敏	Japanese Society of food factors (member、評議員)
97	田村啓敏	日本食品科学工学会関西支部評議員
98	寺尾　徹	香川県　環境影響評価技術審査会　委員
99	寺尾　徹	高松市　高松市上下水道事業経営懇談会　会長
100	寺尾　徹	やまじ風対策協議会における気象観測指導
101	野々村敦子	地理空間情報の活用に関する香川地域連携協議会委員
102	野々村敦子	災害に強いまちづくり検討会委員
103	野々村敦子	社会資本整備審議会専門委員
104	野々村敦子	日本リモートセンシング学会　学術委員
105	野々村敦子	地盤工学会四国支部幹事
106	野々村敦子	日本応用地質学会四国支部役員
107	長谷川修一	国土交通省四国地方整備局防災有識者
108	長谷川修一	国土交通省四国地方整備局総合評価委員会委員
109	長谷川修一	香川県国土審議会委員
110	長谷川修一	高松市社会教育委員会委員長
111	長谷川修一	（一社）日本応用地質学会代表理事・会長
112	長谷川修一	（一社）建設機械施工協会理事・四国支部長
113	平尾智広	国際協力機構　国際緊急援助隊医療チーム総合調整部会　委員
114	平尾智広	国際協力機構　国際緊急援助隊医療チーム　派遣登録
115	平尾智広	日本公衆衛生学会　健康危機管理モニタリンググループ　サブグループリーダー
116	平尾智広	日本公衆衛生学会　評議員
117	平尾智広	日本災害医学会　災害調査評価委員会　委員
118	平尾智広	香川県感染症発生動向調査委員会　委員
119	平尾智広	香川県自殺対策連絡協議会　委員
120	平尾智広	香川県公害審査委員候補者

社会貢献活動(平成28年度) ③

（氏名五十音順）

	氏　名	内　容
121	平尾智広	高松市健康危機管理連絡会　委員
122	平尾智広	香川産業保健総合支援センター　相談員
123	藤澤一仁	香川県公安委員会・県警本部安全運転管理者講師
124	藤澤一仁	土庄町業務継続計画策定アドバイザー
125	藤澤一仁	香川県自主防災活動アドバイザー
126	松尾裕治	一般社団法人　四国クリエイト協会　四国社会資本アーカイブス検討委員会（委員）
127	松尾裕治	土木学会四国支部　平成２８年度四国ブロック南海地震研究委員（委員）
128	松尾裕治	特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構『2011.3.11 東日本大震災からの復旧･復興状況調査』に参加
129	村山　聡	Association for East Asian Environmental History、Advisory Board Member (Former President)
130	村山　聡	社会経済史学会、理事
131	村山　聡	日本ドイツ学会、理事
132	村山　聡	社会経済史学会中国四国部会、理事
133	安井敏晃	日本保険学会　編集委員
134	安井敏晃	日本保険学会　評議員
135	安井敏晃	日本保険学会　関西部会幹事
136	山中　稔	高松市　総合評価委員会　委員
137	山中　稔	香川県　産業廃棄物審議会　委員
138	山中　稔	香川県　豊島廃棄物等管理委員会　技術アドバイザー
139	山中　稔	国土交通省四国地方整備局　総合評価地域小委員会　委員
140	山中　稔	高知県教育委員会　高知城山体健全性評価委員会　委員
141	山中　稔	香川県　環境影響評価技術審査会　委員
142	山中　稔	高松市教育委員会　史跡高松城跡石垣整備会議　オブザーバー
143	山中　稔	高松市　産業廃棄物審議会　委員
144	山中　稔	香川県　多面的機能支払事業推進委員会　委員
145	山中　稔	国土交通省四国地方整備局　リバーカウンセラー
146	山中　稔	香川県　ため池耐震化整備検討委員会　委員
147	山中　稔	丸亀市教育委員会　史跡丸亀城跡調査整備委員会　委員
148	山中　稔	松山市　廃棄物処理施設審議会　委員
149	山中　稔	地盤工学会　地盤工学ジャーナル編集委員会・委員
150	山中　稔	生態工学会・理事
151	山中　稔	農業農村工学会　材料施工研究部会・幹事
152	山中　稔	地盤工学会四国支部　評議員
153	山中　稔	土木学会調査研究部門　地盤工学委員会　委員
154	山中　稔	地盤工学会　災害連絡会議　地方連絡委員
155	山中　稔	京都大学防災研究所自然災害研究協議会　四国地区部会長
156	山中　稔	土木学会　地盤工学委員会火山工学小委員会　委員
157	山中　稔	日本材料学会　地盤改良部門委員会　委員
158	山中　稔	日本応用地質学会　廃棄物処分における地質環境調査・解決方法に関する研究小委員会　委員
159	山中　稔	地盤工学会四国支部　地盤地震防災研究委員会　幹事
160	山中　稔	土木学会　地震工学委員会　石積擁壁の耐震補強対策に関する研究小委員会　委員
161	山中　稔	地盤工学会　地盤災害リスクマネージメントと気候変動適応の融合に関する研究委員会　委員
162	山中　稔	地盤工学会四国支部　香川県地盤工学研究会　ため池堤体土の土質物性に関する勉強会　主査
163	山中　稔	地盤工学会四国支部　香川県地盤工学研究会　副会長

社会貢献活動(平成29年度) ①

（氏名五十音順）

	氏　名	内　容
1	石塚正秀	土木学会水工学委員会　河川部会　委員
2	石塚正秀	土木学会水工学委員会　水工学論文編集小委員会　委員
3	磯打千雅子	瀬戸内海放送番組審議会　委員
4	磯打千雅子	香川県防災会議委員
5	磯打千雅子	国土交通省四国地方整備局　四国建設業BCP等審査会　審査部会員
6	磯打千雅子	香川県　建設業ＢＣＰ審査会委員
7	磯打千雅子	香川県　中小企業等BCP優良取組み事業所審査委員
8	金田義行	南海トラフ地震対策推進本部アドバイザー／高知県
9	金田義行	石油基地等地震・津波対策検討会アドバイザー／高知県
10	金田義行	三重県地震・津波対策アドバイザー ／三重県
11	金田義行	課題④情報共有・利活用運営委員会委員／内閣府
12	金田義行	徳島県国土強靱化地域計画及び徳島県南海トラフ・活断層地震対策行動計画推進委員会委員／徳島県
13	金田義行	中央構造線・ 活断層地震に係る被害想定検討委員会委員 ／徳島県
14	金田義行	海域観測に関する検討ワーキンググループ　地震調査研究推進本部専門委員／文科省　研究開発局　地震・防災研究課
15	金田義行	物理探査学会　代議員 ／公益社団法人 物理探査学会
16	金田義行	（社）全国地質調査業協会連合会理事／（社）全国地質調査業協会連合会
17	金田義行	防災教育チャレンジプラン実行委員／内閣府
18	金田義行	情報科学技術委員会委員／文科省
19	金田義行	SIP⑤運営委員会委員／内閣府
20	金田義行	Preparatory Commission for the Comprehensive Nuclear-Test-Ban Treaty Organization (CTBTO) のS & T運営委員就任 (包括的核実験禁止条約機関準備委員会)(CTBTOの科学／技術シンポの研究推進委員会委員)
21	金田義行	Invitation to an Advisory Board　プロジェクト名：“Tsunami Resilience and Mitigation in Developing Countries through Engineering (TEMPER)”.
22	金田義行	Fix03の推進委員会委員
23	金田義行	ION(International Ocean Network)メンバー
24	紀伊雅敦	三豊市都市計画審議会委員　委員長
25	紀伊雅敦	四国地方整備局事業評価監視委員会　委員
26	紀伊雅敦	丸亀市都市計画審議会　委員長
27	紀伊雅敦	高松市入札監視委員会　委員
28	紀伊雅敦	善通寺市立地適正計画等策定検討委員会　委員長
29	紀伊雅敦	四国の港湾における地震・津波対策検討会議 、国土交通省　四国地方整備局　港湾空港部　委員
30	紀伊雅敦	香川県渋滞対策協議会　委員
31	紀伊雅敦	高松市都市計画審議会　委員
32	紀伊雅敦	高松市生活道路整備審議会　委員長
33	紀伊雅敦	高松広域都市園都市交通マスタープランフォロー アップ委員会　委員長
34	紀伊雅敦	香川県大規模小売店舗立地審査会委員
35	黒田泰弘	日本災害医学会　評議員
36	肥塚肇雄	消費生活審議会会長
37	肥塚肇雄	香川県弁護士会災害対策委員
38	肥塚肇雄	香川県弁護士会消費者問題対策委員
39	肥塚肇雄	日本保険学会九州部会長
40	白木　渡	香川県都市計画審議会　会長
41	白木　渡	香川県防災会議　委員
42	白木　渡	香川県教育委員会　学校防災アドバイザー派遣事業推進委員会　委員長
43	白木　渡	香川県市町防災・減災対策連絡協議会　常任アドバイザー
44	白木　渡	香川県海岸保全基本計画変更検討委員会　委員長
45	白木　渡	香川県国土強靱化地域計画策定有識者会議　座長
46	白木　渡	高松市防災会議　委員
47	白木　渡	高松市国民保護協議会　委員
48	白木　渡	四国南海トラフ地震対策戦略会議　委員
49	白木　渡	四国の港湾における地震・津波対策検討会議　委員
50	白木　渡	香川地域継続検討協議会　会長
51	白木　渡	香川地域継続首長会議　会長
52	白木　渡	防災教育推進委員会　委員長
53	白木　渡	土木学会　安全問題研究委員会　委員長
54	白木　渡	日本材料学会　信頼性工学部門委員会　委員長
55	末永慶寛	まんのう町　満濃池周辺地域整備計画検討委員会　委員長
56	末永慶寛	国土交通省四国地方整備局　入札監視委員会 委員長
57	末永慶寛	香川県－香川大学かがわ里海大学講師
58	末永慶寛	日本水産工学会評議会，評議委員
59	末永慶寛	日本沿岸域学会，論文編集委員会査読委員
60	末永慶寛	Member of the Editorial Committee on RAMST, PACON International

社会貢献活動(平成29年度) ②

（氏名五十音順）

	氏　名	内　容
61	末永慶寛	生態工学会，論文編集員会査読委員
62	寺尾　徹	香川県　環境影響評価技術審査会　委員
63	寺尾　徹	高松市　高松市上下水道事業経営懇談会　会長
64	寺尾　徹	やまじ風対策協議会における気象観測指導
65	萩池昌信	香川県バスケットボール協会　医科学委員会　委員長
66	萩池昌信	単孔式内視鏡手術研究会　世話人
67	萩池昌信	中国四国消化管内視鏡勉強会　幹事
68	萩池昌信	日本集団災害医学会　社会医学専門医検討委員会　委員
69	平尾智広	国際協力機構　国際緊急援助隊医療チーム総合調整部会　委員
70	平尾智広	国際協力機構　国際緊急援助隊医療チーム　派遣登録
71	平尾智広	日本公衆衛生学会　健康危機管理モニタリンググループ　サブグループリーダー
72	平尾智広	日本公衆衛生学会　評議員
73	平尾智広	日本災害医学会　災害調査評価委員会　委員
74	平尾智広	香川県感染症発生動向調査委員会　委員
75	平尾智広	香川県自殺対策連絡協議会　委員
76	平尾智広	香川県公害審査委員候補者
77	平尾智広	高松市健康危機管理連絡会　委員
78	平尾智広	香川産業保健総合支援センター　相談員
79	藤澤一仁	香川県自主防災活動アドバイザー
80	藤澤一仁	香川県自主防災組織広域化促進事業補助金審査会委員
81	藤澤一仁	香川県建設業ＢＣＰ審査会委員
82	野々村敦子	災害に強いまちづくり検討会　委員
83	野々村敦子	日本リモートセンシング学会理事
84	山中　稔	高松市　総合評価委員会　委員
85	山中　稔	香川県　産業廃棄物審議会　委員
86	山中　稔	香川県　豊島廃棄物等管理委員会　技術アドバイザー
87	山中　稔	国土交通省四国地方整備局　総合評価地域小委員会　委員
88	山中　稔	香川県　環境影響評価技術審査会　委員
89	山中　稔	高松市教育委員会　史跡高松城跡石垣整備会議　オブザーバー
90	山中　稔	高松市　産業廃棄物審議会　委員
91	山中　稔	香川県　多面的機能支払事業推進委員会　委員
92	山中　稔	国土交通省四国地方整備局　リバーカウンセラー
93	山中　稔	香川県　ため池耐震化整備検討委員会　委員
94	山中　稔	丸亀市教育委員会　史跡丸亀城跡調査整備委員会　委員
95	山中　稔	松山市　廃棄物処理施設審議会　委員
96	山中　稔	高松市石清尾山古墳群調査整備会議　委員
97	山中　稔	生態工学会 理事
98	山中　稔	農業農村工学会　材料施工研究部会・幹事
99	山中　稔	地盤工学会四国支部　評議員
100	山中　稔	土木学会調査研究部門　地盤工学委員会　委員
101	山中　稔	地盤工学会　災害連絡会議　地方連絡委員
102	山中　稔	京都大学防災研究所自然災害研究協議会　四国地区部会長
103	山中　稔	地盤工学会四国支部　香川県地盤工学研究会　副会長
104	山中　稔	地盤工学会 理事　基準部担当
105	山中　稔	土木学会　地盤工学委員会火山工学小委員会　委員
106	山中　稔	日本材料学会　地盤改良部門委員会　委員
107	山中　稔	日本応用地質学会廃棄物処分における地質環境調査・解決方法に関する研究小委員会　委員
108	山中　稔	地盤工学会四国支部　地盤地震防災研究委員会　幹事
109	山中　稔	土木学会　地震工学委員会　石積擁壁の耐震補強対策に関する研究小委員会　委員

社会貢献活動(平成30年度) ①

（氏名五十音順）

	氏　名	内　容
1	磯打千雅子	地区防災計画学会　理事
2	磯打千雅子	日本災害情報学会　企画委員
3	梶谷義雄	土木学会・土木計画学研究委員会・減災計画研究小委員会委員
4	梶谷義雄	土木学会・土木計画学研究委員会・学術小委員会委員
5	梶谷義雄	科研費特別研究促進費「平成30年7月豪雨による災害の総合研究」研究協力者
6	梶谷義雄	科研費特別研究促進費「平成30年台風21号による強風・高潮災害の総合研究」研究協力者
7	金田義行	南海トラフ地震対策推進本部アドバイザー
8	金田義行	石油基地等地震・津波対策検討会アドバイザー（高知県）
9	金田義行	三重県地震・津波対策アドバイザー
10	金田義行	SIP防災分野 課題4情報共有・利活用運営委員会委員　（内閣府）
11	金田義行	SIP防災分野 課題5「災害情報収集システム及びリアルタイム被害推定システムの研究開発」運営委員会委員（内閣府）
12	金田義行	徳島県国土強靱化地域計画及び徳島県南海トラフ・活断層地震対策行動計画推進委員会委員
13	金田義行	徳島県南海トラフ沿いの異常な現象への防災対応方針策定検討委員会委員長
14	金田義行	海域観測に関する検討ワーキンググループ　地震調査研究推進本部専門委員
15	金田義行	防災教育チャレンジプラン実行委員会委員
16	金田義行	徳島県復興指針検討委員会委員
17	金田義行	内閣官房総合海洋政策本部 大陸棚審査助言会議委員
18	金田義行	（社）全国地質調査業協会連合会理事
19	金田義行	公益社団法人物理探査学会 代議員
20	紀伊雅敦	三豊市都市計画審議会委員　委員長
21	紀伊雅敦	四国地方整備局事業評価監視委員会　委員
22	紀伊雅敦	丸亀市都市計画審議会　委員長
23	紀伊雅敦	高松市入札監視委員会　委員
24	紀伊雅敦	善通寺市立地適正計画等策定検討委員会　委員長
25	紀伊雅敦	四国の港湾における地震・津波対策検討会議　委員
26	紀伊雅敦	香川県渋滞対策協議会　委員
27	紀伊雅敦	高松市都市計画審議会　委員
28	紀伊雅敦	高松市生活道路整備審議会　委員長
29	紀伊雅敦	高松広域都市園都市交通マスタープランフォローアップ委員会　委員長
30	紀伊雅敦	香川県大規模小売店舗立地審査会委員
31	紀伊雅敦	宇多津町四国水族館開業に伴う交通対策委員会　委員
32	紀伊雅敦	高松市総合都市交通計画推進協議会　委員
33	紀伊雅敦	高松市都市計画道路網検討委員
34	紀伊雅敦	高松市総合都市交通計画推進協議会　委員
35	紀伊雅敦	高松市中心市街地活性化協議会委員
36	紀伊雅敦	第二次観音寺市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定委員会　委員
37	黒田泰弘	日本災害医学会　評議員
38	末永慶寛	まんのう町　満濃池周辺地域整備計画検討委員会　委員長
39	末永慶寛	国土交通省四国地方整備局　入札監視委員会 委員長
40	末永慶寛	香川県－香川大学かがわ里海大学講師（現在に至る）
41	末永慶寛	香川県－香川県環境審議会　委員
42	末永慶寛	日本水産工学会評議会　評議委員
43	末永慶寛	日本沿岸域学会，論文編集委員会　査読委員
44	末永慶寛	Member of the Editorial Committee on RAMST, PACON International
45	末永慶寛	生態工学会，論文編集委員会　査読委員
46	末永慶寛	土木学会，全国大会実行委員会　委員
47	末永慶寛	土木学会四国支部，四国支部長賞表彰委員会　副委員長
48	高橋真里	香川県防災士会事務局長
49	高橋真里	日本赤十字社香川県支部安全奉仕団理事
50	高橋真里	日本防災士会女性防災推進局委員
51	高橋真里	チーム防災ジャパンお世話係（中四国ブロック）
52	玉置哲也	高松市多肥コミュニティプラン策定委員会（委員）
53	寺尾　徹	香川県　環境影響評価技術審査会　委員
54	寺尾　徹	やまじ風対策協議会における気象観測指導
55	萩池昌信	日本集団災害医学会　社会医学専門医委員会　委員
56	萩池昌信	中国四国内視鏡外科研究会　世話人
57	萩池昌信	単孔式内視鏡外科研究会　世話人
58	萩池昌信	中国四国消化管内視鏡勉強会　世話人
59	萩池昌信	香川県バスケットボール協会　医科学委員会　委員
60	平尾智広	国際協力機構　国際緊急援助隊医療チーム総合調整部会　アドバイザー

社会貢献活動(平成30年度) ②

（氏名五十音順）

	氏　名	内　容
61	平尾智広	高松市健康危機管理連絡会　委員
62	平尾智広	日本公衆衛生学会　評議員
63	平尾智広	日本公衆衛生学会　健康危機管理モニタリンググループ　サブグループリーダー
64	平尾智広	日本災害医学会　災害調査委員
65	平尾智広	国際協力機構　国際緊急援助隊医療チーム　派遣登録
66	平尾智広	香川県感染症発生動向調査委員会　　委員
67	平尾智広	香川県自殺対策連絡協議会　委員
68	平尾智広	香川県公害審査委員候補者
69	平尾智広	香川産業保健総合支援センター　相談員
70	藤澤一仁	香川県自主防災活動アドバイザー
71	藤澤一仁	香川県自主防災組織広域化促進事業補助金審査会委員
72	藤澤一仁	香川県建設業ＢＣＰ審査会委員
73	松本秀應	土木学会平成31年度全国大会実行委員会　委員
74	宮本慎宏	史跡高松城跡建造物整備会議委員
75	宮本慎宏	内子町歴史的建築物保存活用検討委員会委員
76	宮本慎宏	粟島海洋記念館保存活用計画策定委員会委員
77	宮本慎宏	旧松井家住宅保存活用検討委員会委員
78	宮本慎宏	内子座保存活用検討委員会委員
79	宮本慎宏	日本建築学会歴史的大規模木造宿泊施設の耐震安全性能小委員会委員
80	宮本慎宏	日本建築学会伝統的木造建築物設計例整備小委員会委員
81	村山　聡	日本人口学会香川大会運営委員長
82	山中　稔	高松市　総合評価委員会　委員
83	山中　稔	香川県　産業廃棄物審議会　委員
84	山中　稔	香川県　豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会　技術アドバイザー
85	山中　稔	香川県　環境影響評価技術審査会　委員
86	山中　稔	高松市教育委員会　史跡高松城跡整備会議　委員
87	山中　稔	高松市　産業廃棄物審議会　委員
88	山中　稔	香川県　多面的機能支払事業推進委員会　委員
89	山中　稔	国土交通省四国地方整備局　リバーカウンセラー
90	山中　稔	香川県　ため池耐震化整備検討委員会　委員
91	山中　稔	丸亀市教育委員会　史跡丸亀城跡調査整備委員会　委員
92	山中　稔	松山市　廃棄物処理施設審議会　委員
93	山中　稔	高松市石清尾山古墳群調査整備会議　委員
94	山中　稔	国土交通省四国地方整備局　入札監視委員会　委員
95	山中　稔	生態工学会 理事
96	山中　稔	農業農村工学会　材料施工研究部会・幹事
97	山中　稔	地盤工学会四国支部　評議員
98	山中　稔	土木学会調査研究部門　地盤工学委員会　委員
99	山中　稔	地盤工学会　災害連絡会議　地方連絡委員
100	山中　稔	京都大学防災研究所自然災害研究協議会　四国地区部会長
101	山中　稔	地盤工学会四国支部　香川県地盤工学研究会　副会長
102	山中　稔	地盤工学会 理事　調査・研究部担当
103	山中　稔	地盤工学会第53回地盤工学研究発表会実行委員会　幹事長
104	山中　稔	地盤工学会四国支部　副支部長
105	山中　稔	土木学会　地盤工学委員会火山工学小委員会　委員
106	山中　稔	日本材料学会　地盤改良部門委員会　委員
107	山中　稔	日本応用地質学会廃棄物処分における地質環境調査・解決方法に関する研究小委員会　委員
108	山中　稔	地盤工学会四国支部　地盤地震防災研究委員会　副委員長
109	山中　稔	土木学会　地震工学委員会　石積擁壁の耐震補強対策に関する研究小委員会　委員

講演・講義(平成28年度) ①　　（氏名五十音順）

	氏　名	内　　容	依　頼　先　　等
1	磯打千雅子	平成28年度香川県防災士会総会および勉強会講師	香川県防災士会
2	磯打千雅子 高橋真里	坂出青年会議所 防災研修事業講師	坂出青年会議所
3	磯打千雅子 高橋真里	香川県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会研修会講師	香川県教育委員会事務局保健体育課
4	磯打千雅子	瀬戸内放送 社内講演会講師	(株)瀬戸内海放送
5	磯打千雅子	香川県防災士会 勉強会講師	香川県防災士会
6	磯打千雅子	JCC-DRR「ジェンダー・多様性と災害」小委員会主催勉強会講師	防災･減災日本CSOネットワーク共同事務局
7	磯打千雅子	徳島市住吉・城東公民館講演会講師	徳島市住吉・城東公民館
8	磯打千雅子	学校防災アドバイザー派遣事業：高松市立紫雲中学校みねやま分校	香川県教育委員会事務局
9	磯打千雅子	坂出自主防災組織ﾘｰﾀﾞｰ研修講師	坂出市職員課危機監理室
10	磯打千雅子	社会福祉主事講習講師	社会教育主事講習運営委員 （委託先：岡山大学教育学部）
11	磯打千雅子	中小・小規模事業者の災害時の事業継続計画（BCP）策定に向けた講習会講師	まんのう町商工会
12	磯打千雅子	学校防災アドバイザー派遣事業：丸亀市立城北幼稚園	香川県教育委員会事務局
13	磯打千雅子	香川県防災士会会員勉強会の講師	香川県防災士会
14	磯打千雅子	香西地区「キッズぼうさいまちカフェ」	香西校区自主防災会
15	磯打千雅子	穴吹医療大学校：災害看護論講師	学校法人穴吹学園 穴吹医療大学校
16	磯打千雅子	香川県防災士会 第4回地区防災計画勉強会	香川県防災士会
17	磯打千雅子	内閣府 平成28年度「地区防災計画の全国展開に関する調査委業務」「地区防災計画フォーラム」講師	一般社団法人関西情報センター
18	磯打千雅子	香川県一般高圧ガス保安協会　講演会講師	香川県一般高圧ガス保安協会
19	磯打千雅子 高橋真里	かがわプラザ２００４ 異業種交流グループ会員向け講演会講師	かがわプラザ２００４
20	岩原廣彦	東讃保健師ブロック研修会講師	東讃保健師ブロック研修会 会長
21	岩原廣彦	平成28年度総会記念講演	ＩＨＩ四国汎友会
22	岩原廣彦	香川県一般高圧ガス保安協会記念講演	香川県一般高圧ガス保安協会
23	岩原廣彦	高松市自主防災組織連絡協議会基調講演	高松市自主防災組織連絡協議会
24	岩原廣彦	多度津ボランティア協議会総会記念講演	多度津ボランティア協議会
25	岩原廣彦	香川県公立小中学校事務職員夏期研修会講師	香川県公立小中学校事務職員協会
26	岩原廣彦	さぬき市BCP幹部職員研修会	さぬき市危機管理室
27	岩原廣彦	平成28年度地域保健福祉従業者会議基調講演	香川県健康福祉課
28	岩原廣彦	防災講演会講師	（公社）日本技術士会四国本部
29	岩原廣彦	民生委員・児童委員全体研修会講師	三好市環境福祉部
30	金田義行	IECMSカフェ	香川大学
31	金田義行	減災エンスカフェ地球カフェ	香川大学
32	金田義行	減災エンスカフェ	高松市 西村ジョイ株式会社成合店駐車場
33	金田義行	ぼうさいまちカフェ 減災科学の勧め	高松市 IKODE瓦町（瓦町ＦＬＡＧ８階）
34	金田義行	ぼうさいまちカフェ ″地球を知る　日本を知る　災害を学ぶ　減災科学を実践、未来を見据える″	高松市　香西コミュニティセンター
35	金田義行	ぼうさいまちカフェ ″地球を知る　日本を知る　災害を学ぶ　減災科学を実践、未来を見据える″	坂出市　気まぐれcafeGosh
36	金田義行	ぼうさいまちカフェ 意見交換・講和	宮崎市避難タワー
37	金田義行	香川県庁カフェ－減災エンスカフェ－	香川県庁
38	金田義行	観音寺第一高等学校　サイエンスアゴラ 地球科学の勧め　～　先端巨大科学で探る地球　～	観音寺第一高等学校
39	金田義行 磯打千雅子	ぼうさいまちカフェ	モンベル高松
40	金田義行	高知県地震防災研究会･2016年度技術発表会講師	高知県地震防災研究会
41	金田義行	全国地質調査業協会連合会「市民ｾﾐﾅｰ」講師	一般社団法人全国地質調査業協会連合会
42	金田義行	(株)コンポン研究所からの「2015年度研究成果報告会」特別講演講師	(株)コンポン研究所
43	金田義行	中国地質調査業協会岡山県支部　H28年度技術講演会講師	中国地質調査業協会岡山県支部
44	金田義行	関西電力「防災意識の高揚に関する講演講師	関西電力㈱
45	金田義行	「宮崎のわけもんが防災に向き合う１日～これからの私たちにできること～」への講師及びパネルディスカッション	(一社)みやざき公共・協働研究会
46	金田義行	平成28年度ねんりんふれあい文化祭記念講演	かがわ健康福祉機構
47	金田義行	H28年度よんでんグループ土木建築部門技術研究発表会講師	四国電力㈱土木建築部
48	金田義行	平成28年度自主防災組織リーダー研修会における講師	香川県危機管理総局
49	金田義行	東京都墨田区中学校PTA会員への講演講師	東京都墨田区中学校PTA連合会
50	金田義行	香川県赤十字安全奉仕団研修会講師	香川県赤十字安全奉仕団 日本赤十字社香川県支部
51	金田義行	減災科学シンポジウムin徳島　パネルディスカッション	徳島文理大学
52	金田義行	高校生対象「減災（サイ）エンスアゴラ」	香川県立観音寺中央高等学校
53	金田義行	穴吹医療大学校：災害看護論講師	学校法人穴吹学園 穴吹医療大学校
54	金田義行	第22回日本脳神経外科救急学会 教育講演講師	第22回日本脳神経外科救急学会
55	金田義行	ＤＯＮＥＴ研究会シンポジウム講師及びパネラー	三重県・三重大学みえ防災･減災センター
56	金田義行	防災講演会講師	徳島県立南部防災館
57	金田義行	香川県教育センター　減災エンス講演会	香川県教育センター
58	金田義行	県民防災週間シンポジウム2017の講師	香川県危機管理総局危機管理課
59	金田義行 磯打千雅子	香西校区自主防災会「防災力向上セミナー」講師	香西地区コミュニティ協議会他
60	黒田泰弘	災害総論	

講演・講義(平成28年度) ②　　（氏名五十音順）

	氏　名	内　　容	依　頼　先　　等
61	黒田泰弘	高松空港訓練	
62	肥塚肇雄	高松北高校模擬授業「自動運転と法」	高松北高校
63	白木　渡	国土交通省国土交通大学校 危機管理・安全保障研修講師	国土交通省国土交通大学校
64	白木　渡	第38回全国国立大学生涯学習系センター研究協議会香川大会 フォーラムのパネリスト	全国国立大学生涯学習系センター研究協議会
65	白木　渡	牟礼地区地域防災訓練におけるの講師	牟礼地区自主防災組織連合会
66	白木　渡	第40回建設技術に関する講習会講師	整備局：全日本建設技術協会四国地区連合会
67	白木　渡	平成28年度大規模津波防災総合訓練への参加協力	四国地方整備局
68	白木　渡	平成28年度庵治地区防災訓練に伴う講師	庵治地区自主防災連合会
69	白木　渡	平成28年度高松市震災対策総合訓練への参加協力(機能別消防団)(高橋)	高松市防災会議（高松市）
70	白木　渡	平成28年度 香川県商工３団体青年部連携会議全体会講師	香川県商工会青年部連合会
71	白木　渡	穴吹医療大学校：災害看護論講師	学校法人穴吹学園 穴吹医療大学校
72	白木　渡	平成28年度四国地区行政管理・評価セミナーに係る講師	四国行政評価支局
73	白木　渡	平成28年度 宇多津商工会工業部会全体会に係る講師	宇多津商工会
74	白木　渡	シンポジウム『地震・津波から助かった命を地域全体の力を結集してつなぐために』講師及びパネラー	災害医療対策中央東支部会議 高知県中央東福祉保健所
75	白木　渡	一般社団法人香川県腎臓病協議会　第9回県民フォーラム	一般社団法人香川県腎臓病協議会
76	白木　渡 磯打千雅子	香川県商工労働部経営支援課 BCP作成支援研修講師	香川県商工労働部経営支援課
77	白木　渡 磯打千雅子	香川県商工労働部経営支援課 BCP作成支援研修講師	香川県商工労働部経営支援課
78	白木　渡 磯打千雅子	丸亀市城北防犯パトロール隊、町歩き（安全マップづくり）研修会への協力	丸亀市 明倫の里城北
79	白木　渡 磯打千雅子	第二回「土器川西海岸地域防災研修会」への協力	土器川西海岸地域防災協議会
80	白木　渡 磯打千雅子	城北防犯パトロール隊、町歩き（安全マップづくり）研修会への協力	明倫の里城北
81	白木　渡 藤澤　一仁	高松市防災啓発展『ぼうさいまちカフェ』講師等	高松市
82	白木　渡	高松市消防職員協議会 勉強会講師	高松市消防職員協議会
83	末永慶寛	かがわ里海大学里海学びの講座講師	香川大学
84	末永慶寛	香川大学サテライトセミナー講師	香川県三豊市サテライトオフィス
85	末永慶寛	Eckerd大学一行のSatoumi見学ツアー現地視察講師	香川大学、高松市地先海域
86	末永慶寛	JAICA村落飲料水管理Ｂアフリカ１３ヶ国一行研修会講師	香川大学、府中湖
87	末永慶寛	インドネシア政府派遣メンバー藻場見学ツアー現地視察講師	高松市地先海域、日本興業(株)
88	末永慶寛	九州環境管理協会オープンセミナー講師	福岡県九州環境管理協会
89	末永慶寛	イノベーションジャパン2016　知の創造～新たな結合による価値の創造出展	東京都江東区有明ビックサイト
90	高橋真里	むれコミュニティセンター防災講座の実施計画会議への助言者	むれコミュニティ協議会
91	高橋真里	「瀬戸内国際芸術祭2016」緊急時のAEDについてと熱中症対策の講師	（株）Coaマネジメント
92	高橋真里	牟礼町大町コミュニティセンター防災講座　第2回	むれコミュニティ協議会
93	高橋真里	「瀬戸内国際芸術祭2016」緊急時のAEDについてと熱中症対策の講師	（株）Coaマネジメント
94	高橋真里	綾川町一貫性教育研究会保健部会の研修講師	綾川町一貫性教育研究会保健部会
95	高橋真里	高松市二番丁地区防災訓練 事前ロープワーク研修会	二番丁地区コミュニティ協議会
96	高橋真里	平成28年度長尾地区地域福祉推進員研修会講師	さぬき市社会福祉協議会
97	高橋真里	平成28年度「徳島県自殺予防講演会」講師	徳島県保健福祉部
98	高橋真里	高齢者いきいき案内所人材バンク交流会での講師	香川県社会福祉協議会
99	高橋真里	西南学院大学人間科学部心理学科 PFA研修講師	西南学院大学人間科学部心理学科
100	高橋真里	倉敷市美和町内会防災訓練講師	倉敷東学域美和町内会
101	高橋真里	高松市二番丁地区防災訓練：(機能別消防団)	二番丁地区コミュニティ協議会
102	高橋真里	総合的な学習の時間における講師	高松市立屋島西小学校
103	高橋真里	平成28年度第１回防災研修	（株）さぬきみらい
104	高橋真里	防災訓練における指導者	高松市立多肥幼稚園
105	高橋真里	文部科学省委託事業「南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト」対話イベント［高知減災エンス塾」の進行補助者	国立研究開発法人海洋研究開発機構
106	高橋真里	穴吹医療大学校：災害看護論講師	学校法人穴吹学園 穴吹医療大学校
107	高橋真里	穴吹医療大学校：災害看護論講師	学校法人穴吹学園 穴吹医療大学校
108	高橋真里	穴吹医療大学校：災害看護論講師	学校法人穴吹学園 穴吹医療大学校
109	高橋真里	平成29年度高松市消防出初式（機能別消防団）	高松市消防団
110	高橋真里	平成28年度日本赤十字社防災教育事業パイロット事業の講師	日本赤十字社香川県支部
111	高橋真里	文部科学省委託事業「南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト」対話イベント［高知減災エンス塾」の進行補助者	国立研究開発法人海洋研究開発機構
112	高橋真里	防災講演講師	高松市立はらこども園子育て支援センター「にこにこキッズセンター」
113	高橋真里	平成28年度さぬきっ子夏の福祉体験教室事業講師	さぬき市社会福祉協議会
114	田村啓敏	市民へのオリーブオイルの安全性をPR	2016年オープンキャンパス、収穫祭
115	田村啓敏	香気分析の客観的な評価法の紹介。臭気分析、異臭検出法の紹介を毎年東京にて講演。年２回	
116	萩池昌信	第25回中国四国消化管内視鏡手術勉強会 特別講演座長	ジョンソン･エンド･ジョンソン(株)メディカルカンパニー　エチコン事業部
117	萩池昌信	東讃地区健康危機管理連絡協議会ワーキングの講師	東讃保健福祉事務所
118	長谷川修一	公開講座「讃岐ジオサイト探訪(6)」	香川大学生涯学習教育研究センター
119	長谷川修一	公開講座「讃岐ジオサイガイド養成講座」	香川大学生涯学習教育研究センター
120	長谷川修一	サテライトセミナー「三豊市の地球活動遺産を世界ジオパークに」	香川大学

講演・講義(平成28年度) ③　　（氏名五十音順）

	氏　名	内　　容	依　頼　先　等
121	長谷川修一	防災講演会、講師	高松市ヴィラ檀ノ浦地区
122	長谷川修一	研修会、講師	高松市屋島地区自主防災会
123	長谷川修一	出前講座「地域の災害特性を知ろう」	香川県立観音寺第一高等学校
124	長谷川修一	かがわ長寿大学講座、講師	公益財団法人かがわ健康福祉機構
125	長谷川修一	防災リーダー養成講座、講師	高松市東植田地区
126	長谷川修一	高松市地域防災リーダー育成セミナー講師、講師	高松市
127	長谷川修一	産業総合研究所四国センター一般公開市民講座、講師	産業総合研究所四国センター
128	長谷川修一	高松市防災啓発展「ぼうさいまちカフェ」、講師	高松市
129	長谷川修一	高松市防災ネットワーク会員研修会、講師	高松市防災ネットワーク
130	長谷川修一	「ふるさと講座」、講師	高松市屋島コミュニティセンター
131	長谷川修一	「さぬきアカデミー」、講師	香川県観光協会
132	長谷川修一	平成28年度SSLアンカー工･Q&Sフレーム工技術講習会講師､｢地震と降雨による斜面災害の予測｣	
133	長谷川修一	防災エキスパート四国支部特別講演講師､｢四国の地形・地質と活断層、斜面災害について｣	
134	平尾智広	香川県医師会JMAT講習会　講師・ファシリテーター	香川県医師会
135	平尾智広	メンタルヘルスアップリーダー講習	主催者
136	平尾智広	過労死を考える香川のつどい	主催者
137	藤澤一仁	平成28年度水防本部設置・運営訓練に参加・講評	高松市水防本部
138	藤澤一仁	安全運転管理者講習の講師	香川県警察本部
139	藤澤一仁	安全運転管理者講習の講師	香川県警察本部
140	松尾裕治	健康危機管理論（DIG演習）講師	香川大学医学部看護学科(高松市)
141	松尾裕治	社内研修　講師	建設マネジマント四国(高知市)
142	松尾裕治	NPO法人ウイ・ライク・リバー徳島　講師	NPO法人ウイ・ライク・リバー徳島(徳島市)
143	松尾裕治	まるごと吉野川魅力発見「土砂災害・水害」特別講演会　講演	(徳島市)
144	松尾裕治	防災講演会　講演	徳島県富岡東高等学校・中学校(阿南市)
145	松尾裕治	徳島県地域防災推進員養成講座　講師	(徳島市)
146	松尾裕治	高校生を対象とした災害時ボランティアリーダー養成講習会　講師	(高松市)
147	松尾裕治	かがわっ子わくわくキャンプ教室２０１６　講師	東かがわ市　防災研修会
148	松尾裕治	28年度香川県小学校教育研究会養護部会夏季研修会　講師	香川県小学校教育研究会養護部会（坂出市）
149	松尾裕治	平成28年度徳島県職員講習会　講師	徳島県（徳島市）
150	松尾裕治	小豆島災害から教訓を忘れず、将来の土砂災害に備えるシンポジウム　講演	(小豆島町)
151	松尾裕治	防災講座　講師	徳島県シルバー大学校大学院（徳島市）
152	松尾裕治	防災講演会　講演	林地区コミュニティ協議会(高松市)
153	松尾裕治	危機管理研修　講師	国土交通省四国地方整備局(高松市)
154	松尾裕治	防災講演会　講演	高松市立檀紙小学校（高松市）
155	松尾裕治	徳島県シルバー大学講義　講師	徳島県シルバー大学（徳島市）
156	松尾裕治	「砂丘・盛土の保全に関する勉強会　講演	国土交通省国土技術政策総合研究所(東京都内)
157	松尾裕治	河川技術伝承会　講師	国土交通省四国地方整備局（高松市）
158	松尾裕治	防災学習会　講師	公益社団法人 香川県聴覚障害者協会(高松市)
159	村山　聡	大学出前授業、講師（テーマ「持続可能な開発のために地域情報をいかに集めるか」）	香川大学附属坂出中学校
160	山中　稔	面接授業「土と地盤災害」	放送大学香川学習センター

講演・講義(平成29年度) ①　　(氏名五十音順)

	氏　名	内　　容	依　頼　先　等
1	石塚正秀	かがわ里海大学、講師、「川と海のつながり」、No.29G01　里海学びの講座	かがわ里海大学協議会 (香川大学研究交流棟6階第一講義室)
2	磯打千雅子	香川県一般高圧ガス保安協会　講演会講師	香川県一般高圧ガス保安協会
3	磯打千雅子	香川県防災士会会員勉強会の講師	香川県防災士会
4	磯打千雅子	平成29年度香川県連合青年会活動家研修会 快適20時間セミナー	香川県連合青年会
5	磯打千雅子	平成29年度香川県連合青年会活動家研修会 快適20時間セミナー	香川県連合青年会
6	磯打千雅子	香川県診療放射線技士会「夏季研修会」の講師	（一社）香川県診療放射線技士会
7	磯打千雅子	香川県防災士会 第6回地区防災計画勉強会	香川県防災士会
8	磯打千雅子	岐阜県瓦葺組合青年部　中部ブロック会議　講師	岐阜県瓦葺組合青年部
9	磯打千雅子	岡山県測量設計業協会「BCP講習会」講師	岡山県測量設計業協会
10	磯打千雅子	平成29年度学校防災ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ派遣事業：観音寺市立観音寺小学校	香川県教育委員会事務局
11	磯打千雅子	丸亀市城北小学校生防災マップ作成指導	丸亀市城北　明倫の里城北
12	磯打千雅子	香川県防災士会 第７回地区防災計画勉強会	香川県防災士会
13	磯打千雅子	「2017くらしき男女共同参画フォーラム」ワークショップ講師	倉敷市
14	磯打千雅子	穴吹医療大学校：災害看護論講師	学校法人穴吹学園 穴吹医療大学校
15	磯打千雅子	そうじゃ防災士の会「防災セミナー」	丸亀市城北　明倫の里城北
16	磯打千雅子	倉敷市帯高地区自主防災会　講演会講師	倉敷市帯高地区自主防災会
17	磯打千雅子	倉敷市男女共同参画推進センター主催 講演会講師	倉敷市男女共同参画推進センター
18	磯打千雅子	香川県防災士会 第８回地区防災計画勉強会	香川県防災士会
19	磯打千雅子	平成29年度尼崎防災ｾﾐﾅｰ講師	一般財団法人大阪市コミュニティ協会
20	磯打千雅子	善通寺市自主防災会 地区防災計画講演会講師	善通寺市自主防災会連絡協議会
21	磯打千雅子	倉敷市防災士会講演会講師	倉敷市防災士会
22	磯打千雅子	岐阜県駄知町内会連合会「駄知町防災講演会（仮）」講師	岐阜県駄知町内会連合会
23	磯打千雅子 高橋真里	障害のある学生の特性に配慮した防災訓練への協力	学生支援センター
24	磯打千雅子 高橋真里	穴吹医療大学校：災害看護論講師	学校法人穴吹学園 穴吹医療大学校
25	金田義行	第125回サイエンスカフェ レジリエンス・サイエンス考-未来社会の形成のために-	冨山房インターナショナル (ｻﾛﾝ･ﾄﾞ･FUZANBO Folio(神田神保町))
26	金田義行	かがわ防災フェスタ2017　かねだ先生のぼうさい教室	香川県(香川県消防学校・香川県防災センター)
27	金田義行	高松市防災啓発展　ぼうさいまちカフェ　「南海トラフ地震発生の仕組みについて考える」	高松市（瓦町フラッグ）
28	金田義行	香川県防災士会勉強会	香川県防災士会
29	金田義行	河野防災減災特殊工業（株）設立記念学術講演会	河野防災減災特殊工業（株）
30	金田義行	平成２９年度香川県青少年赤十字指導者研修会講師	日本赤十字社香川県支部
31	金田義行	県民防災週間シンポジウム2017の講師	香川県危機管理総局危機管理課
32	金田義行	高松市新塩屋町地区住民対象 防災講演会講師	高松市新塩屋町地区コミュニティ協議会
33	金田義行	ひょうご震災記念２１世紀研究機構からの「ひょうご講座2017」の講師	ひょうご震災記念２１世紀研究機構
34	金田義行	「防災・減災研究とその実践に関するシンポジウム」講師	宮崎大学大学院農学工学総合研究科
35	金田義行	平成29年度坂出港事業継続連絡協議会の講師	四国地整 高松港湾･空港整備事務所　坂出市建設経済部みなと課
36	金田義行	減災科学シンポジウムin徳島　パネルディスカッション	徳島文理大学
37	金田義行	事前復興シンポジウム「巨大災害を迎え撃つ地域イノベーションの創出」講師	徳島県危機管理部危機管理政策課
38	金田義行	高松市民防災講演会　講師	高松市総務局危機管理課
39	金田義行	宮崎大学「防災ワークショップ」講師	宮崎大学大学院農学工学総合研究科
40	金田義行	和歌山大学「地震津波シンポジウム」講演講師	和歌山大学災害科学教育研究センター
41	金田義行	かがわ生涯学習の会 例会講師	かがわ生涯学習の会
42	金田義行 磯打千雅子	香西地区「防災力向上セミナー」講師	香西地区コミュニティ協議会
43	白木　渡	岡山大学環境管理センター公開講演講師	岡山大学環境管理センター
44	白木　渡	地域警察官対象の専科教養	四国管区警察局総務監察・広域調整部
45	白木　渡	「防災士研修講座」講師	防災士研修センター
46	白木　渡	牟礼南小学校避難所運営マニュアル作成検討会　アドバイザー	香川県危機管理課 香川県教育委員会保健体育課
47	白木　渡	高瀬高等学校避難所運営マニュアル作成検討会　アドバイザー	香川県危機管理課 香川県教育委員会保健体育課
48	白木　渡	香川県立高松西高等学校　出前講座	香川県立高松西高等学校
49	白木　渡	放送大学　講義	放送大学学園
50	白木　渡	放送大学　講義	放送大学学園
51	白木　渡	高松市老人クラブ連合会の講師	高松市老人クラブ連合会
52	白木　渡	一般社団法人香川県腎臓病協議会　第9回県民フォーラム	一般社団法人香川県腎臓病協議会
53	白木　渡	（株）香川県農協電子計算センター「四国地区農協電算センター交流会」講師	（株）香川県農協電子計算センター
54	白木　渡	平成29年度政策評価に関する統一研修における講演講師	総務省四国行政評価支局
55	白木　渡	「地域防災力向上シンポジウムin香川2017」の出演	香川県危機管理課
56	白木　渡	西日本高速道路(株) 連携協力協定に基づく講義協力	西日本高速道路(株)四国支社
57	白木　渡 磯打千雅子	丸亀市城東西部自治会「防災研修会」	丸亀市城東西部自治会
58	白木　渡 磯打千雅子	四国地方整備局「平成29年度危機管理研修」講師	四国地方整備局
59	白木　渡	穴吹医療大学校：災害看護論講師	学校法人穴吹学園 穴吹医療大学校
60	白木　渡	高松市防災啓発展『ぼうさいまちカフェ』講師	高松市

講演・講義(平成29年度) ②　　（氏名五十音順）

	氏　名	内　　容	依　頼　先　等
61	高橋真里	「防災ママカフェ」講師	高松市立はらこども園子育て支援センター「にこにこｷｯｽﾞｾﾝﾀｰ」
62	高橋真里	一ノ谷防災キャンプ講演会講師	一ノ谷防災キャンプ実行委員会（観音寺市）
63	高橋真里	平成29年度 長尾地区地域福祉推進員研修会講師	長尾地区いきいきネット連絡会 さぬき市社会福祉協議会長尾支所
64	高橋真里	平成29年度 大川地区地域福祉推進員研修会講師(防災サポートチーム)	大川地区いきいきネット連絡会 さぬき市社会福祉協議会長尾支所
65	高橋真里	平成29年度さぬきっ子夏の福祉体験教室事業：付添(防災サポートチーム)	さぬき市社会福祉協議会
66	高橋真里	平成29年度学校防災ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ派遣事業	香川県教育委員会事務局
67	高橋真里	飯山北　保護者対象防災講演会	飯山北地区コミュニティ推進協議会丸亀市立飯山北小学校
68	高橋真里	平成29年度 台風18号の大雨被害に伴う災害ボランティアコーディネート支援	香川県社会福祉協議会
69	高橋真里	飯山こども園児対象の防災教育講師	飯山北地区コミュニティ推進協議会　飯山北自主防災会
70	高橋真里	はらこども園「にこにこキッズセンター」講師	はらこども園「にこにこキッズセンター」
71	高橋真里	飯山　ドルカス乳児保育所乳幼児対象の防災教育講師	飯山北地区コミュニティ推進協議会　飯山北自主防災会
72	高橋真里	平成29年度災害ボランティアセンター運営研修講師	高松災害ボランティア連絡会
73	高橋真里	穴吹医療大学校：災害看護論講師	学校法人穴吹学園 穴吹医療大学校
74	高橋真里	穴吹医療大学校：災害看護論講師	学校法人穴吹学園 穴吹医療大学校
75	高橋真里	高齢者いきいき案内所人材バンク交流会　講師（機能別消防団）	香川県社会福祉協議会
76	高橋真里	四国防災・危機管理プログラムPFA講師	香川大学大学院医学系研究科
77	高橋真里	はらこども園「にこにこキッズセンター」講師	はらこども園「にこにこキッズセンター」
78	高橋真里	平成29年度香川県赤十字奉仕団基礎研修会講師	日本赤十字社香川県支部
79	高橋真里	平成29年度「防災とボランティアのつどい」打合せ	香川県社会福祉協議会
80	高橋真里	宇多津町社会福祉協議会 防災研修会講師	宇多津町社会福祉協議会
81	高橋真里	平成29年度大川地区地域福祉推進員研修会講義演習(防災ｻﾎﾟｰﾄﾁｰﾑ)	大川地区いきいきネット連絡会
82	黒田泰弘	防災コンピテンシー	
83	末永慶寛	Eckerd大学一行のSatoumi見学ツアー現地視察講師	高香川大学、松市地先海域
84	末永慶寛	里海学びの講座講師，藻場造成と里海づくり	かがわ里海大学
85	末永慶寛	「2018長門サイエンスフェスティバル」研究展示	（山口県長門市）
86	寺尾　徹	気候変動と極端現象―人と災害の間合いを考える	高松市防災まちカフェ
87	萩池昌信	ＤＭＡＴ隊員養成研修（神戸）　講師	
88	萩池昌信	徳島文理大学　講義（災害とチーム医療）　講師	徳島文理大学
89	萩池昌信	平成２９年度政府大規模地震時医療活動訓練　指定プレイヤー	
90	萩池昌信	東讃地区健康危機管理連絡協議会ワーキングの講師	東讃保健福祉事務所
91	萩池昌信	平成29年度総合防災訓練における広域医療搬送実動訓練 コントローラー	香川県健康福祉部医務国保課
92	萩池昌信	災害派遣医療チーム（DMAT）研修への講師	独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
93	萩池昌信	香川県災害医療コーディネーター研修への講師	香川県健康福祉部医務国保課
94	萩池昌信	平成２９年度大規模災害時避難所運営訓練におけるファシリテーター	東讃保健福祉事務所
95	萩池昌信	穴吹医療大学校：災害看護論講師	学校法人穴吹学園 穴吹医療大学校
96	萩池昌信	東讃地区健康危機管理連絡協議会ワーキングの講師	東讃保健福祉事務所
97	萩池昌信	三豊・観音寺市市民災害フォーラム講師	三豊・観音寺市医師会
98	平尾智広	香川県医師会JMAT講習会　ファシリテーター	香川県医師会
99	平尾智広	メンタルヘルスアップリーダー講習	主催者
100	平尾智広	認定看護管理者教育課程のセカンドレベル研修ヘルスケアサービス論「災害の備え」	香川県看護協会
101	平尾智広	過労死等防止・健康起因事故防止対策セミナー	陸上貨物運送事業労働災害防止協会香川県支部
102	平尾智広	香川健康づくり推進セミナー「人にやさしい働き方」	香川産業保健総合支援センター
103	藤澤一仁	安全運転管理者講習の講師：サンメッセ香川	香川県警察本部
104	藤澤一仁	平成29年度水防本部設置・運営訓練に参加	高松市水防本部
105	藤澤一仁	安全運転管理者講習の講師：さぬき市役所	香川県警察本部
106	藤澤一仁	安全運転管理者講習の講師：高松国分寺ホール	香川県警察本部
107	藤澤一仁	高松市防災啓発展『防災士ネットワーク会員研修会』講師	高松市
108	藤澤一仁	安全運転管理者講習の講師：さぬき市大川公民館	香川県警察本部
109	藤澤一仁	安全運転管理者講習の講師：三豊市文化会館	香川県警察本部
110	藤澤一仁	平成29年度学校防災ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ派遣事業：東かがわ市立引田幼稚園	香川県教育委員会事務局
111	藤澤一仁	安全運転管理者講習の講師：四国交通共済会館安全運転研修センター	香川県警察本部
112	藤澤一仁	香川県自主防災活動ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ派遣事業(高松市南消防署管内自主防災組織ﾘｰﾀﾞｰ研修会)	香川県危機管理課
113	松本秀應	避難所運営についてのワークショップ	災害時ボランティア養成講習会（香川県）
114	松本秀應	技術系職員向けに防災講演会	西条市
115	松本秀應	防災講演会	生涯学習コーディネーター養成講座(高松市)
116	松本秀應	「現場見学会＆講演会」にて、防災に関する講演を実施	ダム工学会（中国・四国地区）
117	松本秀應	平成29年度学校防災ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ派遣事業：三木町立平井幼稚園	香川県教育委員会事務局
118	松本秀應	平成29年度学校防災ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ派遣事業：三木町立三木中学校	香川県教育委員会事務局

講演・講義(平成30年度) ①　　(氏名五十音順)

	氏　名	内　　容	依　頼　先　　等
1	石塚正秀	かがわ里海大学､講師､「川と海のつながり」､里海学びの講座	かがわ里海大学協議会 (香川大学研究交流棟6階第1講義室)
2	磯打千雅子	H29年度技術士二次試験合格者記念講演会	日本技術士会中国本部
3	磯打千雅子	高松商工会議所 建設部会	高松商工会議所
4	磯打千雅子	2018年度安全衛生推進大会	戸田建設(株)四国支店
5	磯打千雅子	駄知町防災講演会	岐阜県駄知町内会連合会
6	磯打千雅子	2018年度講演会	高知県地震防災研究会
7	磯打千雅子	H30年度社会教育主事講習にかかる講師	岡山大学
8	磯打千雅子	四国支社社員研修会	㈱ティーネットジャパン
9	磯打千雅子	香西防災士予備校	香西コミュニティセンター
10	磯打千雅子	南海トラフ地震建築復旧技術に係る講習会	高知県
11	磯打千雅子	東かがわ市商工会工業振興委員会講習会	東かがわ市商工会工業振興委員会
12	磯打千雅子	さぬき市商工会女性部セミナー	さぬき市商工会女性部
13	磯打千雅子	総合防災訓練講演会	倉敷市帯江亀山地区
14	磯打千雅子	防災推進国民大会2018（ぼうさいこくたい2018）におけるセッション	
15	磯打千雅子	日本防災士会・岡山県支部支部研修会	日本防災士会・岡山県支部支部
16	磯打千雅子	2018年度防災講演会	みどり野地区自主防災防犯連合会
17	磯打千雅子	倉敷市帯高地区自主防災会	倉敷市帯高地区自主防災会
18	磯打千雅子	防災訓練	新見市防災士会
19	磯打千雅子	会員研修	あいおいニッセイ同和損害保険(株)岡山支店プロ会
20	磯打千雅子	第8回東かがわ市民講座	東かがわ市
21	磯打千雅子	愛知大学中部地方産業研究所　研究会	愛知大学中部地方産業研究所
22	磯打千雅子	平成30年度学校防災ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ派遣事業：坂出市立府中幼稚園	香川県教育委員会事務局
23	磯打千雅子	平成30年度学校防災ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ派遣事業：観音寺総合高等学校	香川県教育委員会事務局
24	磯打千雅子	くらしき防災士の会研修会講師	くらしき防災士の会
25	磯打千雅子	岡山県瓦工事協同組合青年部総会での講演会講師	岡山県瓦工事協同組合青年部
26	Ceren Ozer Sozdinle	留学生対象に講演"Tsunami Hazard Assessment & Mitigation Strategies: Examples from Europe and Japan".	香川大学インターナショナルオフィス
27	Ceren Ozer Sozdinle	防災ワークショップで講演	香川大学創造工学部
28	Ceren Ozer Sozdinle	英語文化交流クラスにて講演　"A SHORT GLANCE TO THE HISTORY AND CULTURE OF TURKEY"	香川大学
29	Ceren Ozer Sozdinler	高松市防災啓発展『ぼうさいまちカフェ』講師	高松市
30	梶谷義雄	出前講座「日常生活でできるリスクマネジメント」	香川県坂出工業学校
31	梶谷義雄	林小学校探検クラブへのクロスロード（防災ゲーム）の紹介	
32	金田義行	徳島県立南部防災館　防災講演会講師：海陽町立宍喰中学校	徳島県立南部防災館
33	金田義行	徳島県立南部防災館　防災講演会講師：海陽町立海陽中学校	徳島県立南部防災館
34	金田義行	三豊市防災士会での講演講師	三豊市防災士会
35	金田義行	第15回さぬきメディカルラリーでの講演講師	さぬきメディカルラリー実行委員会
36	金田義行	海陽町ワークショップのアドバイザー・講評	徳島県
37	金田義行	鳴門市ワークショップのアドバイザー・講評	徳島県
38	金田義行	高松市市民防災フォーラム講演　講師	高松市
39	金田義行	宮崎経済同友会　講演会講師	宮崎経済同友会
40	金田義行	集中講義（学部生以外の受講者含む）講師	お茶の水女子大学
41	金田義行	第四回高校生高知減災エンス塾　講師	海洋研究開発機構
42	金田義行	防災エキスパート四国支部大会講師	防災エキスパート四国支部
43	金田義行	「第14回むつ海洋・環境科学シンポジウム」講師	公益財団法人 日本分析センター
44	金田義行	かがわ生涯学習の会 例会講師	かがわ生涯学習の会
45	金田義行	高校生を対象にしたサイエンスカフェ	香川県立高松高等学校
46	金田義行	「減災科学シンポジウムin徳島文理大学」での講師	徳島文理大学
47	金田義行	第14回東三河防災フェア　講師	東海リスクマネジメント研究会
48	金田義行	日本赤十字社香川県支部 課長級職員合同研修講師	日本赤十字社香川県支部
49	金田義行	第73回四国矯正研究発表会に係る特別講演講師	法務省高松矯正管区
50	金田義行	小豆圏域福祉関係法人連携災害セミナー講師	土庄町、小豆島町社会福祉協議会
51	金田義行	一般財団法人鹿島平和研究所 外交研究会　講師	一般財団法人鹿島平和研究所
52	金田義行	講演　講師	熊野古道センター
53	金田義行	平成31年電気記念日行事の記念講演の講師	電気記念日行事関西実行委員会
54	金田義行	香川県立観音寺第一高等学校　SSHサイエンスレクチャー 講師	香川県立観音寺第一高等学校
55	金田義行	Techno-Ocean2018 でのチュートリアル	Techno-Ocean2018事務局
56	金田義行	第6回香川県高校生科学研究発表会講師	香川県教育委員会事務局高校教育課
57	金田義行	高松市防災啓発展『ぼうさいまちカフェ』講師	高松市
58	金田義行 磯打千雅子	高知県地震防災研究会・2108年度講演会	高知県地震防災研究会
59	金田義行 磯打千雅子	香西コミュニティセンター「香西防災士予備校」講師	香西コミュニティセンター
60	佐々木睦子	ぼうさいまちカフェ 講師	高松市

講演・講義(平成30年度) ②　　（氏名五十音順）

	氏　名	内　　容	依　頼　先　　等
61	白木　渡	中讃地区校長会での講演講師	丸亀市立学校長会
62	白木　渡	岡山大学講師	岡山大学大学院環境生命科学研究科
63	白木　渡	ぼうさいまちカフェ 講師	高松市危機管理課
64	白木　渡	平成30年度二番丁地区防災訓練への参加	二番丁コミュニティ協議会
65	白木　渡	香川県情報サービス産業協議会の講演会講師	香川県情報サービス産業協議会
66	白木　渡	放送大学　講義	放送大学学園
67	白木　渡	放送大学　講義	放送大学学園
68	白木　渡	第23回関西大学先端科学技術シンポジウム講師	関西大学先端科学技術推進機構
69	白木　渡	香川県農業協同組合青壮年部第42回相互研修会　講師	香川県農業協同組合青壮年部
70	末永慶寛	公開講座「かがわ里海大学」講師	（香川県高松市）
71	末永慶寛	「2018長門サイエンスフェスティバル」研究展示	（山口県長門市）
72	高橋真里	にこにこキッズセンター「防災ママカフェ5」講師	高松市はら子ども園子育て支援センター
73	高橋真里	高齢者いきいき案内所人材バンク講習会「防災の基礎知識」「非常食クッキング」講師	香川県社会福祉協議会
74	高橋真里	防災ママカフェ、子育て世代の女性対象～ママが学ぶ防災キホンのキ　講師	高松市大町コミュニティ
75	高橋真里	2018年度第1回高松災害ボランティア研修会　講師	香川県社会福祉協議会
76	高橋真里	防災講習会　講師	高松市松島地区コミュニティ協議会
77	高橋真里	高松市二番町地区コミュニティ防災研修会　講師	高松市二番町地区コミュニティ
78	高橋真里	防災体力・健康体力アップ講座　講師	四国学院大学
79	高橋真里	子育て世代における防災対策、災害時の対応について　講師	三木町
80	高橋真里	SOS！災害時に自分ができること！　講師	宇多津町社会福祉協議会
81	高橋真里	にこにこキッズセンター「防災ママカフェ6」講師	高松市はら子ども園子育て支援センター
82	高橋真里	防災ボランティア基礎研修会　講師	日本赤十字社香川県支部
83	高橋真里	防災士の役割・防災活動における女性の役割　講師	高松市花園地区自主防災連合会
84	高橋真里	災害看護論の講義「避難所運営ゲームHUG」「災害ボランティア」講師	穴吹医療大学校看護科
85	高橋真里	はらこども園「にこにこキッズセンター」講師	はらこども園「にこにこキッズセンター」
86	高橋真里	南川自主防災会土砂災害防災訓練	南川自主防災会
87	高橋真里	高齢者いきいき案内所人材バンク交流会講師	香川県社会福祉協議会
88	高橋真里	平成30年度学校防災ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ派遣事業：観音寺市立豊浜小学校・幼稚園	香川県教育委員会事務局
89	高橋真里	川添コミセン：防災学習	川添地区コミュニティ協議会
90	高橋真里	ゆめ＆キッズ夏まつりにおける防災啓発（機能別消防分団員）	弦打校区コミュニティ協議会
91	高橋真里	災害救援ボランティアセンターアドバイザー協力	香川県社会福祉協議会 西予市社会福祉協議会（愛媛県）
92	高橋真里	災害救援ボランティアセンターアドバイザー協力	香川県社会福祉協議会 西予市社会福祉協議会（愛媛県）
93	高橋真里	災害救援ボランティアセンターアドバイザー協力	香川県社会福祉協議会 西予市社会福祉協議会（愛媛県）
94	高橋真里	平成30年度学校防災ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ派遣事業	香川県教育委員会事務局
95	高橋真里	はらこども園「にこにこキッズセンター」講師	はらこども園「にこにこキッズセンター」
96	高橋真里	H30年度コミュニティセンター防災講座講師	牟礼コニュニティ協議会
97	高橋真里	日新地区自主防災訓練（機能別消防分団員）	日新地区コミュニティ協議会
98	高橋真里	平成30年度 第1回高松災害ボランティア研修会講師	香川県社会福祉協議会
99	高橋真里	松島地区 防災講習会講師	松島地区コミュニティ協議会
100	高橋真里	二番丁コミュニティ協議会 防災講演会講師	二番丁コミュニティ協議会
101	高橋真里	松島地区 防災訓練への講師(機能別消防分団員)	松島地区コミュニティ協議会
102	高橋真里	防災体力・健康体力アップ講座 防災基礎講座講師（11/26､12/10　2回）	四国学院大学
103	高橋真里	三木町　子育て講座講師	三木町まんでがん子ども課
104	高橋真里	防災体力・健康体力アップ講座 防災基礎講座講師（11/26､12/10　2回）	四国学院大学
105	高橋真里	ふれあいいきいきサロン プログラムメニュー研修会講師	宇多津町社会福祉協議会
106	高橋真里	イト-ピア高松夜間防災訓練 講師	イト-ピア高松自治会
107	高橋真里	はらこども園「にこにこキッズセンター」講師	はらこども園「にこにこキッズセンター」
108	高橋真里	平成30年度赤十字防災ボランティア基礎研修会講師	日本赤十字社香川県支部
109	高橋真里	花園地区自主防災連合会 研修会講師	花園地区自主防災連合会
110	高橋真里	多度津町地域おもいやりネットワーク会議の講師	社会福祉法人多度津社会福祉協議会
111	高橋真里	二番丁地区 避難所運営訓練（機能別消防分団員）	二番丁地区ｺﾐｭﾆﾃｨ協議会
112	高橋真里	被災の訓練を活かした防災・減災体制を確立する事業に」係る講師	公益社団法人日本青年会議所国土強靭化委員会
113	高橋真里	平成30年7月豪雨に係る災害ボランティアセンター運営支援に関するヒアリング調査への協力	特定非営利活動法人さくらネット
114	高橋真里	戸田建設　ボランティア講習会　講師	戸田建設((株))四国支店
115	高橋真里	神道青年四国地区協議会「第２回役員研修会」講師	神道青年四国地区協議会
116	玉置哲也	「探究学習発表会」，コメンテーター	岡山県立和気閑谷高等学校
117	萩池昌信	特別講義　災害時の医療	香川高等専門学校　高松キャンパス
118	萩池昌信	災害時の医療　講義	香川県難病研修（高松医療センター）
119	萩池昌信	東讃地区健康危機管理連絡協議会の助言	東讃保健福祉事務所
120	萩池昌信	平成30年度５回関東ブロックDMAT技能維持研修　講師	厚生労働省DMAT事務局

講演・講義(平成30年度) ③　　（氏名五十音順）

	氏　名	内　　容	依　頼　先　　等
121	平尾智広	メンタルヘルスアップリーダー講習	主催者
122	平尾智広	産業医研修会「大規模災害と産業保健」	香川県医師会
123	平尾智広	県立学校衛生管理者・衛生推進者研修会	香川県教育委員会
124	平尾智広	三豊サテライトセミナー　「災害と健康管理」	豊中町農村環境改善センター
125	藤澤一仁	安全運転管理者等講習「危機管理対応力」	（坂出市）
126	藤澤一仁	安全運転管理者等講習「危機管理対応力」	（小豆島町）
127	藤澤一仁	安全運転管理者等講習「危機管理対応力」	（善通寺市）
128	藤澤一仁	災害図上訓練DIG	高松市防災士ﾈｯﾄﾜｰｸ会員研修会
129	藤澤一仁	出前講義「災害危機管理」	（高松市）
130	藤澤一仁	安全運転管理者講習の講師：四国交通共済会館安全運転研修センター	香川県警察本部
131	藤澤一仁	平成30年度 災害対策本部設置・運営訓練での講評	高松市災害対策本部
132	藤澤一仁	安全運転管理者講習の講師：小豆島ふるさと村交流センター	香川県警察本部
133	藤澤一仁	安全運転管理者講習の講師：善通寺市民会館	香川県警察本部
134	藤澤一仁	平成30年度学校防災ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ派遣事業：三木町立ししの子幼稚園	香川県教育委員会事務局
135	藤澤一仁	平成30年度学校防災ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ派遣事業：高松市立下笠居小学校	香川県教育委員会事務局
136	藤澤一仁	平成30年度学校防災ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ派遣事業：三豊市立比地小学校	香川県教育委員会事務局
137	藤澤一仁	高松市防災啓発展『防災士ネットワーク会員研修会』講師	高松市
138	藤澤一仁	平成30年度学校防災ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ派遣事業：三木町立ししの子幼稚園	香川県教育委員会事務局
139	藤澤一仁	安全運転管理者講習の講師：小豆島ふるさと村交流センター	香川県警察本部
140	藤澤一仁	三光病院　出前講座	医療法人社団 光風会　三光病院
141	藤澤一仁	平成30年度学校防災ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ派遣事業：三豊市立比地小学校	香川県教育委員会事務局
142	松本秀應	「2018年度コミュニティセンター防災講座」にて家庭で出来る防災などについてﾜｰｸｼｮｯﾌﾟを実施	むれコミュニティ協議会
143	松本秀應	西条市連合婦人会視察研修、協力	西条市
144	松本秀應	「災害時ボランティア養成講習会」にて、避難所運営についてのワークショップを実施	香川県
145	松本秀應	「その時あなたたは生き残れますか？？」と題して防災講座を実施	屋島コミュニティセンター
146	松本秀應	平成30年度学校防災ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ派遣事業：高松市立大町幼稚園	香川県教育委員会事務局
147	松本秀應	平成30年度学校防災ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ派遣事業：高松市立亀阜小学校	香川県教育委員会事務局
148	松本秀應	平成30年度学校防災ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ派遣事業：三豊市立平石幼稚園	香川県教育委員会事務局
149	松本秀應	平成30年度学校防災ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ派遣事業：香川県立盲学校	香川県教育委員会事務局
150	松本秀應	平成30年度学校防災ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ派遣事業：高松市立中央小学校	香川県教育委員会事務局
151	本山紘希	「ぼうさいまちカフェ」講師	高松市危機管理課
152	宮本慎宏	平成30年度愛媛県ヘリテージマネージャー養成講座、講師	
153	山中　稔	防災まちづくり公開シンポジウム「自然災害から命を守る～台風災害時の浸水･避難シミュレーションと気象情報の活用～」，香川県における土砂災害	防災･減災のための国際協働技術研究会（香川大学創造工学部）
154	山中　稔	文化財石垣保存技術協議会平成30年度技能者養成研修、石垣の安定性評価のための工学的調査事例について	日本城郭研究センター、姫路

研究、解説、論文（平成28年度）（日付順）

	日　付	氏　　名	内　　容	依　頼　先　等
1	平成28年度	Koezuka, Tadao	Cyber Insurance in Japan	Marano、Rokas & Kochenburger, The "Dematerialized" Insurance: Distance Selling and Cyber Risks from an International Perspective (Springer, 2016)
2	平成28年度	肥塚肇雄	健康被害を惹き起こした株式会社の株主が生保会社である場合により生じ得る法的諸問題	鳥山恭一＝中村信男＝高田晴仁編『現代商事法の諸問題』（成文堂）
3	平成28年度	肥塚肇雄	グローバリゼーション時代における胎児治療と胎児保険契約の法的可能性（Fetai Treatment in an Era of Globalization and Probability of Fetai Insurance Contracts's Realization in Japan）	賠償科学44号
4	平成28年度	磯打千雅子・白木渡・藤澤一仁・岩原廣彦・金田義行・高橋亨輔・井面仁志	行政組織におけるBCP（業務継続計画）の実態分析と効果的なBCMSの提案	土木学会Ｆ６論文集
5	平成28年度	磯打千雅子・白木渡・金田義行・藤澤一仁・寒川卓治・高橋真里	地域強靭化に資する大学の教育研究継続対応のあり方	第18回災害情報学会(口頭発表)
6	平成28年度	Ishizuka, M., M. Mikami, T. Y. Tanaka, Y. Igarashi, K. Kita, Y. Yamada, N. Yoshida, S. Toyoda, Y. Satou, T. Kinase, K. Ninomiya, A. Shinohara	Use of a size-resolved 1-D resuspension scheme to evaluate resuspended radioactive material associated with mineral dust particles from the ground surface	Journal of Environmental Radioactivity, JENR_JENVRAD-D-15-00721
7	平成28年度	井面仁志, 高橋亨輔, 森友佑, 磯打千雅子, 白木渡	視線分析による防災コンピテンシーに特徴分析に関する研究	土木学会論文集F6(安全問題)
8	平成28年度	高橋亨輔, 磯打千雅子, 白木渡, 岩原廣彦, 井面仁志, 佐藤英治	南海トラフ巨大地震発生時の高松市道路ネットワークに対する戦略的事前復旧計画の検討	土木学会論文集F6(安全問題)
9	平成28年度	野々村 敦子・金井 純子・中野 晋・白木渡	香川県内における特別支援学校の防災対策の現状調査	土木学会論文集F6(安全問題)
10	平成28年度	Kajino, M., Ishizuka, M., Igarashi, Y., Kita, K., Yoshikawa, C., and Inatsu, M	Long-term assessment of airborne radiocesium after the Fukushima nuclear accident: re-suspension from bare soil and forest ecosystems,	Atmos. Chem. Phys., 16, 13149-13172
11	平成28年度	R. Arai, T. Takahashi, S. Kodaira, S. Miura, Y. Kaneda, A. Nishizawa & M. Oikawa	Structure and seismic behaviour along the weakly-coupled Nansei-Shoto subduction zone from active- and passive-source seismic investigations	SEISMIX 2016
12	平成28年度	安藤 五郎・清水 祥四郎・新井　麗・勝山 美奈子・佐藤 伸明・田中 恵介・高橋 成実・金田 義行	日本海海域における断層分布と集油構造	平成28年度　石油技術協会　特別講演会・春季講演会
13	平成28年度	新井隆太・高橋努・小平秀一・海宝由佳・三浦誠一・金田義行	反射法データによる沖縄トラフの断層発達と海底火山の内部構造	日本地質学会第123 年学術大会
14	平成28年度	R. Arai, T. Takahashi, S. Kodaira, S. Miura, Y. Kaneda, A. Nishizawa & M.Oikawa	Continental rift structure in the Okinawa Trough back-arc basin	SEISMIX 2016
15	平成28年度	山下 幹也・仲西 理子・三浦 誠一・小平 秀一・金田義行	高精度イメージングから得られた南海トラフ軸周辺の変形構造	シンポジウム「南海トラフ巨大地震の予測に向けた観測と研究」
16	平成28年度	Hiroyuki Matsumoto, Mikhail A. Nosov, Sergey V. Kolesov, Yoshiyuki Kaneda	Analysis of Pressure and Acceleration signals from the 2011 Tohoku Earthquake Observed by the Donet Seafloor Network	Joural of Disaster Reserch
17	平成28年度	金井 純子・中野 晋・野々村 敦子・宇野 宏司	四国4県における福祉避難所の運営等に関する実態調査	土木学会論文集F6(安全問題)
18	平成28年度	紀伊雅敦	全球水ストレス度を用いた国別の水利用実態の変動分析	平成28年度土木学会四国支部第22回技術研究発表会
19	平成28年度	紀伊雅敦	世界の都市人口の変化に影響を与える水ストレス度の変化の特徴	第53回土木計画学研究発表会（春大会）
20	平成28年度	Takeshi Yoda, Katsunori Yokoyama, Hiromi Suzuki, Tomohiro Hirao.	Relationship between Long-term flooding and serious mental illness after the 2011 flood in Thailand.	Disaster Medicine and Public Health Preparedness, 2016, doi: 10.1017/dmp.2016.148
21	平成28年度	Takeshi Suzue, Yoichi Hoshikawa,Harumi Katayama,Ai Fujikawa,Michiyo Okada,Yoshimi Tsuji,Nobuyuki Miyatake,Noriko Sakano,Takeshi Yoda,Akira Yoshioka,Taichi Nagatomi,Takanori Matsuura, Wataru Shiraki, Tomohiro Hirao.	The structure and effect of socio-psychological factors on mental health among job seekers in Kagawa, Japan under long-term economic stagnation.	Journal of District Environment/Health/Welfare Research 19: 1-8, 2016.
22	H28.4	Hiroyuki Matsumoto, Yoshiyuki Kaneda, Mikhail Nosov, and Sergey Kolesov	Recent Progress of Interpretation of Bottom Pressure during the Tsunamigenic Earthquake	EGU Gneral Assembly
23	H28.4	中村明日人・市村康・城越徹矢・山地功二・末永慶寛	人工魚礁の環境改善機能に関する効果検証	平成28年度日本水産工学会学術講演会講演要旨集
24	H28.5	中村明日人・市村康・城越徹矢・山地功二・末永慶寛	撹拌機能を有する人工魚礁の実証的評価	日本沿岸域学会研究討論会論文集2016
25	H28.5	Kensuke Suzuki, Masaru Nakano, NarumiTakahashi, Takane Hori, Shinichiro Kamiya, Eiichiro Araki, Ryoko Nakata, Yoshiyuki Kaneda	Synchronous changes in the seismicity rate and ocean-bottom hydrostatic pressures along the Nankai trough: A possible slow slip event detected by the Dense Oceanfloor Network system for Earthquakes and Tsunamis (DONET)	Tectonophysics,2016
26	H28.5	山中　稔, 長谷川修一, 大嶋和則, 西田一彦	高松城天守台解体修復工事における地盤調査と石垣部の変形解析	土木学会論文集C（地圏工学）, Vol.72, No.3
27	H28.5	山下 幹也、仲西 理子、中村 恭之、三浦 誠一、小平 秀一、金田 義行	南海トラフに沿って沈み込むフィリピン海プレートの浅部構造変化とその特徴	日本地球惑星科学連合2016年大会
28	H28.5	ARAI, REI / SHIMIZU, SHOSHIRO / SATO, NOBUAKI / KATSUYAMA, MINAKO / ANDO, GORO / TAKAHASHI, NARUMI / KANEDA, YOSHIYUKI	Fault Distribution and Structural Characteristics in the Nansei Islands	Japan Geoscience Union Meeting 2016
29	H28.5	Ryuta Arai, Tsutomu Takahashi, Shuichi Kodaira, Seiichi Miura, Yoshiyuki Kaneda, Azusa Nishizawa, Mitsuhiro Oikawa	Variation of the subduction structure along the Nansei-Shoto trench	JpGU2016
30	H28.5	Ryuta Arai, Tsutomu Takahashi, Shuichi Kodaira, Yuka Kaiho, Seiichi Miura, Yoshiyuki Kaneda	Seismic structure of continental rift and off-axis volcanism in the Okinawa trough back-arc basin	JpGU2016
31	H28.5	Nobuaki Sato, Shoshiro Shimizu, Nobutaka Oikawa, Goro Ando, Rei Arai, Minako Katsuyama, Shigeyoshi Tanaka, Narumi Takahashi, Yoshiyuki Kaneda	Fault Distribution on the southwest offshore of Okinawa Island	Japan Geoscience Union Meeting 2016
32	H28.5	Ayako Nakanishi, Yojiro Yamamoto, Mikiya Yamashita, Gou Fujie, Seiichi Miura, Shuichi Kodaira, Yoshiyuki Kaneda	Structural variation of the incoming Philippine Sea plate along the Nankai Trough off Shikoku	Japan Geoscience Union Meeting 2016
33	H28.7	Ryuta Arai, Tsutomu Takahashi, Shuichi Kodaira, Yuka Kaiho, Ayako Nakanishi, Gou Fujie, Yasuyuki Nakamura, Yojiro Yamamoto, Yasushi Ishihara, Seiichi Miura & Yoshiyuki Kaneda	Structure of the tsunamigenic plate boundary and low-frequency earthquakes in the southern Ryukyu Trenc	Nature Communications　2016年7月
34	H28.8	中村明日人・市村康・城越徹矢・山地功二・末永慶寛	実海域における人工魚礁の環境改善機能に関する定量的評価	土木学会論文集B3（海洋開発）
35	H28.9	村山聡	東シナ海沿岸地域からの展望ー2016年度九州巡検	Geo-Communication・NL11
36	H28.9.30	安井敏晃	互助型介護保険について-保険契約者による互助型介護保険の可能性-	『生命保険論集』設立40周年記念特別号
37	H28.10	仲西理子・山下幹也・山本揚二朗・藤江剛・三浦誠一・小平秀一・金田義行	四国沖フィリピン海プレートの構造不均質	日本地震学会　2016年度秋季大会
38	H28.10	石垣隼士, 山中　稔, 小泉勝彦, 東　信男	丸亀城石垣変状部の常時微動測定による振動特性の検討	第12回地盤改良シンポジウム論文集, 日本材料学会
39	H28.11	岩原廣彦・白木渡・井面仁志・高橋亨輔・磯打千雅子	南海トラフ地震時に四国の災害対応拠点が機能するための各施設と人材育成の課題と対策	土木学会安全問題討論会’16
40	H28.11	Minoru Yamanaka, Hayato Ishigaki, Katsuhiko Koizumi, Shuichi Hasegawa, Hiroyuki Araki	Vibration Characteristics of Deformed Stone Walls of Japanese Traditional Castle	The 6th International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment
41	H29.1	松尾裕治	地域を知る防災～Googleマップを活用した四国の防災拠点情報の検討、２１世紀の南海地震と防災ー第11巻ー	公益社団法人 土木学会四国支部・京都大学防災研究所自然災害研究協議会四国地区部会

研究、解説、論文（平成29年度）（日付順）

	日　付	氏　　名	内　　容	依　頼　先　　等
1	平成29年度	紀伊雅敦	都市流域内人口密度を用いた世界の都市における水ストレス度の算定 -イスラエルにおける事例解析-	平成29年度土木学会四国支部第23回技術研究発表会
2	平成29年度	紀伊雅敦	都市流域内人口密度を用いた都市における水ストレス度の算定手法の開発 - イスラエルにおける事例解析 -	土木学会水工学委員会環境水理部会研究発表会
3	平成29年度	紀伊雅敦	都市流域内人口密度を用いたイスラエルの都市における水ストレス度の算定	平成29年度全国大会　土木学会第72回年次学術講演会
4	平成29年度	北村友叡，石塚正秀，紀伊雅敦，林礼美，津田守正，中村一樹	都市流域内人口密度を用いた世界の都市における水ストレス度の算定―イスラエルにおける事例解析―	土木学会論文集D3（土木計画学）
5	平成29年度	紀伊雅敦，中村一樹	都市化と気候変動の影響評価における幸福度指標の適用性：現状と課題	土木学会論文集D3
6	平成29年度	Koyama F, Yoda T, Hirao T.	Insomnia and Depression: Japanese Hospital Workers Questionnaire Survey.	Open medicine (Warsaw, Poland), 12, 2017
7	平成29年度	鈴江毅、片山はるみ、藤川愛、岡田倫代、辻よしみ、坂野紀子、吉岡哲、宮武伸行、依田健志、平尾智広.	自殺予防に向けた大学生のメンタルヘルスに影響を及ぼす心理社会的要因の研究	四国公衆衛生学会雑誌，62: 81-87, 2017
8	平成29年度	依田健志、神田かなえ、横山勝教、岡部悠吾、鈴木裕美、平尾智広	海外勤務者のメンタルヘルス　雇用形態による差について	日本渡航医学会誌，11(1): 1-5, 2017
9	H29.4	岡崎 慎一郎，氏家 勲，平尾 祖，松島 学	ライアッシュを結合材として用いたコンクリートのLCCの試算	日本LCA学会誌Vol.13 No.2, p.150-163
10	H29.4	杉本知史，山中　稔，大嶺　聖，福田直三	歴史遺産関連班の活動に関する報告	熊本地震特集号，地盤工学会誌，Vol.65, No.4, Ser.No.711, pp.24-27
11	H29.4	藤川拓朗，永岡修一，大嶺　聖，林　泰弘，山中　稔，佐藤研一	熊本地震における災害廃棄物の処理と有効利用	熊本地震特集号，地盤工学会誌，Vol.65, No.4, Ser.No.711, pp.28-31
12	H29.5	高橋亨輔・井面仁志・白木渡・磯打千雅子	災害状況再現・対応能力訓練システムの開発と学校教員を対象とした地震発生時の初期対応訓練の実践	情報処理学会論文誌Vol.58, No.5, pp1124-1137
13	H29.6	Ryuta Arai, Shuichi Kodaira, Tomoaki Yamada, Tsutomu Takahashi, Seiichi Miura, Yoshiyuki Kaneda, Azusa Nishizawa, and Mitsuhiro Oikawa	Subduction of thick oceanic plateau and high-angle normal-fault earthquakes intersecting the slab	Geophysical Research Letters(GRL), AGU Publications
14	H29.6	山地　茂，山中　稔，渡邊蒔也	石垣築様目録の漢数字表の解読と丸亀城石垣形状との比較検証	土木史研究講演集，Vol.37, pp.57-64
15	H29.7	Satoshi Murayama, N. Fujiwara, T. Aoki, H. Nakamura, N. Higashi, and O. Nakamura	Disaster Management and Integrated Economy in Early Modern Japan. Amakusa in the 19th Century	A. Panjek, J. Larsson and L. Mocarelli (eds.), Integrated Peasant Economy in a Comparative Perspective. Alps, Scandinavia, and Beyond. Založba Univerze na Primorskem, Koper 2017. Pp. 241-266.
16	H29.7	M.Yamanaka, H.Ishigaki, K.Koizumi, S.Hasegawa and H.Araki	Extrating Method of Deformed Part by Microtremor on Stone Walls of Japanese Traditional Castle	International Journal of GEOMATE, Vol.13, Issue 35, pp.73-79
17	H29.7	M.Yamanaka, S.Hasegawa, Y.Kojo, T.Hachimura	Estimation method of waste layer thickness by surface wave exploration and microtremor measurement	Proc. of the 3rd International Conference on Performance-based Design in Earthquake Geotechnical Engineering (PBD-Ⅲ), Vancouver, Canada, Paper No.391, 8p., USB-ROM, 2017.7.16-19
18	H29.7	K.Koizumi, A.Sone, T.Hirai, K.Murakami, K.Ichii, M.Yamanaka	PBD of seawalls to prevent tunami inundation -Performance criteria and Design example-	Proc. of the 3rd International Conference on Performance-based Design in Earthquake Geotechnical Engineering (PBD-Ⅲ), Vancouver, Canada, Paper No.228, 8p., USB-ROM, 2017.7.16-19
19	H29.8	Chikako Isouchi	District Continuity Plans for Large-Scale Disaster Coordination: Case Study in Kagawa District	Journal of Disaster Research Vol.12 No.4
20	H29.8	Yoshiyuki Kaneda	Resilience Science for a Resilient Society in Seismogenic and Tsunamigenic Countries	Journal of Disaster Research (JDR四国強靭化特集号)，富士技術出版㈱
21	H29.8	Wataru Shiraki, Kyosuke Takahashi, Hitoshi Inomo, and Chikako Isouchi	A Proposed Restoration Strategy for Road Networks After an Earthquake Disaster Using Resilience Engineering	Journal of Disaster Research Vol.12 No.4
22	H29.8	Kyosuke Takahashi, Hitoshi Inomo, Wataru Shiraki, Chikako Isouchi, and Mari Takahashi	Experience-Based Training in Earthquake Evacuation newline for School Teachers	Journal of Disaster Research Vol.12 No.4
23	H29.8	A NONOMURA, S. Hasegawa	Susceptibility of slopes to earthquake-induced landslides: a new index derived from helicopter-borne electromagnetic resistivity and digital elevation datasets	Landslides
24	H29.8	Akihisa Okada, Mitsuhiro Toriumi, and Yoshiyuki Kaneda	Spatial and temporal pattern of global seismicity extracted by dimensionality reduction	International Journal of Geology, North Atlantic University Union
25	H29.8	Mikiya Yamashita, Seiichi Miura, Gregory F. Moore, Ayako Nakanishi, Shuichi Kodaira, Yoshiyuki Kaneda	Bathymetric imaging of protothrust zone along the Nankai Trough	Island Arc
26	H29.9	Hino, R., Egusa, N., Wada, Y., Ishizuka M., and T. Hirata	Restraint effects of 2-MIB concentration increases due to total phosphorus management in the upper Kinokawa watershed	International Journal of GEOMATE, Vol.13, Issue 37, pp.141-148 Special Issue on Science, Engineering & Environment
27	H29.9	佐藤英治・澤田晃二・澤田俊明・磯打千雅子・岩原廣彦・白木渡・井面仁志・高橋亨輔・白川豪人・猪熊敬三	地域連携によるワークショップを軸とした大規模水害対策の検討プロセスに関する一考察	土木学会論文集D3（土木計画学）Vol.73 No.5［土木計画学研究・論文集34巻］
28	H29.9	山中　稔，小城祐樹，八村智明，池内正行	豊島廃棄物等処分地における電磁法探査による埋設ドラム缶の検出について	第12回環境地盤工学シンポジウム発表論文集，地盤工学会，pp.5-12
29	H29.9	Terao, T., F. Murata, Y. Yamane, M. Kiguchi, A. Fukushima, M. Tanoue, S. Ahmed, S. A. Choudhury, H. J. Syiemlieh, L. Cajee, A. K. Bhagabati, P. Bhattacharya, S. Dutta, R. Mahanta and T. Hayashi	Direct validation of TRMM/PR near surface rain over the northeastern Indian subcontinent	SOLA, Vol. 13, pp. 157-162.
30	H29.10	Murata, F., T. Terao, H. Fujinami, T. Hayashi, H. Asada, J. Matsumoto, and H. J. Syiemlieh	Dominant Synoptic Disturbances in the Extreme Rainfall at Cherrapunjee, Northeast India, Based on 104 Years of Rainfall Data (1902-2005)	Journal of Climate, Vol. 30, pp. 8237-8251
31	H29.11	Mao Kurumatani, Hisashi Anzo, Kenji Kobayashi, Shinichiro Okazaki, Sohichi Hirose	Damage model for simulating chloride concentration in reinforced concrete with internal cracks	Cement and Concrete Composites, Vol.84pp.62-73
32	H30.1	宇田川真之・三船恒裕・磯打千雅子・黄欣悦・定池祐季・田中淳	平常時の避難行動意図の規定要因について	日本災害情報学会誌，災害情報No.15-1, pp53-63

研究、解説、論文（平成30年度）（日付順）

	日　付	氏　　名	内　　容	依　頼　先　　等
1	平成30年度	Igarashi, Y., Kita, K., Maki, T., Kinase, T., Hayashi, N., Hosaka, K., Adachi, K., Kajino, M., Ishizuka, M., Sekiyama, T., Zaizen, Y., Takenaka, C., Ninomiya, K., Okochi, H., and A. Sorimachi	Fungal spore involvement in resuspension of radiocesium in summer	Scientific Reports, SREP-18-01990A, 9, 1954,https://doi.org/10.1038/s41598-018-37698-x, 2019.
2	平成30年度	小田航平・入江政安・戸井博彬・石塚正秀・田中耕司	アジョイント法を用いた分布型流出モデルのパラメータ推定	土木学会論文集B1（水工学）、第63巻、Vo.74, No.5、I_145-I_150、2018.
3	平成30年度	Liu, D., Ishizuka, M., Mikami, M., and Shao, Y.	Turbulent characteristics of saltation and uncertainty of saltation model parameters	Atmos. Chem. Phys., 18, 7595-7606, https://doi.org/10.5194/acp-18-7595-2018, 2018.
4	平成30年度	Kinase, T., Kita K., Igarashi, Y., Adachi, K., Ninomiya, K., Shinohara, A., Okochi, H., Ogata, H., Ishizuka, M., Toyoda, S., Yamada, K., Yoshida, N., Zaizen, Y., Mikami, M., Demizu, H., and Onda, Y.	The seasonal variation of atmospheric 134,137Cs and their possible resuspension host particles at Tsushima and Yamakiya, Fukushima, Japan	Progress in Earth and Planetary Science, https://doi.org/10.1186/s40645-018-0171-z, pp.1-17, 5:12, 2018.
5	平成30年度	磯打千雅子・寒川卓治・藤澤一仁・金田義行・白木渡	南海トラフ地震を想定した香川県内企業の事業継続性に関する考察	土木学会四国支部
6	平成30年度	Atsuko NONOMURA・Shuichi HASEGAWA・Hideo MATSUMOTO・Mari TAKAHASHI ・Mina MASUMOTO・Kazuhito FUJISAWA	Curvature derived from LiDAR digtal elevation models as simple indicators of debris-flow susceptibility	JMS
7	平成30年度	磯打千雅子・金田義行・藤澤一仁・白木渡・五十嵐孝浩・榎本真美	災害に対する基礎自治体の簡易的な脆弱性評価の試行―経済指標を用いて―	災害情報学会
8	平成30年度	磯打千雅子・金田義行・藤澤一仁・白木渡・五十嵐孝浩・榎本真美	経済指標を用いた基礎自治体の災害に対する脆弱性評価	土木学会安全問題討論会
9	平成30年度	磯打千雅子・渡辺研司	地域と企業のリスクコミュニケーションに見る地区防災計画の可能性―平成30年7月豪雨災害を事例に	地区防災計画学会
10	平成30年度	Ozer Sozdinler, C., Necmioglu, O. and Ozel, N.M.	Tectonic Origin Tsunami Scenario Database for the Marmara Region	Natural Hazards
11	平成30年度	玉置哲也、野澤亘、馬奈木俊介	地球温暖化による海洋環境への影響と新技術の導入	土木学会論文集G 74(2)
12	平成30年度	長谷川潤・須藤英明・広兼 道幸・磯打千雅子	減災に資する市民向けリーフレットを用いた体験型防災講座	土木学会
13	平成30年度	大熊 千紗都, 岡崎 慎一郎, 吉田 秀典, 車谷 麻緒	破壊力学に基づく損傷モデルによる鉄筋コンクリートの腐食ひび割れ進展解析	土木学会論文集　74 巻 2 号
14	平成30年度	岡崎　百合子, 岡崎　慎一郎, 全　邦釘, 浅木　晋吾	データ駆動型アプローチによるコンクリート橋梁のひび割れ発生・進展の回帰モデルの構築および要因分析	コンクリート工学年次論文集, 40, (2)
15	平成30年度	Bayraktar, H.B., Ozer Sozdinler, C.	Probabilistic Tsunami Hazard Analysis for Tuzla Test Site Using Monte Carlo Simulations	
16	平成30年度	Dogan, G.G., Annunziato, A., Papadopoulos, G.A., Guler, H.G., Yalciner, A.C., Cakir, T.E., Ozer Sozdinler, C., Ulutas, E., Arikawa, T., Suzen, M.L., Guler, I., Probst, P., Kanoglu, U., Synolakis, C.	The 20 july 2017 Bodrum-Kos Tsunami Field Survey	J. of Pure Appl. Geophys
17	平成30年度	Guler, G., Ozer Sozdinler, C., Arikawa, T., Yalciner, A.C.	Tsunami Afeti Sonrası Yapısal ve Sosyal Planlama, Yapılanma Aşamaları ve Farkındalık: Japonya Örnegi	Teknik Dergi
18	平成30年度	Yuyama, A., Kajitani, Y. and Shoji, G.	Simulation of operational reliability of thermal power plans during a power crisis: Are we underestimating power shortage risk?	Applied Energy 231
19	平成30年度	吉田護、梶谷義雄	地域核店舗の被災影響に関する一考察-熊本市健軍商店街の事例を通じて-	第58回土木計画学研究・講演集（CD-ROM）
20	平成30年度	紀伊雅敦	気候変動による世界主要都市の高温日・多雨日リスク変化の分析	土木学会論文集D3
21	平成30年度	紀伊雅敦	Earthquake risk and inter-temporal fairness: an economic assessment of the national land-use structure, Transport Policy(in Press)	https://doi.org/10.1016/j.tranpol.2018.08.009
22	平成30年度	T. Okada, T. Tamaki, S. Managi	Effect of Environmental Awareness on Purchase Intention and Satisfaction Pertaining to Electric Vehicles in Japan	Transportation Research Part D: Transport and Environment 67
23	平成30年度	A. Chapman, K. Itaoka, K. Hirose, F. T. Davidson, K. Nagasawa, A. C. Lloyd, M. E. Webber, Z. Kurban, S. Managi, T. Tamaki, M. C. Lewis, R. E. Hebner, Y. Fujii	A Review of Four Case Studies Assessing the Potential for Hydrogen Penetration of the Future Energy System	International Journal of Hydrogen Energy
24	平成30年度	Yugo Okabe, Takehiko Asaga, Sayuri Bekku, Hiromi Suzuki, Kanae Kanda, Takeshi Yoda, Tomohiro Hirao, Gotaro Shirakami.	Lung-thorax compliance measured during a spontaneous breathing trial is a good index of extubation failure in the surgical intensive care unit: a retrospective cohort study.	Journal of Intensive Care, 6:44, 2018. doi: 10.1186/s40560-018-0313-9.
25	平成30年度	宮前義和, 宮前淳子, 宮武伸行, 坂野紀子, 鈴江毅, 永富太一, 白木渡, 平尾智広	医師, 保健師, 臨床心理士, 教員の自殺予防研修の実態と必要性に関する研究	地域環境保健福祉研究, 21(1): 23-31, 2018
26	H30.4	Ryuta Arai, Shuichi Kodaira, Tsutomu Takahashi, Seiichi Miura & Yoshiyuki Kaneda	Seismic evidence for arc segmentation, active magmatic intrusions and syn-rift fault system in the northern Ryukyu volcanic arc	Earth, Planets and Space
27	H30.5	Takahashi, Narumi; Imai, Kentaro; Sueki, Kentaro; Obayashi, Ryoko; Ishibashi, Masanobu; Tanabe, Tatsuo; Baba, Toshitaka; Kaneda, Yoshiyuki	Real-Time Tsunami Prediction System Based on Seafloor Observatory Data Applied to the Inland Sea, Japan	Marine Technology Society Journal Vol. 52
28	H30.5	Hiroshi Miura, Yasushi Ito and Yoshihiro Suenaga	Construction on the Japanese coast of climate change-adapted seaweed beds, Proceedings of the 15th International Coastal Symposium	Journal of Coastal Research No.85, Vol.1
29	H30.5	S. Sugimoto, M. Yamanaka, H. Maeda, N. Fukuda, Y. Katsuda	Research of Damaged Condition by the 2016 Kumamoto Earthquake and Ground Investigation on Stone Walls and Earth Structures in Kumamoto Castle	International Journal of GEOMATE, Vol.14, Issue 45
30	H30.6	Masaru Nakano, Mamoru Hyodo, Ayako Nakanishi, Mikiya Yamashita, Takane Hori, Shin-ichiro Kamiya, Kensuke Suzuki, Takashi Tonegawa, Shuichi Kodaira, Narumi Takahashi & Yoshiyuki Kaneda	The 2016 Mw 5.9 earthquake off the southeastern coast of Mie Prefecture as an indicator of preparatory processes of the next Nankai Trough megathrust earthquake	Progress in Earth and Planetary Science (PEPS)
31	H30.6	N. Takiyama, X. Chen, A. Yamaguchi, W. Y. Aung, S. Kim, M. Miyamoto, S. H. Zaw and M. Koshihara	Material Characteristics of Masonry Wall of Cultural Heritage Buildings in Bagan Archaeological Zone, Myanmar	Proceeding of 6th International Conference on Heritage and Sustainable Development
32	H30.6	勝田侑弥, 杉本知史, 山中　稔	熊本城の築石構造物の被災状況調査と再現解析に関する基礎的研究	土木史研究講演集, 土木学会, Vol.38
33	H30.6	Rahman ML, Hossain ATMS, Terao T, Khan SI	Impact of climate variability on human health - A case study at Kanchanpur union, Basail, Tangail District	Journal of Scientific and Engineering Research, Vol. 5, pp. 166-180.
34	H30.7	Mikhail Nosov, Viacheslav Karpov, Sergey Kolesov, Kirill Sementsov, Hiroyuki Matsumoto & Yoshiyuki Kaneda	Relationship between pressure variations at the ocean bottom and the acceleration of its motion during a submarine earthquake	Earth, Planet and Space
35	H30.8	Kyosuke Takahashi・Hitoshi Inomo・Wataru Shiraki・Chikako Isouchi・Mari Takahashi	Experience-Based Training in Earthquake Evacuation newline for School Teachers,	Journal of Disaster Research Vol.12 No.4
36	H30.9	山中　稔, 佐々浩司, 橋本　学, 中川　一, 川池健司, 張　浩, 森　牧人, 村田文絵, 寺尾　徹	レーダーネットワークを活用した統合防災システムの構築	第55回自然災害科学総合シンポジウム講演論文集, 京都大学防災研究所自然災害研究協議会
37	H30.9	宮本慎宏, 宮田涼平, 越智隆行, 宇都宮直樹, 松島学	土質力学に基づく土塗壁の耐力変形推定式の提案－開口部を有する土塗壁の場合－	日本建築学会構造系論文集・第83巻・第751号
38	H30.9	K. C. Shrestha, T. Aoki, T. Konishi, M. Miyamoto, J. Zhang, N. Takahashi, P. Wangmo, T. Aramaki and N. Yuasa	Full-Scale Pull-Down Tests on a Two-Storied Rammed Earth Building with Possible Strengthening Interventions	Proceeding of the 11th International Conference on Structural Analysis of Historical Constructions
39	H30.10	濱田亜由美, 宮本慎宏, 越智隆行, 宇都宮直樹, 松島学, 大西泰弘	壁土の配合が強度特性と施工性に及ぼす影響	日本建築学会技術報告集・第24巻・第58号・pp.929-934
40	H30.12	M. Miyamoto and M. Ebisuoka	Structural Analysis of Wooden Frames Used for Modern Wooden School Buildings	Proceedings of the Fourth Australasia and South-East Asia Structural Engineering and Construction Conference
41	H31.1	高橋真里・中野晋・金井純子・山城慎吾・藤澤一仁	2017年九州北部豪雨における保育所の危機管理と保育継続の問題	土木学会論文集F6S-0077
42	H31.1	寺尾　徹	人間と災害の間合いを地球温暖化はどう変えるか	豪雨災害と自治体－防災・減災を考える, 自治体研究社, p. 17-39
43	H31.1	中野晋・金井純子・高橋真里・藤澤一仁・山城慎吾	前線性集中豪雨発生時における学校の安全管理の課題～2017年九州北部豪雨の事例分析～	土木学会論文集F6S-0052
44	H31.2	磯打千雅子・金田義行・藤澤一仁・白木渡・五十嵐孝浩・榎本真美	経済指標オープンデータを用いた基礎自治体向け産業復興方針検討手法の提案	土木学会安全問題論文集
45	H31.2	Ryusuke Yamamoto, Motoyuki Kido, Yusaku Ohta, Narumi Takahashi, Yojiro Yamamoto, Ali Pinar, Doğan Kalafat, Haluk Özener, Yoshiyuki Kaneda	Seafloor geodesy revealed partial creep of the North Anatolian Fault submerged in the Sea of Marmara	Geophysical Research Letters

2.運営、管理

四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構会議

開催日	内　容
H29.3.30	平成28年度 機構会議
H30.3.30	平成29年度 機構会議
H31.3.19	平成30年度 機構会議

四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 運営会議

	開催日	内　容
平成28年度	H28.6.1	第1回 機構運営会議
	H28.10.24	第2回 機構運営会議
	H29.1.16	第3回 機構運営会議（メール審議）
	H29.3.6	第4回 機構運営会議（メール審議）
	H29.3.27	第5回 機構運営会議（メール審議）
平成29年度	H29.6.6	第1回 機構運営会議
	H29.7.18	第2回 機構運営会議（メール審議）
	H29.9.14	第3回 機構運営会議（メール審議）
	H29.9.29	第4回 機構運営会議
	H29.12.8	第5回 機構運営会議（メール審議）
	H30.3.20	第6回 機構運営会議（メール審議）
平成30年度	H30.4.18	第1回 機構運営会議（メール審議）
	H30.6.22	第2回 機構運営会議（メール審議）
	H30.7.20	第3回 機構運営会議
	H30.11.7	第4回 機構運営会議（メール審議）
	H31.3.4	第5回 機構運営会議（メール審議）

3.規定

香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構規程

（趣旨）

第１条　この規程は、国立大学法人香川大学組織規則第 17 条の２第２項の規定に基づき、香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構（以下「機構」という。）に関し必要な事項を定める。

（目的）

第２条　機構は、香川大学（以下「本学」という。）が、防災・減災・危機管理に資する教育研究拠点、地域強靱化支援機能の強化・充実及び教育研究成果のアジア・諸外国への普及のための国際拠点形成を推進することを目的とする。

（機構の構成）

第３条　機構は、前条の目的を達成するために、次の各号に掲げる下部組織（以下「センター等」という。）を置き統括する。

(1) 危機管理先端教育研究センター
(2) 地域強靱化研究センター
(3) 企画調整室

２　センター等の業務に関し必要な事項は、別に定める。

（業務）

第４条　機構は、次に掲げる業務を実施する。

(1) 危機管理先端教育研究センター及び地域強靱化研究センターの運用
(2) 地域特性に基づく減災・危機管理教育研究拠点の形成
(3) 地域強靱化に資する防災・減災・危機管理推進拠点の形成
(4) 防災・危機管理教育プログラムの開発と普及拠点の形成
　① 防災・危機管理統一教育プログラムの開発と普及拠点の形成
　② 防災・危機管理専門家養成特別プログラムの四国・全国への普及、アジア並びに諸外国への普及
　③ 災害・危機管理対応マネージャー等資格授与機関の設置・運用

（職員）

第５条　機構に、次の各号に掲げる職員を置く。

(1) 機構長
(2) 副機構長　２人（第３条第１項第１号及び第２号の教員　各１人)
(3) 機構担当教員
(4) 併任教員
(5) 研究員
(6) その他必要な職員

（機構長）

第６条　機構長は、学長が指名する理事又は副学長をもって充てる。

２　機構長は機構の業務を掌理する。

（副機構長）

第７条　副機構長は、危機管理先端教育研究センターの機構担当教員から１名、地域強靱化研究センターの機構担当教員から１名を機構長が任命する。

２　副機構長は、機構長を補佐し、機構長に事故があるときは、機構長から指名を受けた副機構長がその職務を代理する。

３　副機構長の任期は２年とし、再任することができる。ただし、副機構長の任期の末日は、当該副機構長を任命する機構長の任期の末日とする。

4　前項の規定にかかわらず、副機構長が辞任をした場合又は欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

（機構担当教員）

第８条　機構担当教員は、学長が選考し任命する。

2　機構担当教員は第 3 条第 1 項の各号に規定するセンター等を担当し、当該センター等の業務を処理する。

（併任教員）

第９条　併任教員は、本学専任教員で防災・減災・危機管理の教育研究推進に関し専門的知識及び経験を有する者のうち、機構長の推薦に基づき、学長が任命する。

2　併任教員は第 3 条第 1 項の各号に規定するセンター等を担当し、当該センター等の業務を処理する。

（研究員）

第 10 条　研究員は次の各号に掲げる者の中から機構長が任命又は委嘱する。

(1)　機構研究に関する共同研究を行っている国内外の研究員

(2)　その他機構長が必要と認めた者

2　研究員は第 3 条第 1 項の各号に規定するセンター等の研究を行う。

（客員教授等）

第 11 条　機構に、客員教授及び客員准教授（以下「客員教授等」という。）を置くことができる。

2　前項の客員教授等の称号の付与は、機構長の申出に基づき、学長が行う。

3　客員教授等の称号の付与期間は、1 年以内とし、再任することができる。

4　客員教授等は第 5 条第 5 号に規定する者を兼ねることができる。

（機構会議）

第 12 条　機構の運営に関し助言・提言を得ることを目的として、香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構会議（以下「機構会議」という。）を置く。

2　機構会議に関し必要な事項は、別に定める。

（機構運営会議）

第 13 条　機構の運営に関し必要な事項等を審議するため、香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構運営会議（以下「機構運営会議」という。）を置く。

2　機構運営会議に関し必要な事項は、別に定める。

（事務）

第 14 条　機構に関する事務は、機構が関係する学部事務部の協力を得て、学術・地域連携推進室研究協力グループにおいて処理する。

（雑則）

第 15 条　この規程に定めるもののほか、機構に関し必要な事項は、別に定める。

附　則

1　この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

2　この規程の施行により、香川大学危機管理研究センター規程（平成 20 年 4 月 1 日制定）は、廃止する。

IECMS

Institute of Education,
Research and Regional Cooperation
for Crisis Management Shikoku

香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
【幸町キャンパス】 〒760-8521 香川県高松市幸町1番1号 TEL : 087-832-1656 FAX : 087-832-1668
【林町キャンパス】 〒761-0396 香川県高松市林町2217-20 TEL : 087-864-2544 FAX : 087-864-2549 E-mail : kikikanri@jim.ao.kagawa-u.ac.jp
URL:http://www.kagawa-u.ac.jp/iecms/

2020.1月発行